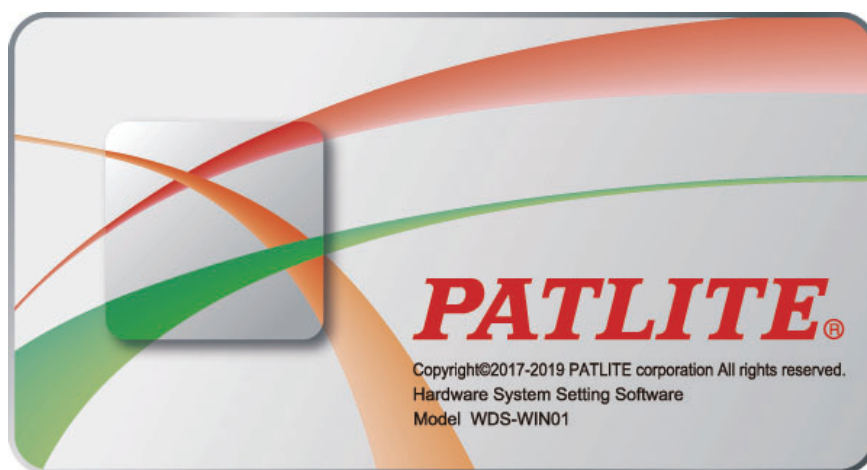


ワイヤレス・データ通信システム システム運用ソフトウェア

MODEL: WDS-WIN01

総合取扱説明書

[WEB 版]



■ お客様へ

このたびは、パトライト製品をご使用いただきましてありがとうございます。
このシステム運用ソフトウェア WDS-WIN01（以下「本製品」）は、ワイヤレス・データ通信システム専用の製品です。

- ・ 本書は、バージョン 1.04 版に搭載している機能に関して説明しています。お使いのバージョンによっては、ご利用できない機能や画面レイアウトが異なる場合もあります。すべての機能をご利用いただくためにも最新版に更新いただくことを推奨いたします。
- ・ 対応する積層信号灯の機種については、本書にてご確認のうえご利用ください。
- ・ 必ず「ソフトウェア使用許諾契約」をご確認いただき、同意・承諾のうえご利用ください。
- ・ ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、[WDT- □ LR-Z2/WDR-L(E)-Z2-PRO(-L) 総合取扱説明書] をあわせてお読みください。
- ・ 保守、点検や補修などをするときには、必ず本書を読み直してください。なお、ご不明な点は、ホームページに記載の技術・修理相談窓口へお問合せしてください。

■ 設置、施工、取付け業者様へ

- ・ 設置前に本書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
- ・ 本書は必ずお客様にお渡しください。

■ 目次

1	はじめにお読みください	5
1.1	安全に関する表示について	5
1.2	安全上のご注意	6
2	概要	8
2.1	本製品について	8
2.2	型式表示について	8
2.3	システム構成	9
2.4	本製品の動作環境	12
2.5	ライセンス認証について	13
3	機能概要	14
3.1	機能一覧	14
3.2	操作画面レイアウト概要	14
4	操作ガイドライン	16
4.1	WDS-WIN01 をはじめて使用する	16
4.2	WDT と WDR の設定をおこなう	16
4.3	WDT、WDR の通信接続状態確認	17
4.4	データ収集をおこなう	17
4.5	データ収集に関する設定情報のエクスポート、インポートをおこなう	18
4.6	WDS-AUTO2 のユーザーネーム情報のインポートをおこなう	18
4.7	WDS-WIN01 をアンインストールする	18
5	導入方法	19
5.1	インストールの方法	19
5.2	アンインストールの方法	25
5.3	WDS-WIN01 の起動方法	27
5.4	WDS-WIN01 の終了方法	28
5.5	表示言語の変更方法	29
6	使用方法	31
6.1	WDT/WDR 設定	31
6.1.1	WDR のネットワーク設定	31
6.1.2	WDT の設定	41
6.1.3	WDR の設定	48
6.1.4	WDR のホスト連携設定をする (WD PRO 受信機のみ)	51
6.2	データ収集	54
6.2.1	ライセンス認証	54

6.2.2	データ保存先、CSV ファイルフォーマットの設定	55
6.2.3	WDT ユーザーネーム登録	59
6.2.4	WDR の登録と収集開始	61
6.2.5	データ保存先を確認する	64
6.2.6	データ収集中の WDT の通信状態を確認する	65
6.2.7	データ収集を停止する	66
6.2.8	設定を保存して戻る	68
6.3	設定情報のエクスポートとインポート	73
6.3.1	設定情報のエクスポート	73
6.3.2	設定情報のインポート	74
6.4	WDS-AUTO2 用 WDT ユーザーネームの取り込み	75
6.5	WDT、WDR の設定項目確認	77
6.6	WDT 呼び出し表示の確認	80
6.7	カウント値のクリア	82
7	設定項目一覧	84
7.1	WDT/WDR 設定	84
7.1.1	WDT 設定項目	84
7.1.2	WDR 設定項目 (パソコン接続設定)	92
7.1.3	WDR 設定項目 (無線設定)	96
7.2	データ収集	98
7.2.1	初期設定 (CSV ファイル保存)	98
7.2.2	初期設定 (WDT ユーザーネーム登録)	103
7.2.3	初期設定 (データ収集の方法)	104
7.2.4	データ収集	106
7.2.5	WDS-WIN01 情報の移行	108
7.3	初期設定値一覧	109
7.3.1	WDT/WDR 設定	109
7.3.2	データ収集	111
8	仕様	112
8.1	ソフトウェア仕様	112
8.2	CSV ファイル仕様	113
8.2.1	CSV ファイルフォーマット	113
8.2.2	CSV ファイル名	113
8.2.3	CSV ファイル出力情報の定義	115
8.2.4	CSV ファイル出力例	117
8.2.5	CSV ファイルの生成・分割について	118

8.2.6 ファイル分割の CSV ファイル生成例	118
8.2.7 ファイル分割時の信号灯情報出力に関して	120
9 困ったときは.....	121
9.1 トラブルシューティング	121
9.2 エラーメッセージ一覧.....	124

◆ 商標または登録商標について



- ・ Windows®、Microsoft®、Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または商標です。
- ・ Intel®、Intel Core™ は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ・ Xport®、Web manager は、米国 LANTRONIX 社の商標または登録商標です。
- ・ 本書に記載されている会社名および、商品名は各社の商標または登録商標です。

1 はじめにお読みください




1.1 安全に関する表示について

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。




- ◆ 表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しております。




 警告	この表示の欄は、「死亡または重症を負う可能性が想定される内容」を示します。
 注意	この表示の欄は、「人が障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示します。


- ◆ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 禁止	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 強制	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	この絵表示は、特定しない一般的な「注意」内容です。

1.2 安全上のご注意

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ワイヤレス・データ通信システム（以下「本システム」）は、既存の機械・装置の積層信号灯に設置し、信号灯の動作状況データを送信機から受信機へワイヤレスで転送するものです。それ以外の用途に使用しないでください。 ◆ 事故を防止するため、本来の使用目的以外の本システムの使用や本書に記載している以外の運転や保守作業はおこなわないでください。 ◆ 本システムを医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命にかかわる設備や機器および、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御などの使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本システムを使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 機器の配線や取付けは、必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。 ◆ 航空機内や病院内など、電波が周辺の機器に影響を与える場所や無線機器の使用が禁止されている場所では、必ず各製品の動作をオフにしてください。 ◆ 当社は、本システムの取扱い上の危険について、すべての状況を予測することはできません。したがって、すべての危険を取扱説明書で伝えることはできません。事故を防止するため、各製品の運転・保守作業をおこなう場合は、本書の指示事項だけでなく、一般的に要求される安全対策をおこなってください。

 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 高度な信頼性やリアルタイム性が求められる用途には使用しないでください。通信不能に陥った場合、正確なデータが取得できません。 ◆ 次のような場所では、使用・保管しないでください。誤動作や故障の原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通気性、換気性の悪い場所 ・ 強電界、強磁界の発生する機器の近く ・ 直射日光の当たる場所 ・ 衝撃や振動が加わる場所 ・ 暖房器具の近く ・ 塵埃、鉄粉などが多く発生する場所 ・ 火気の近くや高温多湿な場所 ・ 落下の可能性がある場所 ・ 潮風にさらされる場所
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ◆ お客様の使用環境で十分テストをおこなってから運用してください。

	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本システムは高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性があります。 ◆ 本システムを使用する際は、次のことに気をつけてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・電波の性質上、通信可能な距離であってもノイズや周囲環境などにより通信不能に陥る場合があります。 ・静電気防止のため、体に帯電している静電気を放電させてから作業をおこなってください。（他の、アースされている金属部分を素手で触れると、静電気を放電させることができます。） ◆ 動作環境について <ul style="list-style-type: none"> ・当社では動作環境を満たすメーカー出荷状態のパソコンに対して、正常に動作することを確認しています。しかし、パソコン本体および、接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客さまがご利用の環境によっては、本製品が正常に動作しない場合があります。 ◆ ソフトウェアの著作権は当社にあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェアの一部または全部を、当社の文書による許可なく他の製品に使用／複製／改変をおこなわないでください。 ◆ 廃棄について <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄する場合は、各自治体の分別方法にしたがって、廃棄してください。 ◆ 本書について <ul style="list-style-type: none"> ・本書の内容は、製品改良により、予告なく変更する場合があります。 ・本書に記載されている図は、実際の製品とは異なることがあります。また、図の一部は、説明を容易にするために、省略していることがあります。 ・本書は当社が著作権を有しています。本書を含む図面および、技術文書のいかなる箇所も当社の事前の同意書なしに、複写、電子媒体など、どのような方式であっても複写することはできません。 ・より詳しい情報を必要とする場合やご質問がある場合は、各営業所、または当社、技術・修理相談窓口にお問い合わせください。
-----------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

警告および、注意事項に反したお取扱い、分解・改造や天災などによって生じた故障についての保証はできません。また、本書に記載した内容以外でのご使用は避けてください。また、運転・保守作業にあたり、通常払うべき注意または用心を怠って生じた損害ならびに傷害に対してはいかなる責任も負いかねます。

2 概要

2.1 本製品について

本製品は、

- WDT と WDR の設定
- 信号灯情報の収集をおこない CSV データ形式で保存

をおこない、CSV データを活用し、見える化アプリケーションの作成をサポートするためのソフトウェアです。

2.2 型式表示について

(1) 型式

WDS-WIN01

(2) 適用する WDR、WDT、WDB の型式

分類	適用する型式
WDR	WDR-L-Z2
	WDR-LE-Z2
WD PRO 受信機	WDR-L-Z2-PRO
	WDR-L-Z2-PRO-L
	WDR-LE-Z2-PRO
	WDR-LE-Z2-PRO-L
	WDR-LE-Z2-PRO-L
WDT	WDT-5E-Z2
	WDT-6M-Z2
	WDT-4LR-Z2
	WDT-5LR-Z2
	WDT-6LR-Z2
	-PRO
WDB ※	WDB-D80S-PRO

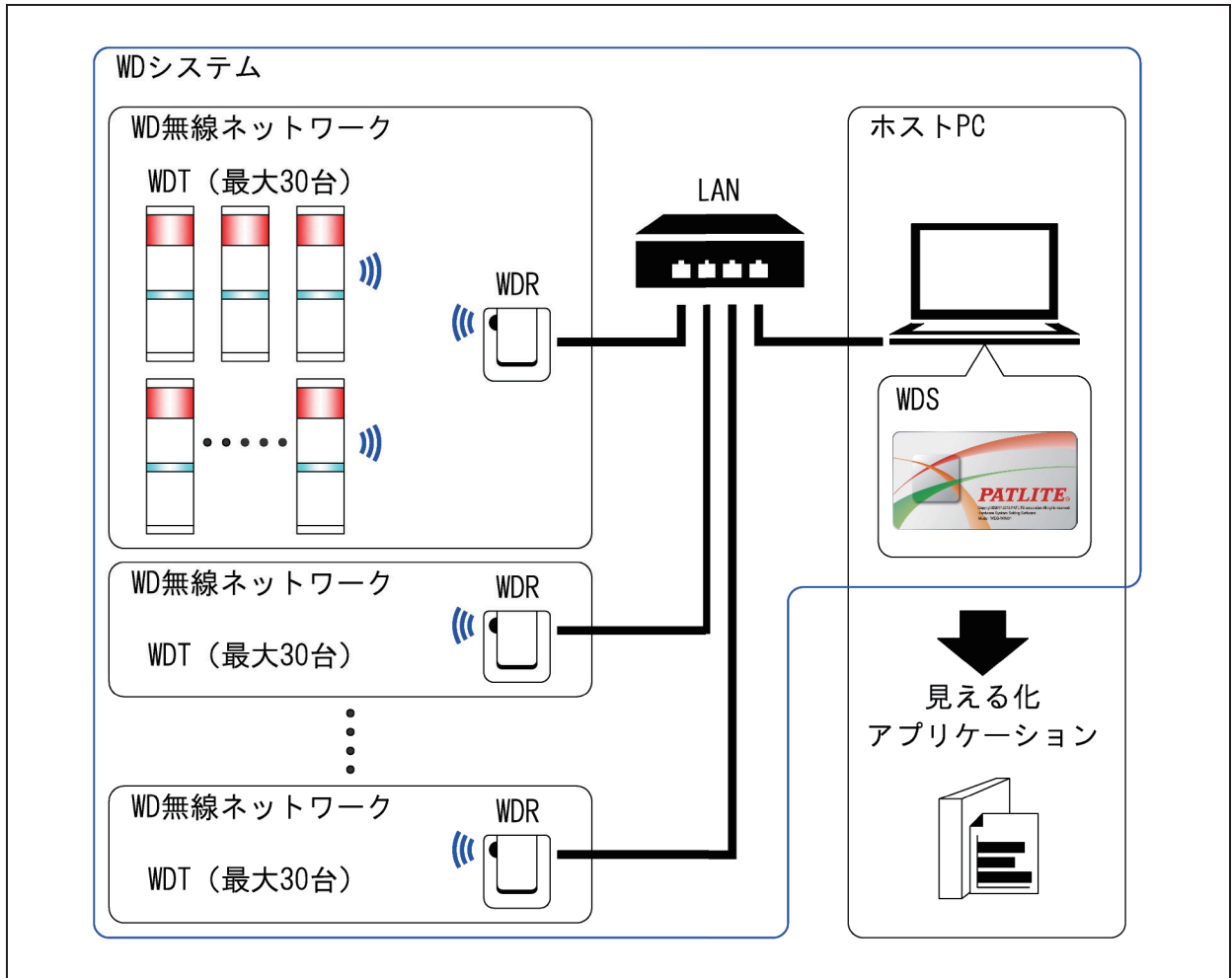
※ WDT-PRO との組み合わせでのみ使用可能です。

2.3 システム構成

(1) システム構成

① 運用時のシステム構成

- 構成図



• 構成表

項目	構成数	構成型式
WDT	1～30台※1 ／受信機あたり	WDT-4LR-Z2 / WDT-5LR-Z2 / WDT-6LR-Z2 / WDT-5E-Z2 / WDT-6M-Z2 / WDT-6LR-Z2-PRO (WDB-D80S-PRO)
WDR	1～20台	WDR-L-Z2 / WDR-LE-Z2 / WDR-L-Z2-PRO / WDR-L-Z2-PRO-L / WDR-LE-Z2-PRO / WDR-LE-Z2-PRO-L
WDS	1本	WDS-WIN01 (本製品)
ホスト PC ※2	1台	—

※ 1. 詳細は、☞『[WDT- □ LR-Z2/WDR-L(E)-Z2-PRO(-L) 総合取扱説明書] 6.1.5 WDR に接続できる WDT の台数について』を参照。

※ 2. ホスト PC と WDR を LAN ケーブルで直接接続する場合はクロスケーブルを使用してください。

② メンテナンス時のシステム構成

メンテナンス時は、WDT と WDR を 1 対 1 で接続して実施してください。

例として、WDT-6LR-Z2（電源入力用キットを使用）の構成図を記載します。

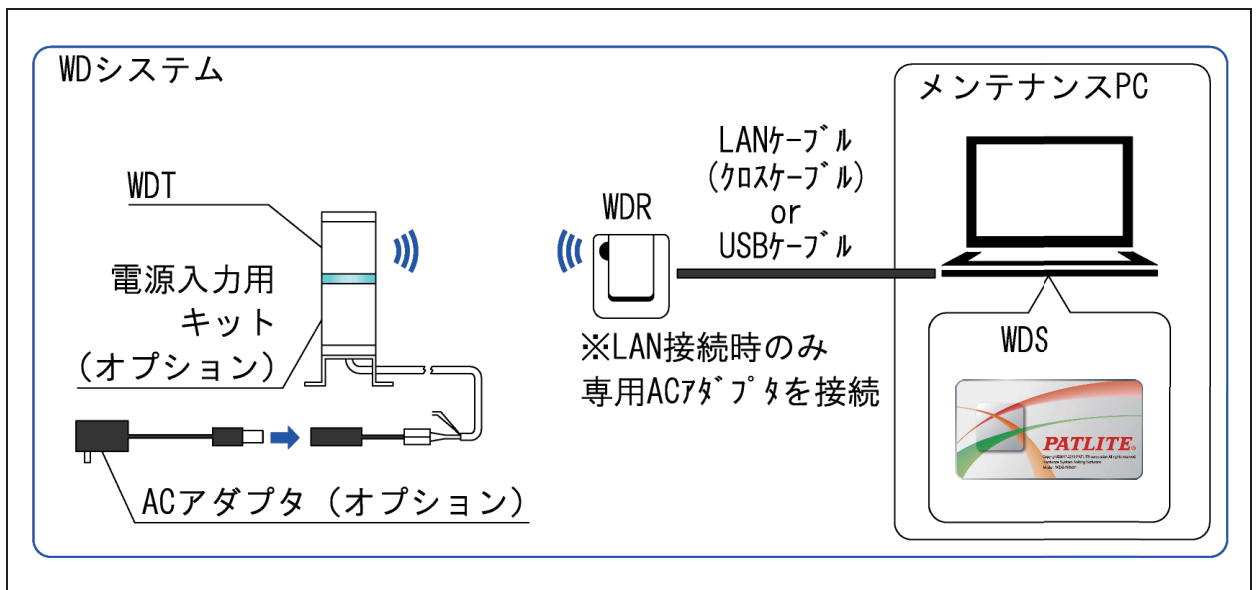
WDT のシステム構成詳細に関しては、

☞『[WDT- □ LR-Z2/WDR-L(E)-Z2-PRO(-L) 総合取扱説明書] 5.2.2.2』、

☞『WD PRO シリーズ (WDB-D80S-PRO, WDT-6LR-Z2-PRO) 総合取扱説明書 5.2.2.2』

を参照ください。

• 構成図



• 構成表

項目	構成数	構成型式
WDT	必要台数	WDT-4LR-Z2 WDT-5LR-Z2 WDT-6LR-Z2
電源入力用キット (オプション)	1 台	WDX-4LRB WDX-5LRB WDX-6LRB
AC アダプタ (オプション) ※ 1	1 台	ADP-001
WDR	1 台	WDR-L-Z2 / WDR-LE-Z2 / WDR-L-Z2-PRO / WDR-L-Z2-PRO-L / WDR-LE-Z2-PRO / WDR-LE-Z2-PRO-L
WDS	1 本	WDS-WIN01 (本製品)
メンテナンス PC	1 台	—
LAN ケーブル (クロスケーブル) ※ 2、※ 3	1 本	—
USB ケーブル ※ 4、※ 5	1 本	—

※ 1. WD-STARTZ2+T0158 (スタートアップキット) に付属の AC アダプタ [Z69433003-F1] も使用可能。

※ 2. WDR の LAN 設定をおこなう場合は LAN ケーブルで接続してください。

※ 3. ホスト PC と WDR を LAN ケーブルで直接接続する場合はクロスケーブルを使用してください。

※ 4. USB ケーブル長は 3m 以下のケーブルを使用してください。

※ 5. LAN ケーブルと USB ケーブルとを同時に接続しないでください。

⚠ 注意	
 禁止	◆ WDR に LAN ケーブルと USB ケーブルとを同時に接続しないでください。同時に接続した場合、動作できません。

2.4 本製品の動作環境

- 本製品は以下の動作環境以上でご使用ください。

項目			
CPU	Intel [®] 、Core™ 2Duo 2.92GHz 以上		
メモリ	4GB 以上		
ディスプレイ	解像度 XGA (1024 × 768) 以上		
保存先記憶装置	HDD		
システム容量	インストールに必要な空き容量 500MB 以上 ※ CSV ファイル出力の容量が別途必要です。		
ブラウザ	Internet Explorer [®] 11		
Microsoft [®] .NET Framework	4.5 以上		
対応 OS	OS 名称	Bit	ユーザー権限
	Windows [®] 7	32/64	Administrator (管理者) Users (標準ユーザー)
	Windows [®] 8.1	32/64	
	Windows [®] 10	32/64	
	Windows [®] 11	64	
	Windows [®] server 2012R2	64	
	Windows [®] server 2016	64	
	Windows [®] server 2019	64	
Windows [®] server 2022	64		
対応言語	日本語、英語、中国語 (簡体字)、台湾語 (繁体字)、韓国語、タイ語、インドネシア語、スペイン語		
その他	本製品動作時はスクリーンセーバー、スリープ、スタンバイ動作を無効にしてください。		

注意





- ◆ タッチパネル、タブレットでの使用は動作保証しておりません。
- ◆ SD カード、USB メモリなどの外部記憶装置やネットワークドライブへのインストール、収集データファイルの出力はできません。
- ◆ スクリーンセーバー、スリープ、スタンバイ動作時は、データ収集が正常におこなわれません。

2.5 ライセンス認証について

- 本製品は一部の機能を除いてライセンス認証が必要です。

有償版の WDS-WIN01 にライセンスカードが同封されておりそれに 17 桁のライセンスコードが記載されています。ライセンス認証の方法については ☞『6.2.1 ライセンス認証』を参照してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">◆ ライセンスカードは大切に保管してください。◆ 本製品をアンインストールして再度インストールする場合もライセンス認証が必要です。

3 機能概要

3.1 機能一覧

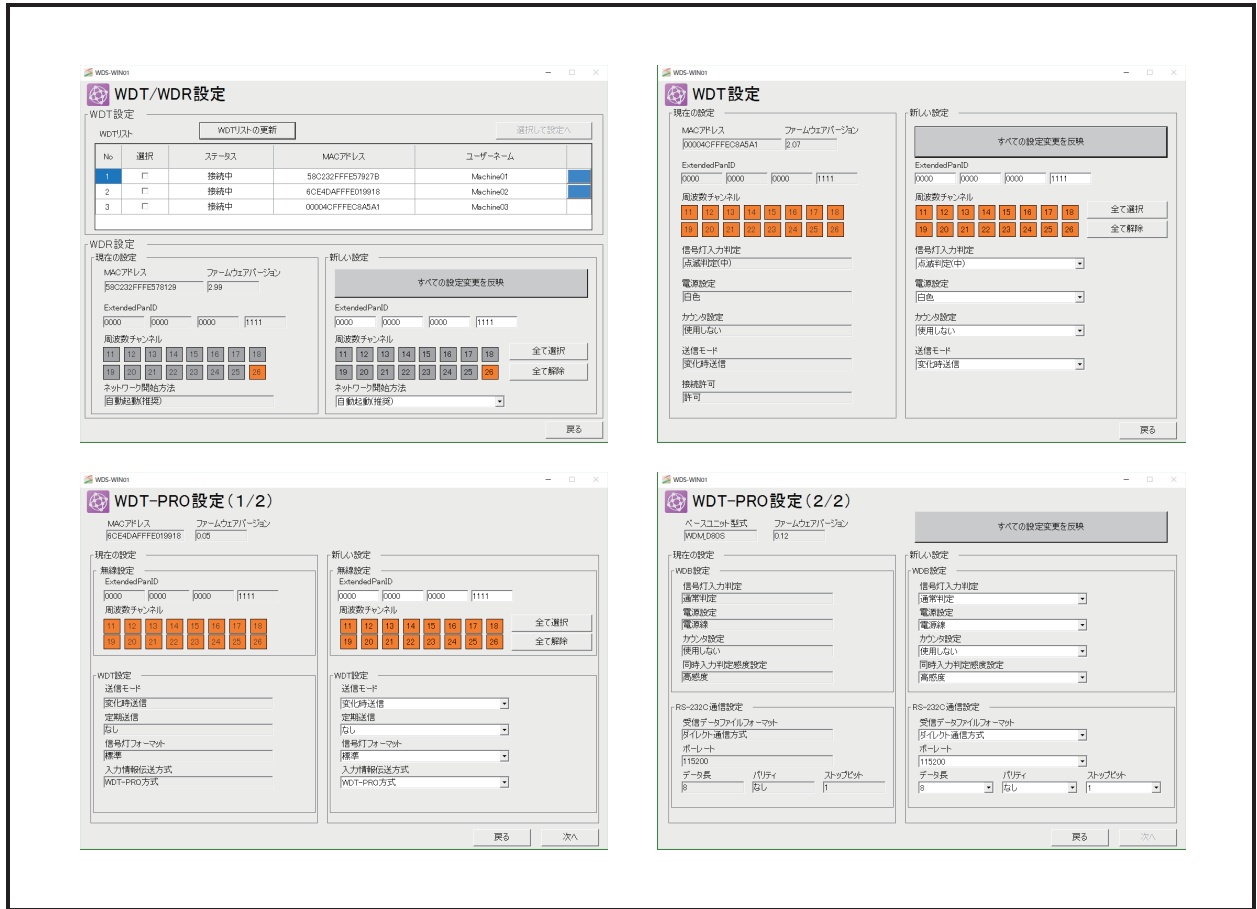
機能	アイコンデザイン	内容	対応	
			有償版	無償版
WDT/WDR 設定		WDT と WDR の設定をおこないます。	○	○
データ収集		信号灯情報の収集をおこない CSV データ形式で保存します。 ※有償版でのライセンス認証が必要です。	○	×

3.2 操作画面レイアウト概要

(1) トップメニュー操作画面レイアウト



(2) WDT/WDR 設定操作画面レイアウト

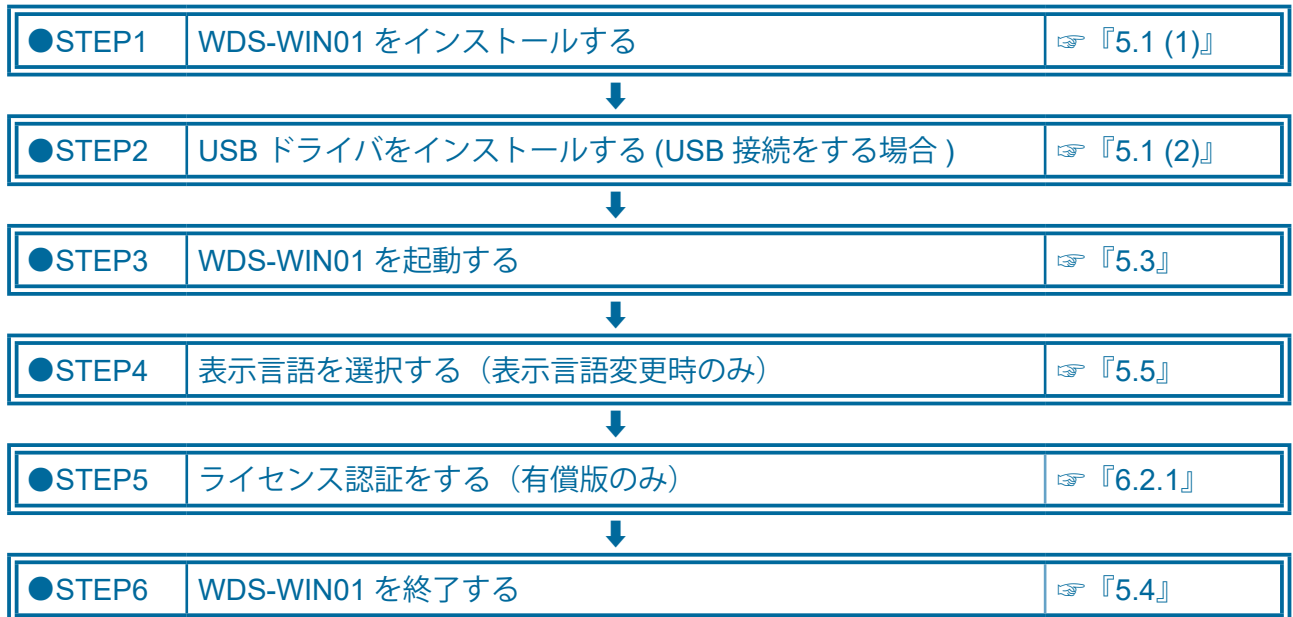


(3) データ収集操作画面レイアウト

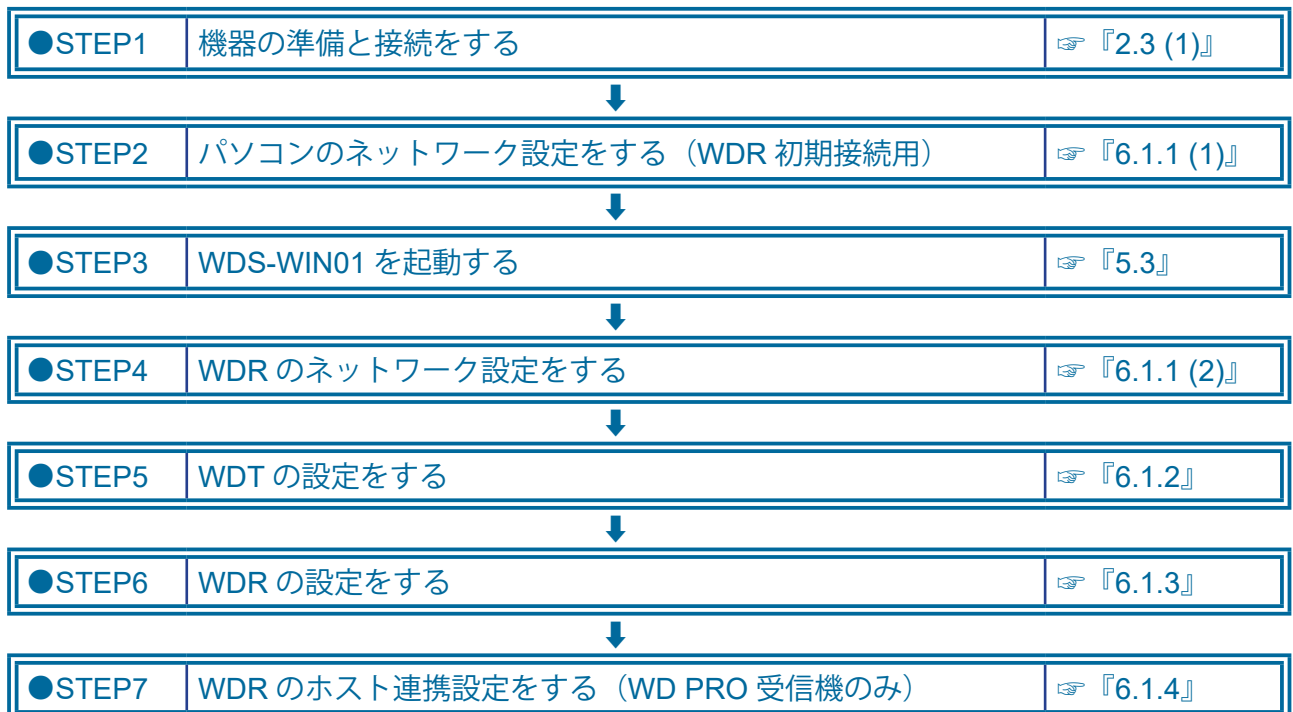


4 操作ガイドライン

4.1 WDS-WIN01 をはじめて使用する



4.2 WDT と WDR の設定をおこなう

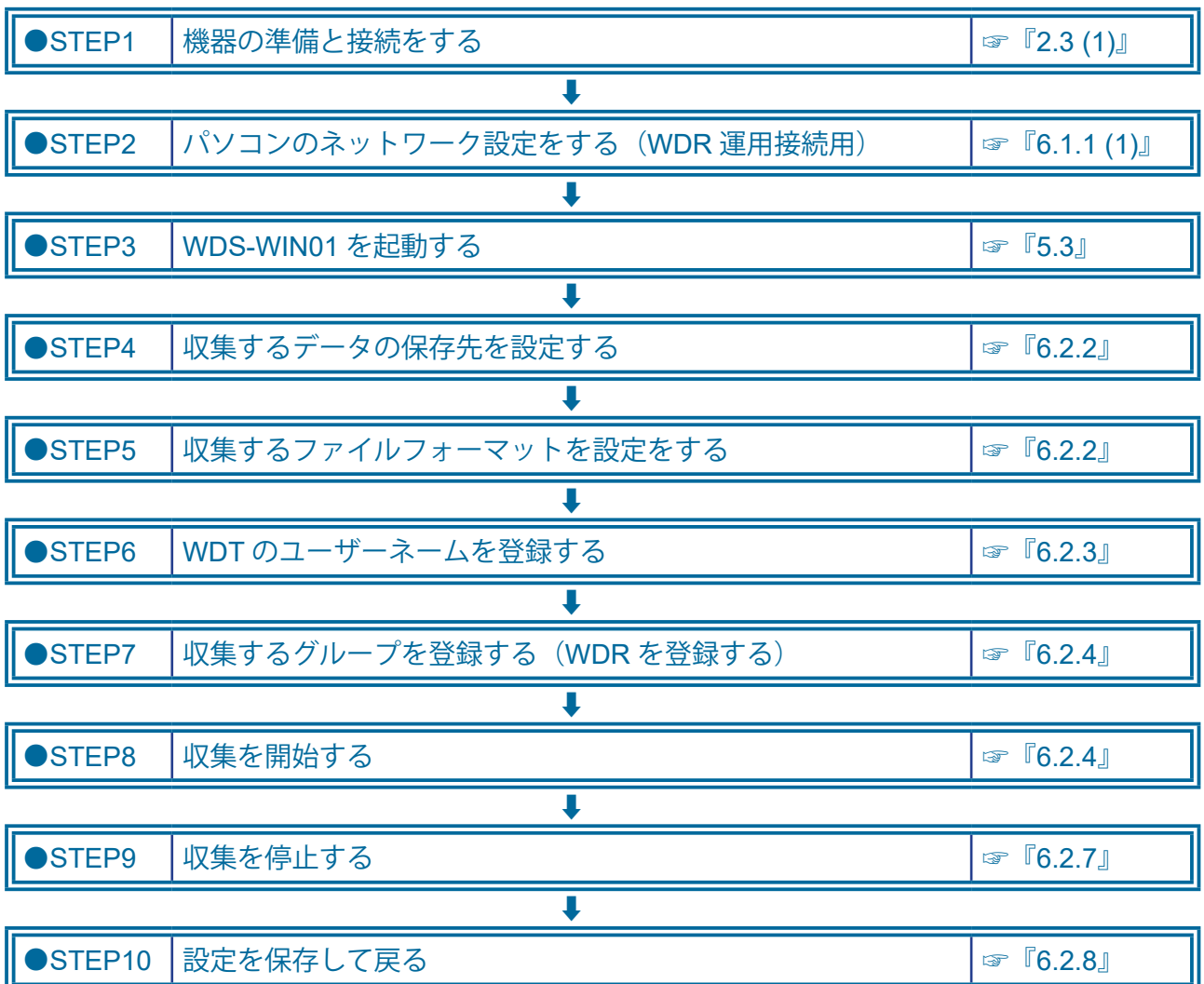


4.3 WDT、WDR の通信接続状態確認

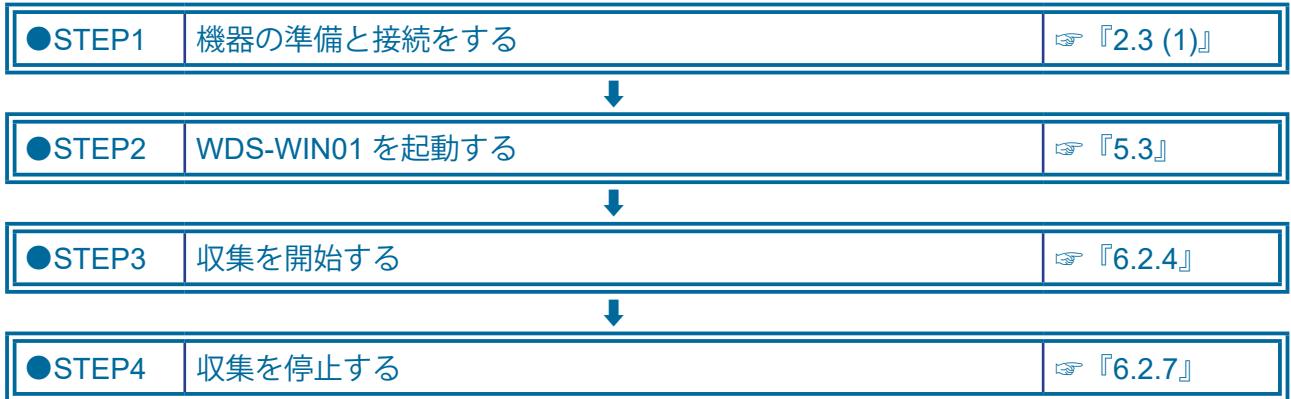


4.4 データ収集をおこなう

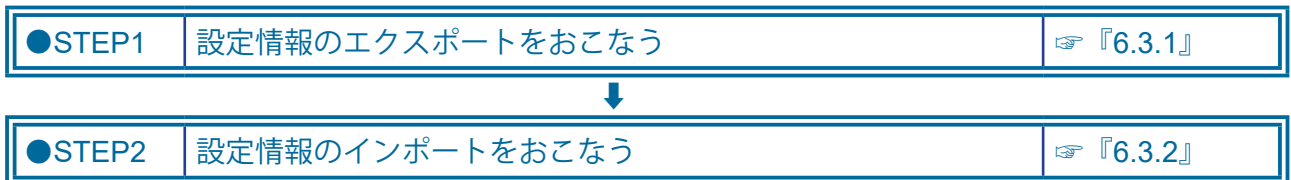
(1) 各種設定と収集をおこなう場合



(2) データ収集に関する各種設定が済みで収集をおこなう場合



4.5 データ収集に関する設定情報のエクスポート、インポートをおこなう



4.6 WDS-AUTO2 のユーザーネーム情報のインポートをおこなう



4.7 WDS-WIN01 をアンインストールする



5 導入方法


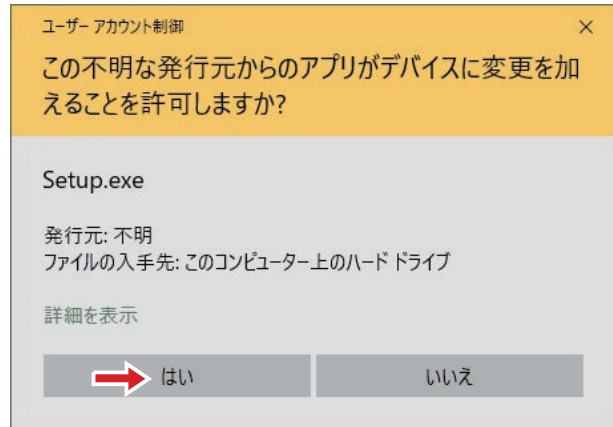
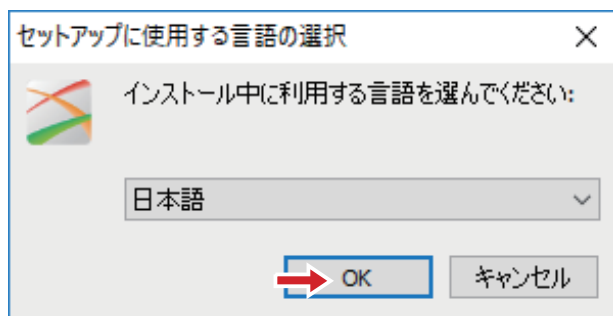
本書では、Windows® 10 の場合の手順を例に記載しています。

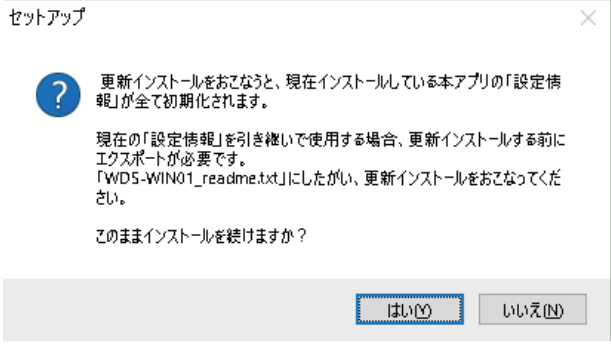

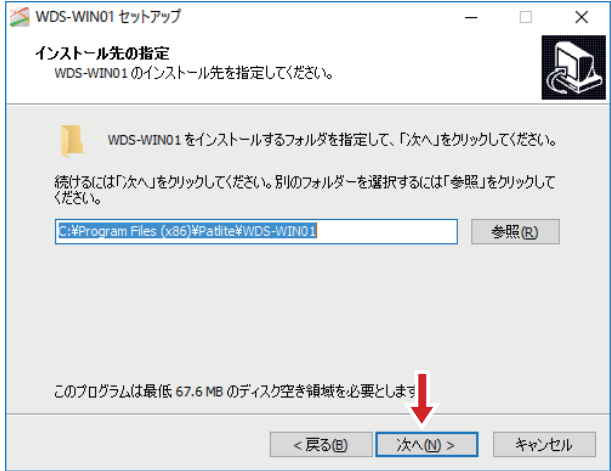
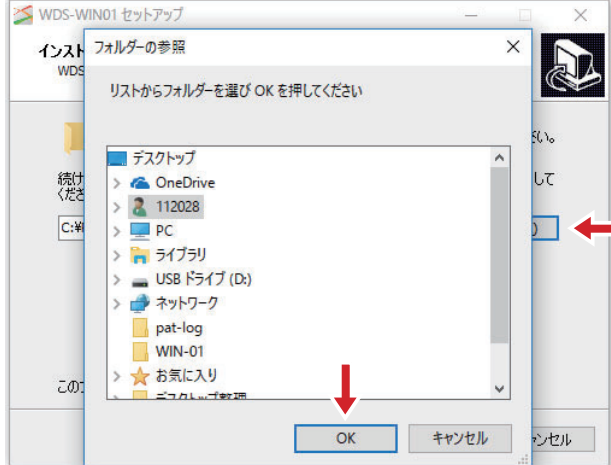
5.1 インストールの方法

⚠ 注意	
⚠	◆ 本製品のインストールは、管理者（Administrator）権限のあるユーザーで実行してください。



(1) WDS-WIN01 のインストール

以下の手順にしたがって、本製品のインストールをおこないます。

<p>1. ■ Setup.exe をダブルクリックします。</p>	 <p>Setup.exe</p>
<p>2. ■ ユーザーアカウント制御ウィンドウが表示された場合、[はい] をクリックします。</p>	
<p>3. ■ [OK] をクリックします。</p>	

<p>4.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ インストール続ける場合は、[はい] をクリックします。 ■ エクスポートする場合は、[いいえ] をクリックします。 	
<p>5.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [次へ] をクリックします。 	
<p>6.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ インストール先を指定し、[次へ] をクリックします。 	
<ul style="list-style-type: none"> ■ インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックします。 ■ フォルダを指定して [OK] をクリックします。 	

<p>7. ■ デスクトップ上にアイコンを作成するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。</p>	
<p>8. ■ [インストール]をクリックします。</p>	
<p>9. ■ インストールの[完了]を待ちます。</p>	

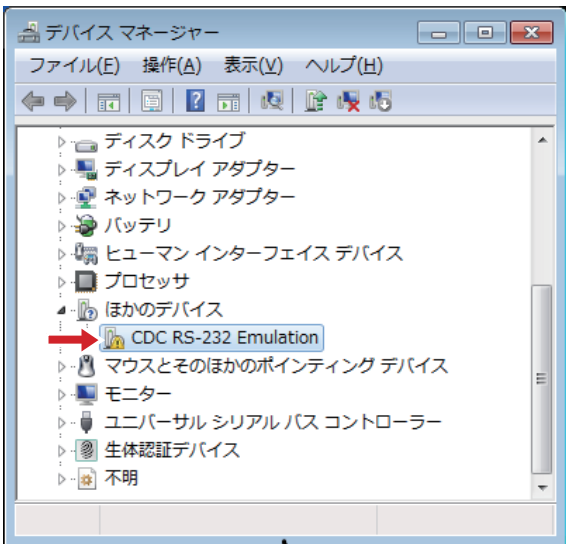
<p>10. ■ [完了] をクリックします。</p>	
<p>11. ■ [デスクトップ上にアイコンを作成する] を選択した場合は、ショートカットがデスクトップに作成されます。</p>	
<p>12. ■ 完了</p>	<p>—</p>

(2) USB ドライバのインストール (USB 接続で使用する場合)

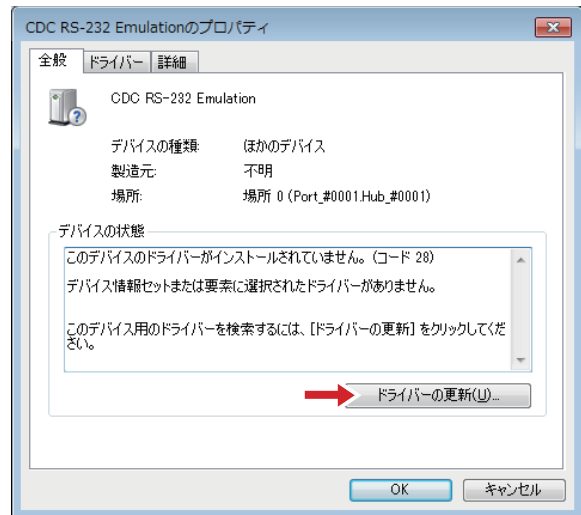
⚠ 注意

◆ ご使用の OS (Windows10 以外) によっては USB ドライバが必要な場合があります。USB ドライバはインストールフォルダ (☞ [5.1 (1) 6] 参照) 中の「¥patlite¥WDS-WIN01¥USB_Driver」に保存されています。

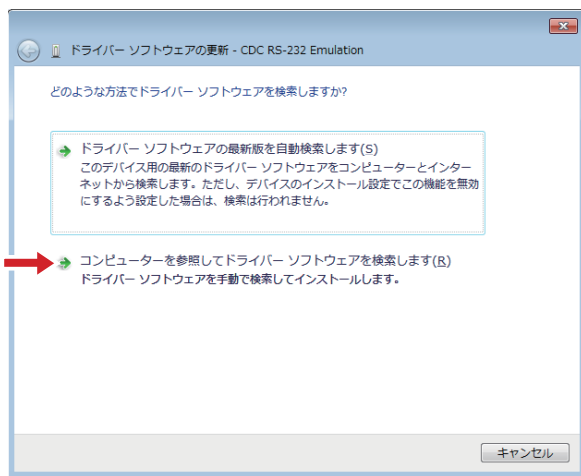
Windows7 を例にインストール方法を説明します。

<p>1. ■ WDR をパソコンへ USB ケーブルで接続します。</p>	
<p>2. ■ Windows の [デバイスマネージャ] を表示し [ほかのデバイス] 内の [CDC RS-232 Emulation] をダブルクリックします。</p>	

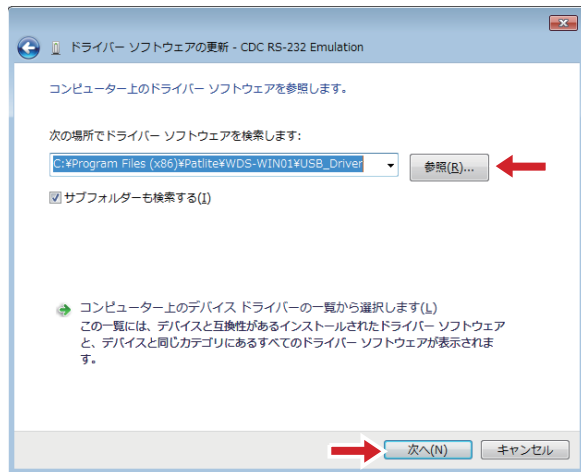
3. ■ [ドライバーの更新] をクリックします。



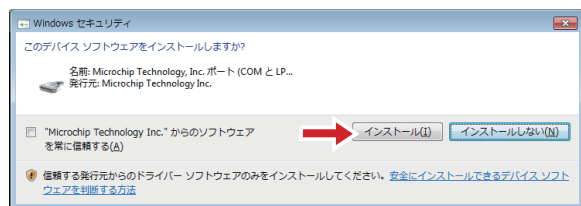
4. ■ [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)・・・] をクリックします。



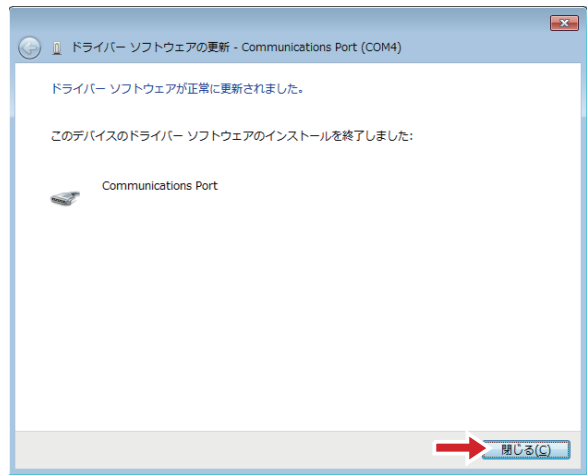
5. ■ USB ドライバの保存先 (☞ [5.1 (1) 6] で指定したフォルダ) を選択し [次へ] をクリックします。



6. ■ [インストール] をクリックします。



- 7.**
- インストールされます。
 - [閉じる] をクリックします。

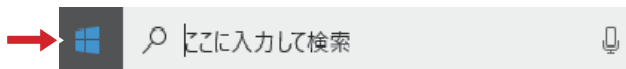



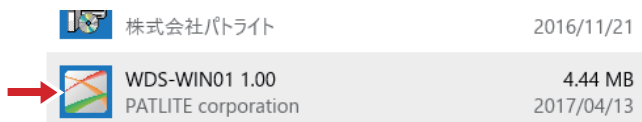


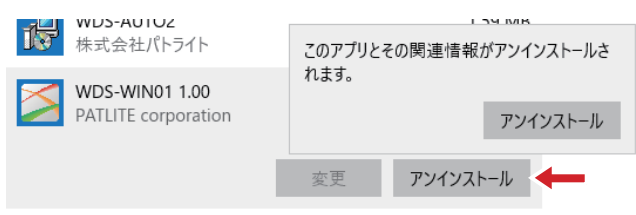
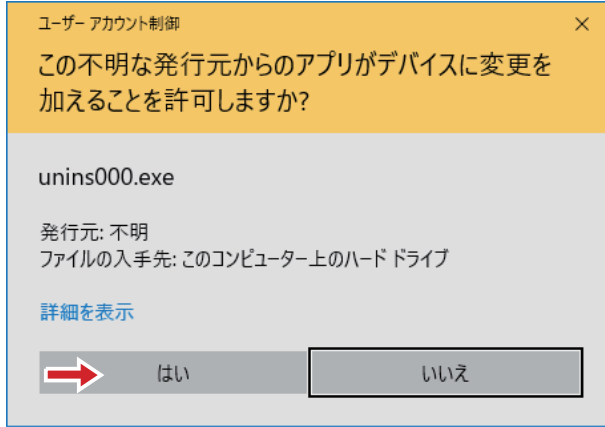
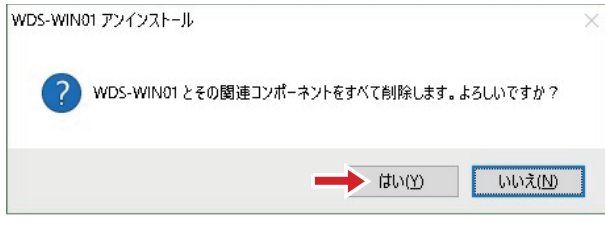
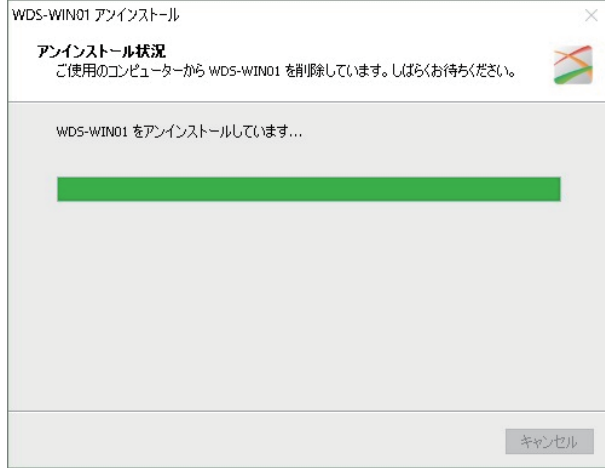
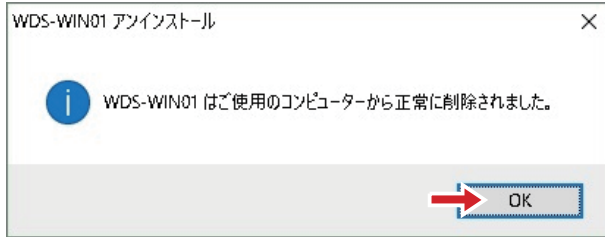
- 8.**
- 完了

5.2 アンインストールの方法

⚠ 注意	
⚠	◆ 本製品のインストールは、管理者（Administrator）権限のあるユーザーで実行してください。


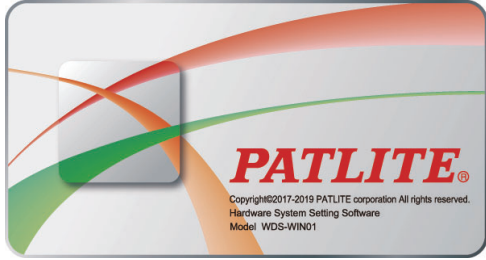

以下の手順にしたがって、本製品のアンインストールをおこないます。

<p>1. ■ タスクバーの [スタート] をクリックします。</p>	
<p>2. ■ [スタート] メニューの [設定] をクリックします。</p>	
<p>3. ■ [設定] メニューの [システム] をクリックします。</p>	
<p>4. ■ [システム] メニューの [アプリと機能] をクリックします。</p>	
<p>5. ■ [WDS-WIN01] を探し、クリックします。</p>	


<p>6. ■ [アンインストール] をクリックします。</p>	
<p>7. ■ ユーザーアカウント制御ウィンドウが表示された場合は [はい] をクリックします。</p>	
<p>8. ■ [はい] をクリックします。</p>	
<p>9. ■ アンインストールの完了を待ちます。</p>	
<p>10. ■ [OK] をクリックします。</p>	
<p>11. ■ 完了 (パソコンの再起動は不要です。)</p>	<p>—</p>

5.3 WDS-WIN01 の起動方法

(1) デスクトップ上にショートカットアイコンを作成している場合

<p>1. ■ ショートカットアイコンをダブルクリックします。</p>	
<p>2. ■ 右の画面が数秒間表示します。</p>	
<p>3. ■ トップページが起動します。</p>	
<p>4. ■ 完了</p>	<p>—</p>

(2) デスクトップ上にショートカットアイコンを作成していない場合

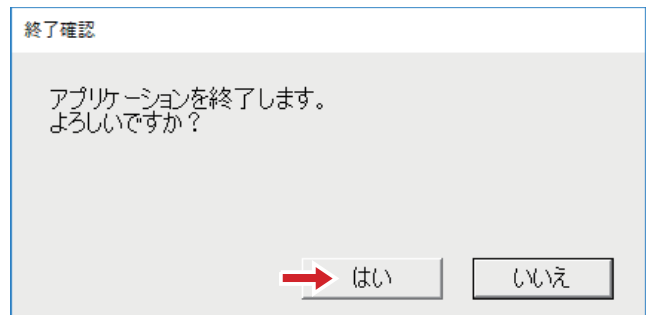
<p>1. ■ スタートメニューから起動してください。</p>	
----------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

5.4 WDS-WIN01 の終了方法

1. ■ トップメニューの [閉じる] をクリックします。



2. ■ [はい] をクリックします。



3. ■ 完了

—

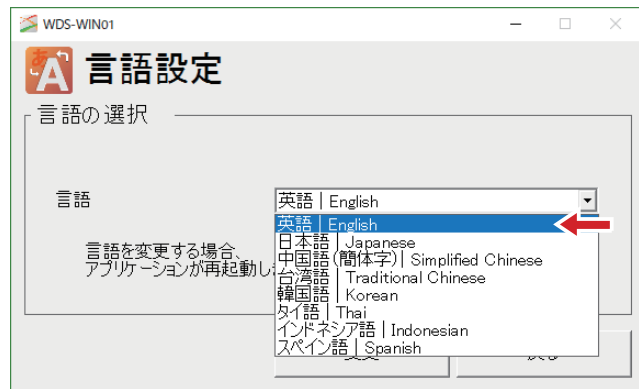
5.5 表示言語の変更方法

1. ■ 表示言語を日本語→英語に変更します。トップメニューの[言語設定]をクリックします。

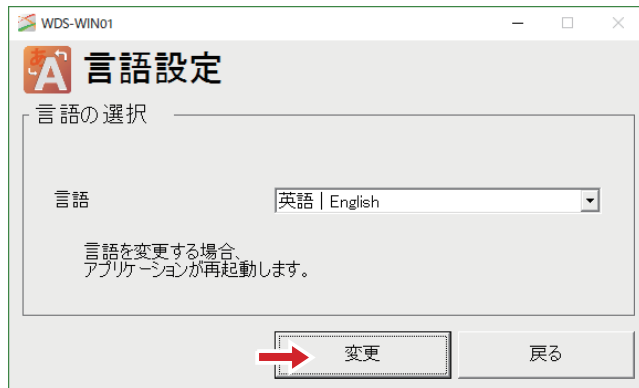
※英語に変更する手順を記載していますが、その他の言語に変更する場合も同様です。

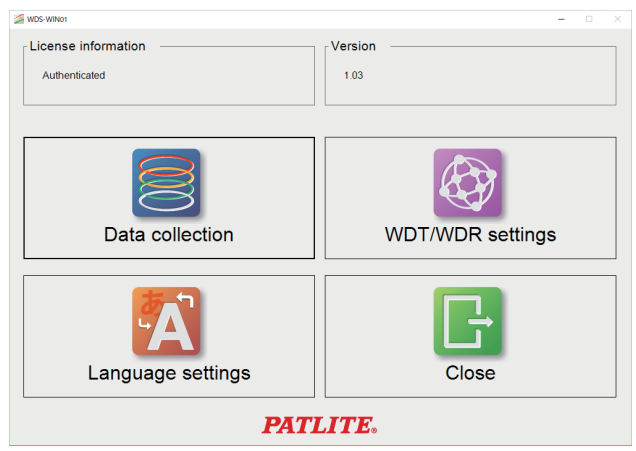




2. ■ プルダウンメニューから [英語 | English] を選択します。



3. ■ [変更] をクリックします。



<p>4. ■ 自動的にアプリケーションが再起動し、トップページが英語で表示されます。</p>	 <p>The screenshot shows a window titled 'WDS-WIN01'. It contains a 'License information' section with 'Authenticated' and a 'Version' section with '1.03'. Below these are four buttons: 'Data collection' (blue icon), 'WDT/WDR settings' (purple icon), 'Language settings' (orange 'A' icon), and 'Close' (green icon). The 'PATLITE' logo is at the bottom.</p>
<p>5. ■ 完了</p>	<p>—</p>


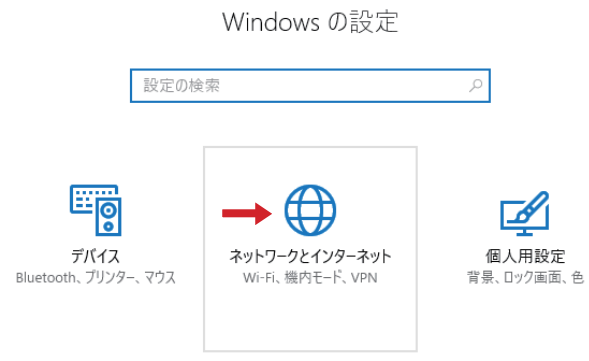


 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ご使用の OS の言語によって、初期起動時の表示言語が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語 OS の場合 → 日本語で表示されます。 ・ その他言語 OS → 英語で表示されます。 ◆ 表示言語を変更した後は、変更した言語で起動します。

6 使用方法

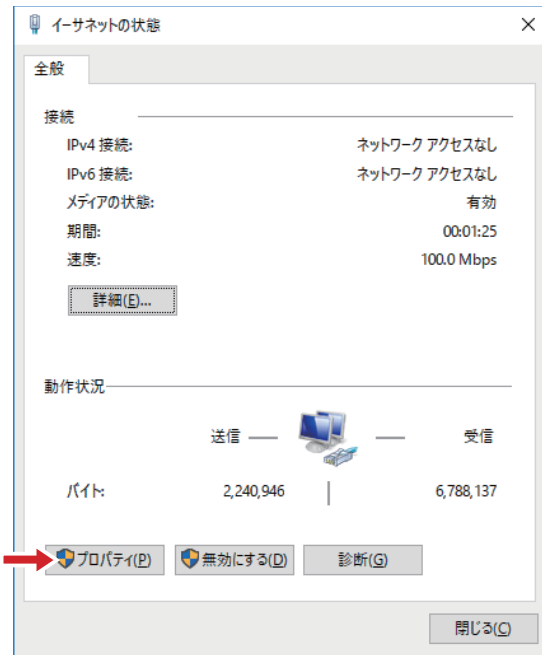
6.1 WDT/WDR 設定

6.1.1 WDR のネットワーク設定

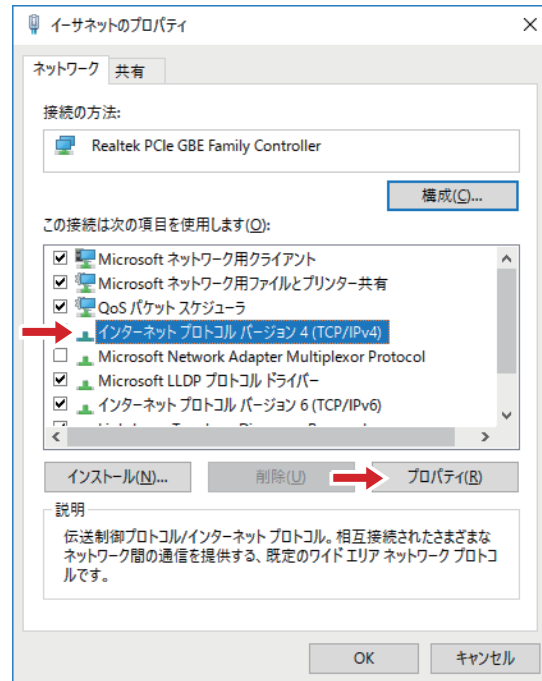
(1) パソコンの IP アドレスの設定をおこなう。

<p>1. ■ [タスクバー] の [スタートメニュー] の [設定] をクリックします。</p>	
<p>2. ■ [設定] メニューの [ネットワークとインターネット] をクリックします。</p>	
<p>3. ■ [状態] メニューの [アダプタのオプションを変更する] をクリックします。</p>	
<p>4. ■ WDR を接続する [イーサネット] もしくは [ローカルエリア接続] をダブルクリックします。</p>	

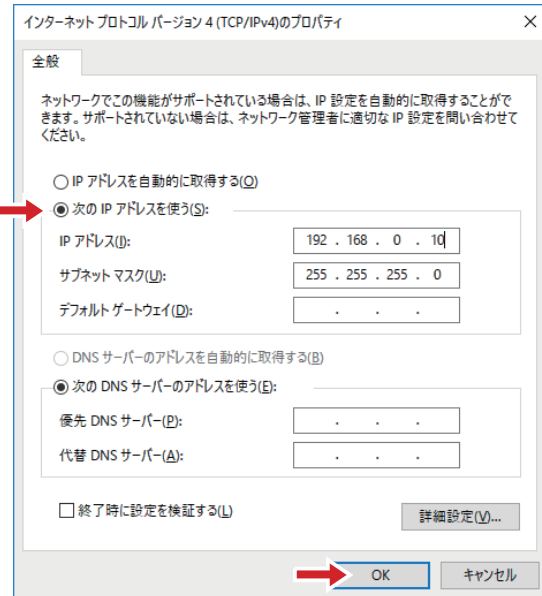
5. ■ [プロパティ] をクリックします。



6. ■ [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] を選択します。
 ■ [プロパティ] をクリックします。



- 7.**
- 次の項目を入力します。
 - ・ IP アドレス
 - ・ サブネットマスク
 - ・ デフォルトゲートウェイ
 - ※ WDR と初回接続時は次の内容で設定してください。
 - ・ IP アドレス
WDR-L-Z2/ WDR-LE-Z2
「192.168.0.*」 (* : 1 以外)
 - WD PRO 受信機
「192.168.10.*」 (* : 1 以外)
 - ・ サブネットマスク
「255.255.255.0」
 - ・ デフォルトゲートウェイ
「0.0.0.0」
 - ※ 運用時に使用する設定は事前に決めておいてください。
 - [OK] ボタンをクリックします。

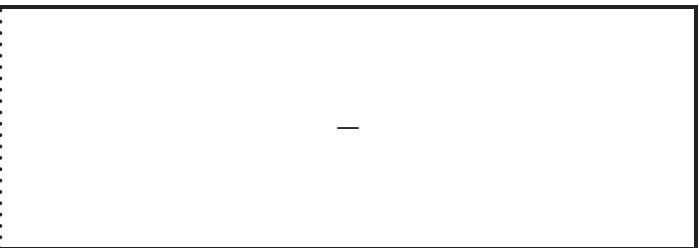


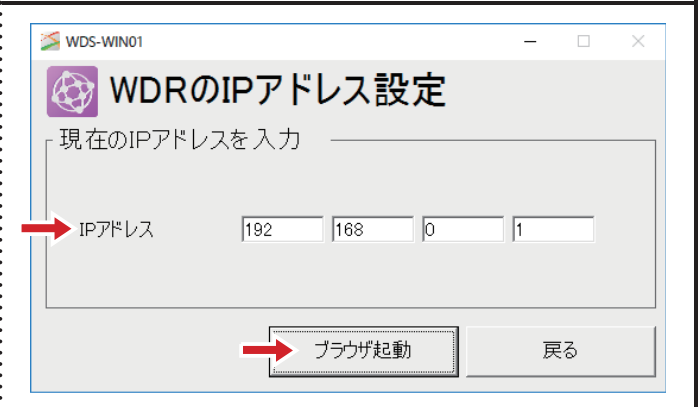


- 8.**
- 完了

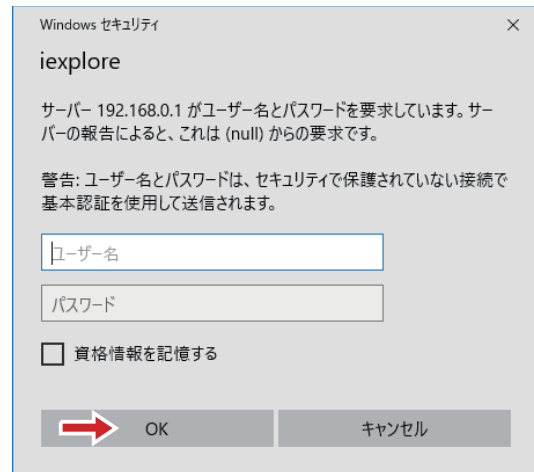
(2) WDR の IP アドレスの設定をおこなう。

■ 受信機が WDR-L-Z2/ WDR-LE-Z2 の場合

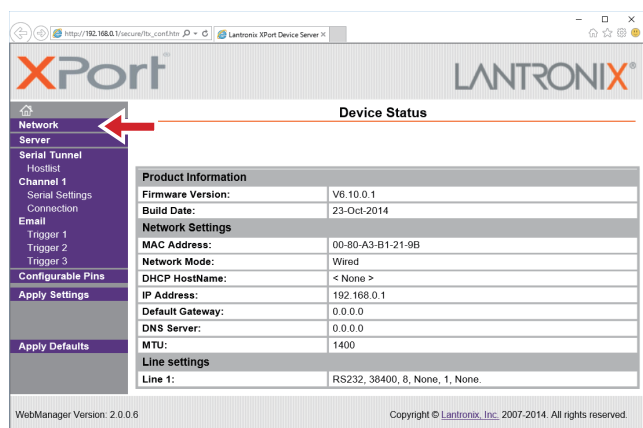
(WD PRO 受信機の場合は、☞『受信機が WD PRO 受信機の場合』へ)

<p>1.</p> <p>■ WDR をパソコンと LAN ケーブルで接続します。</p> <p>接続方法は☞『2.3 (1) ② メンテナンス時のシステム構成』を参照。</p>	
<p>2.</p> <p>■ トップメニューの [WDT/WDR 設定] をクリックします。</p>	
<p>3.</p> <p>■ [LAN で使用する] 項目内の [WDR の IP アドレス設定] をクリックします。</p>	
<p>4.</p> <p>■ 接続している WDR の現在の IP アドレスを入力します。</p> <p>WDR を初めて設定をする場合は IP アドレスの初期値「192.168.0.1」を入力してください。</p> <p>■ 入力後に「ブラウザ起動」をクリックします。</p>	

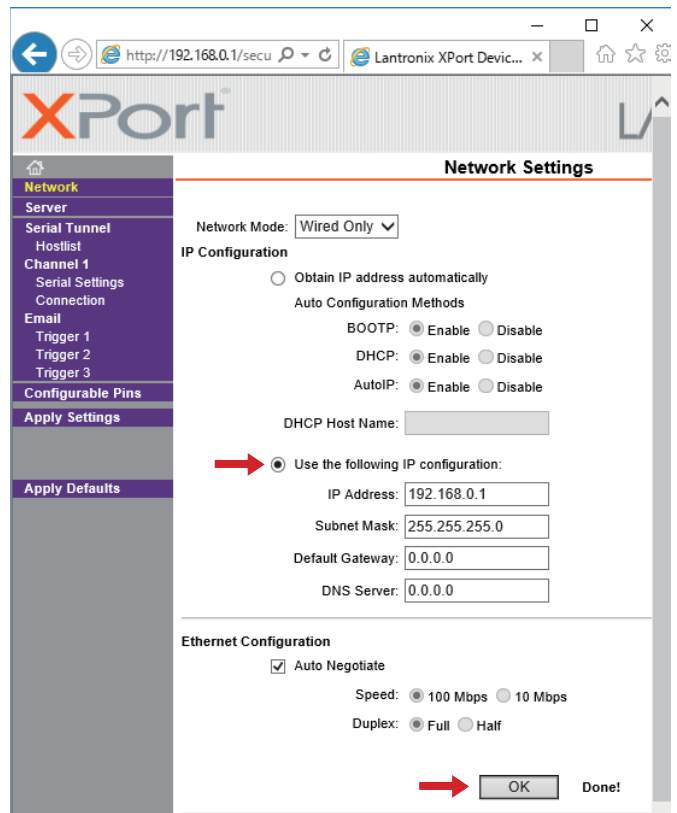
- 5.**
- ブラウザが起動しアクセス制限のウィンドウが表示します。
 - ユーザー名、パスワードは設定されていないので入力不要です。
 - [OK] をクリックします。



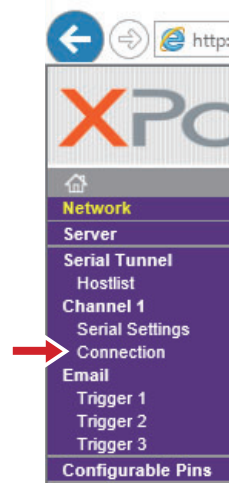
- 6.**
- [XPort®] ブラウザが表示します。
 - 左側メニューの [Network] をクリックします。



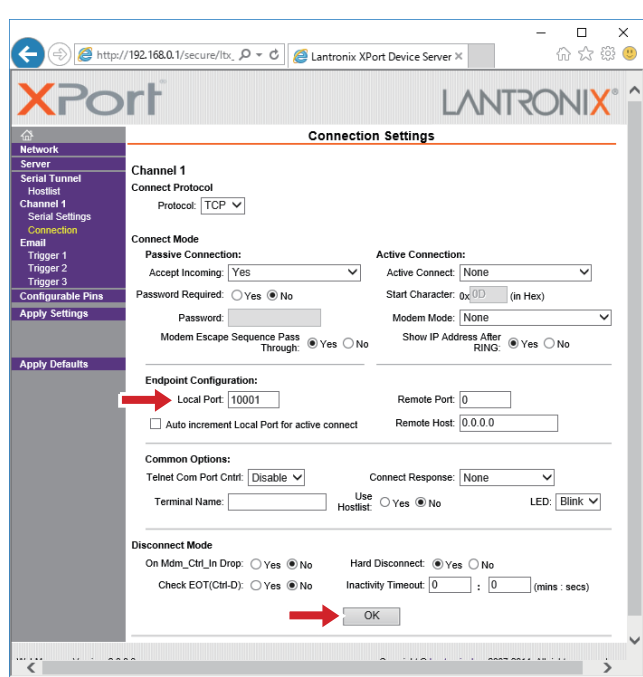
7. ■ [Network Settings] 画面が表示します。
- ※ Internet Explorer® のバージョンによって、画面が正常に表示されない場合があります。Internet Explorer® の互換表示を有効にして実施してください。
- 画面中央の [Use the following IP configuration] に変更する
- ・ [IP Address]
 - ・ [Subnet Mask]
- を入力します。
- ・ [Default Gateway]
 - ・ [DNS Server]
- は必要に応じて入力してください。不要な場合は「0.0.0.0」をそれぞれに入力してください。
- ※ 設定内容の詳細は
 ➡ 『7.1.2 WDR 設定項目 (パソコン接続設定)』を参照。
- [OK] をクリックします。



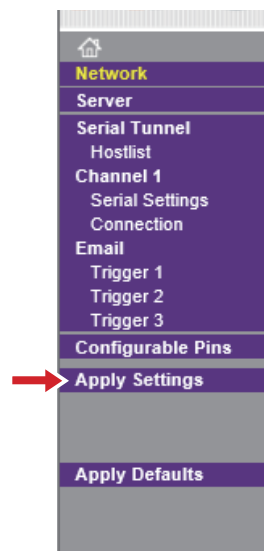
8. ■ ポート番号を変更する場合は次の手順で設定可能です。
- ※ 通常、変更の必要はありません。設定しない場合は No.10 へ進んでください。
- [Connection] をクリックします。



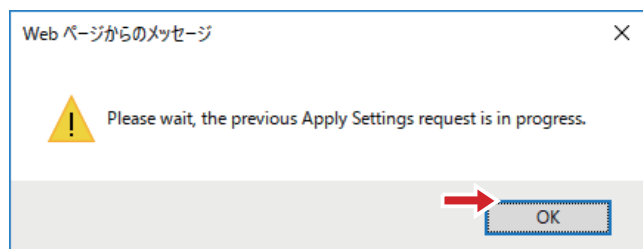
9. ■ [Connection] 画面が表示します。
- 画面の [Local Port] に変更するポート値を入力します。
- [OK] をクリックします。



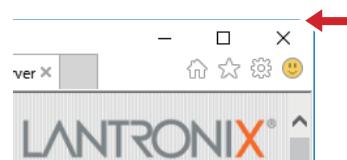
10. ■ それぞれの変更を決定します。
- メニューの [Apply Settings] をクリックします。
- ※ メニュー最下にある [Apply Defaults] をクリックしないでください。WDR が動作しなくなります。
- 実行してしまった場合は、
 『WDT- □ LR-Z2/WDR-L(E)-Z2 総合取扱説明書 7.2 (5) WDR の LAN 通信設定の初期化方法』を実施し、再度設定をおこなってください。




11. ■ [OK] をクリックします。



12. ■ [X] をクリックしてブラウザを閉じます。



<p>13. ■ [戻る] をクリックします。</p>	
<p>14. ■ 完了</p>	<p>—</p>

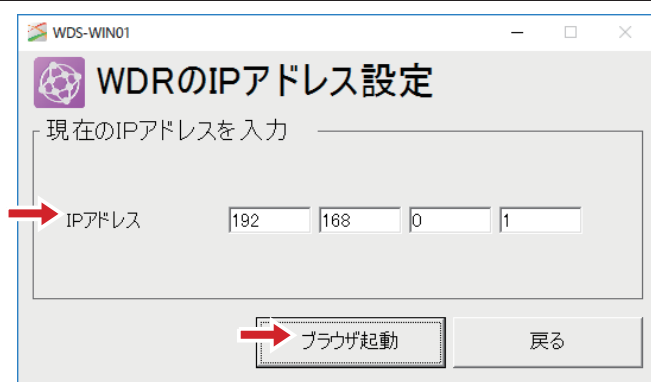
■ 受信機が WD PRO 受信機の場合

<p>1. ■ WDR をパソコンと LAN ケーブルで接続します。</p> <p>■ 接続方法は 『2.3 (1) ② メンテナンス時のシステム構成』 を参照。</p>	<p>—</p>
<p>2. ■ トップメニューの [WDT/WDR 設定] をクリックします。</p>	
<p>3. ■ [LAN で使用する] 項目内の [WDR の IP アドレス設定] をクリックします。</p>	

4. ■ 接続している WDR の現在の IP アドレスを入力します。

WDR を初めて設定をする場合は IP アドレスの初期値「192.168.10.1」を入力してください。

- 入力後に「ブラウザ起動」をクリックします。



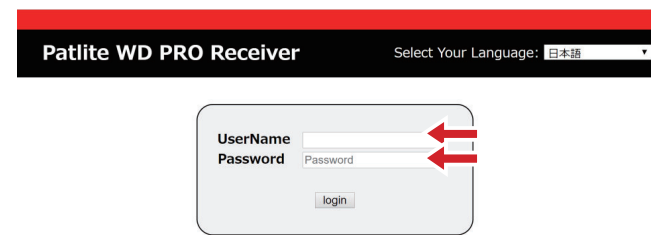
5. ■ ブラウザが起動し、ログイン画面が表示されます。

- ユーザー名とパスワードを入力します。

始めて WDR の WEB 画面にログイン時、ファームウェアバージョンによって、ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを必ず設定してください。

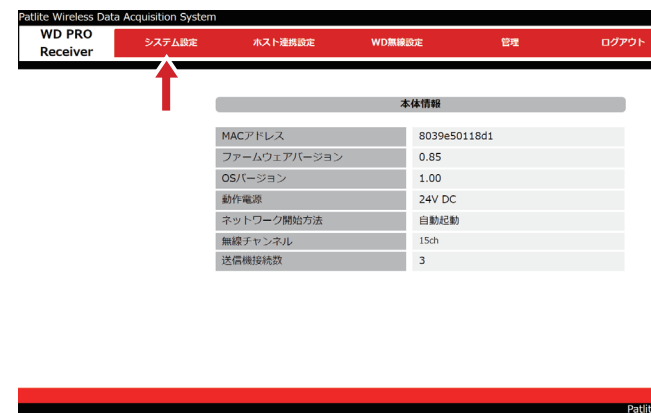
- ※ ファームウェアバージョン 1.02 以前の場合、ユーザー名とパスワードの初期値は「patlite」「patlite」となります。

- [ログイン] をクリックします。



6. ■ トップ画面が表示します。

- [システム設定] をクリックし、[ネットワーク設定] をクリックします。



7. ■ [ネットワーク設定] 画面が表示します。
- IPアドレス設定方法を選択します。
- ・ [IPアドレス]
 - ・ [サブネットマスク]
- を入力します。
- ・ [デフォルトゲートウェイ]
 - ・ [DNSサーバー]
 - ・ [ホスト名]
- は必要に応じて入力してください。
不要な場合は「0.0.0.0」をそれぞれに入力してください。
- ※ 設定項目詳細は
 ➡ 『 [WDT- □ LR-Z2/WDR-L(E)-Z2-PRO(-L) 総合取扱説明書] 7.3.2.1 ネットワーク設定』を参照。
- [OK] をクリックします。



8. ■ [設定] をクリックします。




9. ■ 設定が完了すると完了画面が表示します。




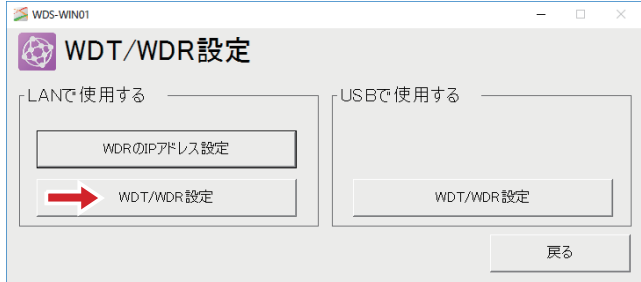

<p>10. ■ [X] をクリックしてブラウザを閉じます。</p>	
<p>11. ■ [戻る] をクリックします。</p>	
<p>12. ■ 完了</p>	<p style="text-align: center;">—</p>

6.1.2 WDT の設定

お知らせ
<p>◆ 無線チャンネル、グルーピング、ExtendedPanID、MAC アドレスについての説明は、 ④『 [WDT- □ LR-Z2/WDR-L(E)-Z2-PRO(-L)総合取扱説明書] 6.1 設置の前に』を参照してください。</p>

⚠ 注意	
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ◆ WDT の「ExtendedPanID」を「0000 0000 0000 0000」に設定している場合は、任意の「ExtendedPanID」が設定された WDR とグルーピングされます。この場合、グルーピングされる無線ネットワークが安定しないため、運用時は、「0000 0000 0000 0000」以外を設定してください。 ◆ 本製品でデータ収集をおこなう場合は、WDT の送信モードを「変化時送信モード」でご使用ください。

(1) LAN 接続でおこなう場合

<p>1.</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ WDR と WDT はシステム構成に基づいて接続、電源投入をおこなってください。 ☞ 『2.3 (1) システム構成』を参照。 ■ トップメニューの [WDT/WDR 設定] をクリックします。 	 <p>The screenshot shows the main menu of the software. At the top, there are fields for 'ライセンス情報' (License Information) with '認証済み' (Authenticated) and 'バージョン' (Version) '1.03'. Below are four large buttons: 'データ収集' (Data Collection), 'WDT/WDR設定' (WDT/WDR Settings), '言語設定' (Language Settings), and '閉じる' (Close). A red arrow points to the 'WDT/WDR設定' button. The 'PATLITE.' logo is at the bottom.</p>
<p>2.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [LAN で使用する] 項目内の [WDT/WDR 設定] をクリックします。 	 <p>The screenshot shows the 'WDT/WDR設定' dialog box. It has two tabs: 'LANで使用する' (Selected) and 'USBで使用する'. Under the 'LAN' tab, there are buttons for 'WDRのIPアドレス設定' and 'WDT/WDR設定'. A red arrow points to the 'WDT/WDR設定' button. There is also a '戻る' (Back) button at the bottom right.</p>
<p>3.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 接続している WDR の現在の IP アドレスを入力します。 ・ WDR の IP アドレスを初期状態から変更していない場合は初期値「192.168.0.1」を入力してください。 ※ WD PRO 受信機の場合は、初期値「192.168.10.1」となります。 ・ ポートを『6.1.1 (2)』で変更していない場合は「10001」から変更しないでください。 ・ ポートを『6.1.1 (2)』で変更している場合はそのポート番号を入力してください。 ■ 入力後に [次へ] をクリックします。 	 <p>The screenshot shows the input screen for IP address and port. It has a title 'WDT/WDR設定' and a subtitle '現在のIPアドレスを入力'. There are two input fields: 'IPアドレス' and 'ポート'. The IP address field is split into four boxes containing '192', '168', '0', and '1'. The port field contains '10001'. Red arrows point to both input fields. At the bottom, there are '次へ' (Next) and '戻る' (Back) buttons.</p>

4. ■ [WDT 設定] 項目内の [WDT リスト] に現在接続している WDT が表示されます。
- ※ WDT リストの表示には 10 秒程度時間が掛かる場合があります。
- 設定する WDT のチェックボックスを選択し、[選択して設定へ] をクリックします。



5. 【WDT の場合】
- 選択した WDT の設定をおこないます。
- ・ [ExtendedPanID]
 - ・ [周波数チャンネル]
 - ・ [信号灯入力判定]
 - ・ [電源設定]
 - ・ [カウンタ設定]
 - ・ [送信モード]
- をそれぞれ設定、選択します。

- ※ 本製品でデータ収集をおこなう場合は、[送信モード] を [変化時送信] に設定してください。
- ※ [カウンタ設定] は、指定できない機種や Ver があります。詳細は 『7.1.1 (3) ⑤ カウンタ設定』 を参照。
- ※ 各項目の詳細は 『7.1.1 WDT 設定項目』 を参照。
- すべての設定、選択が完了後、[すべての設定変更を反映] をクリックします。これで設定が WDT に書き込まれます。

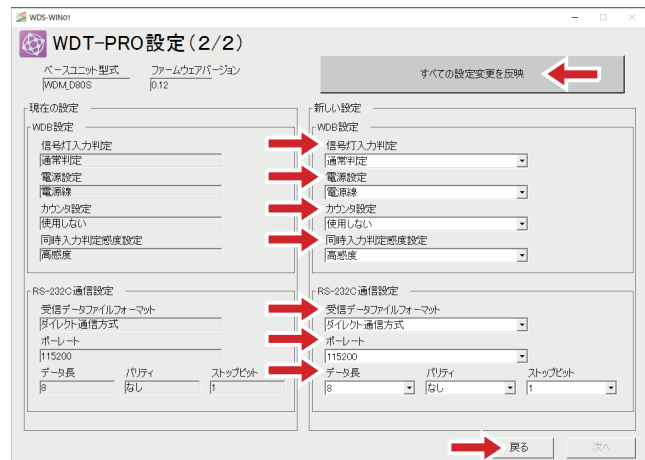
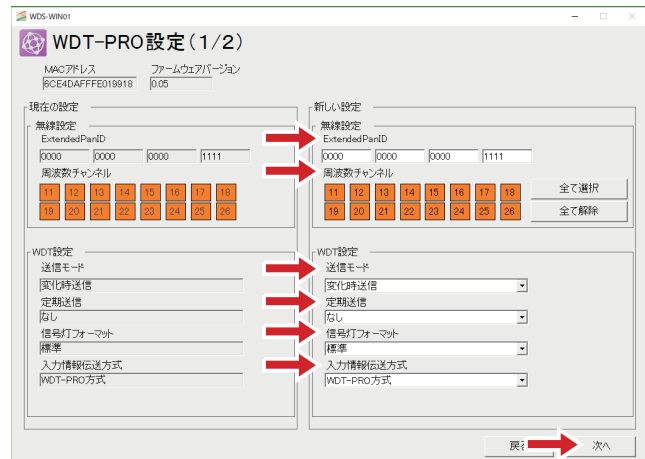


【WDT-PRO の場合】

- 選択した WDT の設定をおこないます。
- ・ [ExtendedPanID]
- ・ [周波数チャンネル]
- ・ [信号灯入力判定]
- ・ [電源設定]
- ・ [カウンタ設定]
- ・ [送信モード]
- ・ [入力情報伝達方式]
- ・ [信号灯フォーマット]
- ・ [定期送信]
- ・ [同時入力判定感度設定]
- ・ [受信データファイルフォーマット]
- ・ [ボーレート]
- ・ [データ長]
- ・ [パリティ]
- ・ [ストップビット]

をそれぞれ設定、選択します。

- ※ 画面の切替は、[次へ] [戻る] をクリックします。
- ※ 本製品でデータ収集をおこなう場合は、[送信モード] を [変化時送信] に設定してください。
- ※ 各項目の詳細は
 ④ 『7.1.1 WDT 設定項目』を参照。
- すべての設定、選択が完了後、[すべての設定変更を反映] をクリックします。
 これで設定が WDT に書き込まれます。



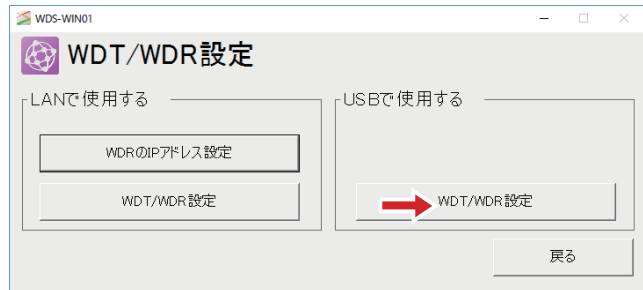
6. ■ 完了

(2) USB 接続でおこなう場合

1. ※ WDR と WDT はシステム構成に基づいて接続、電源投入をおこなってください。
 ④『2.3 (1) システム構成』を参照。
 ■ トップメニューの「WDT/WDR 設定」をクリックします。



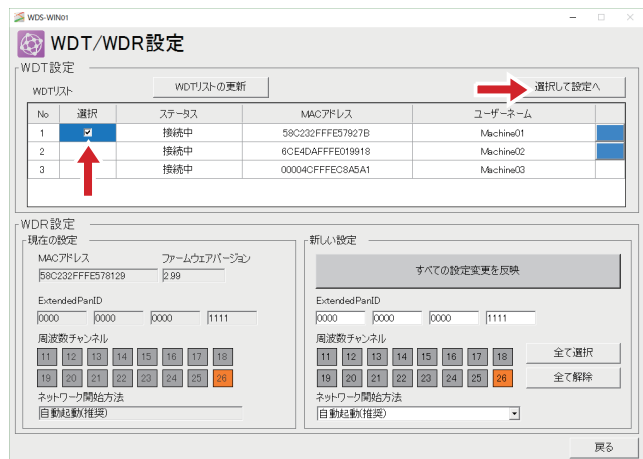
2. ■ [USB で使用する] 項目内の [WDT/WDR 設定] をクリックします。



3. ■ [COM ポートリストの更新] をクリックします。
 ■ COM ポート番号がプルダウンメニューに表示されます。
 メニューから WDR の COM ポートを選択し、[次へ] をクリックします。



4. ■ [WDT 設定] 項目内の [WDT リスト] に現在接続している WDT が表示されます。
 ※ WDT リストの表示には 10 秒程度時間が掛かる場合があります。
 ■ 設定する WDT のチェックボックスを選択し、[選択して設定へ] をクリックします。




5. 【WDTシリーズの場合】

- 選択した WDT の設定をおこないます。

- ・ [ExtendedPanID]
- ・ [周波数チャンネル]
- ・ [信号入力判定]
- ・ [電源設定]
- ・ [カウンタ設定]
- ・ [送信モード]

をそれぞれ設定、選択します。

- ※ 本製品でデータ収集をおこなう場合は、[送信モード] を [変化時送信] に設定してください。

- ※ [カウンタ設定] は、指定できない機種や Ver があります。詳細は
 『7.1.1 (3) ⑤ カウンタ設定』を参照。

- ※ 各項目の詳細は
 『7.1.1 WDT 設定項目』を参照。

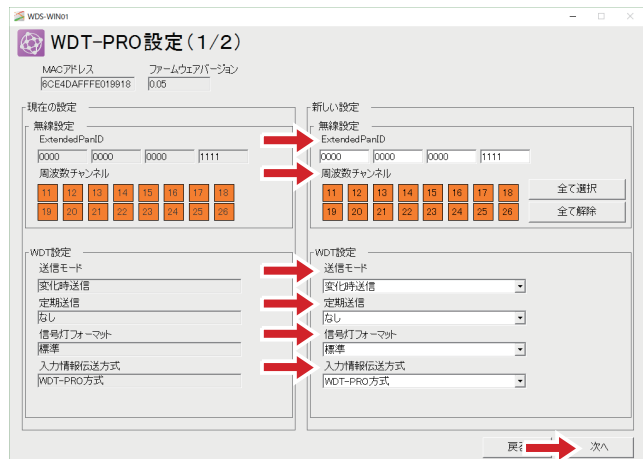
- すべての設定、選択が完了後、[すべての設定変更を反映] をクリックします。
 これで設定が WDT に書き込まれます。



【WDT-PRO シリーズの場合】


- 選択した WDT の設定をおこないます。
 - ・ [ExtendedPanID]
 - ・ [周波数チャンネル]
 - ・ [信号灯入力判定]
 - ・ [電源設定]
 - ・ [カウンタ設定]
 - ・ [送信モード]
 - ・ [入力情報伝達方式]
 - ・ [信号灯フォーマット]
 - ・ [定期送信]
 - ・ [同時入力判定感度設定]
 - ・ [受信データファイルフォーマット]
 - ・ [ボーレート]
 - ・ [データ長]
 - ・ [パリティ]
 - ・ [ストップビット]
- をそれぞれ設定、選択します。

- ※ 画面の切替は、[次へ] [戻る] をクリックします。
- ※ 本製品でデータ収集をおこなう場合は、[送信モード] を [変化時送信] に設定してください。
- ※ 各項目の詳細は
 ④ 『7.1.1 WDT 設定項目』を参照。
- すべての設定、選択が完了後、[すべての設定変更を反映] をクリックします。
 これで設定が WDT に書き込まれます。


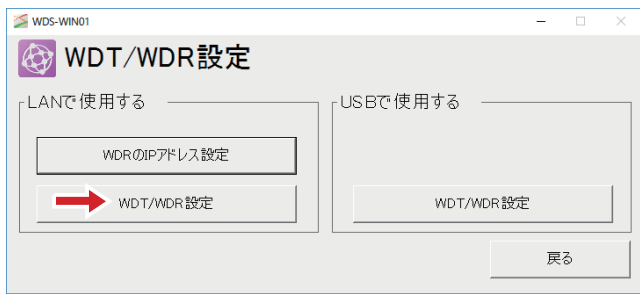
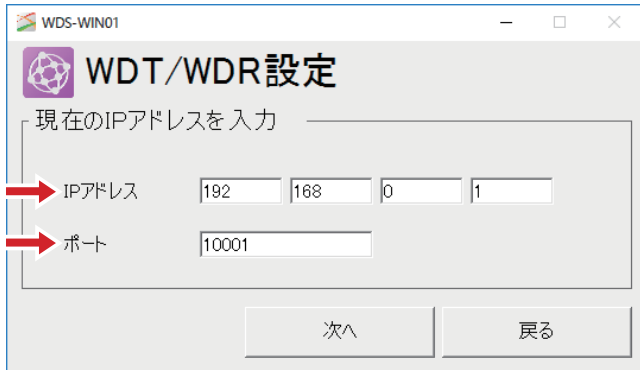


6. ■ 完了

6.1.3 WDR の設定

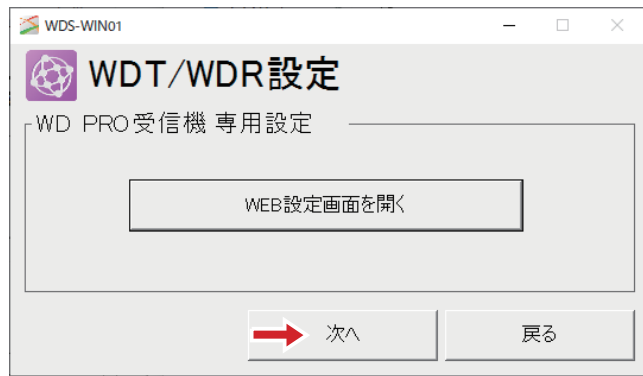
⚠ 注意	
 禁止	◆ 複数の WDR を使用する場合、「ExtendedPanID」の値を絶対に重複した値で設定しないでください。正常に動作しない場合があります。

(1) LAN 接続でおこなう場合

<p>1. ■ トップメニューの [WDT/WDR 設定] をクリックします。</p>	
<p>2. ■ [LAN で使用する] 項目内の [WDT/WDR 設定] をクリックします。</p>	
<p>3. ■ 接続している WDR の現在の IP アドレスを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WDR の IP アドレスを初期状態から変更していない場合は初期値「192.168.0.1」を入力してください。 ※ WD PRO 受信機の場合は、初期値「192.168.10.1」となります。 ・ ポートを『6.1.1 (2)』で変更していない場合は「10001」から変更しないでください。 ・ ポートを『6.1.1 (2)』で変更している場合はそのポート番号を入力してください。 <p>■ 入力後に [次へ] をクリックします。</p>	

4. ■ [次へ] をクリックします。

※ この手順は、WD PRO 受信機の場合のみ発生します。WDR の場合は、手順 4 を飛ばして、手順 5 になります。

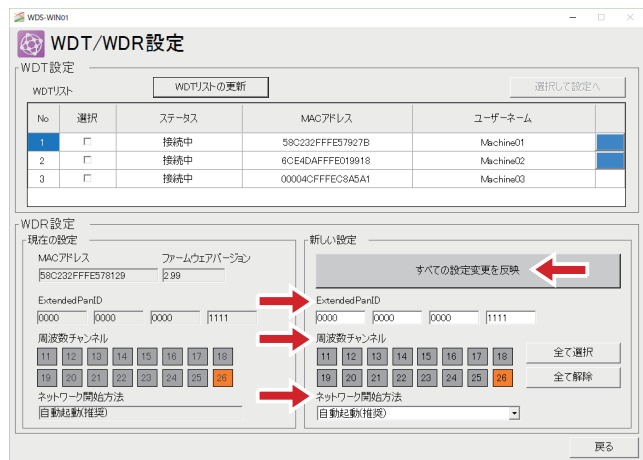


5. ■ WDR の設定をおこないます。

- ・ [ExtendedPanID]
 - ・ [周波数チャンネル]
- をそれぞれ設定、選択します。
- ・ [ネットワーク開始方法] は [自動起動 (推奨)] を選択してください。




■ すべての設定入力完了すれば [すべての設定変更を反映] をクリックします。

※ 設定内容の詳細は
 ➡ 『7.1.3 WDR 設定項目 (無線設定)』を参照。



6. ■ 完了

(2) USB 接続でおこなう場合

<p>1.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ トップメニューの [WDT/WDR 設定] をクリックします。 	 <p>The screenshot shows the main menu of the software. It includes fields for 'ライセンス情報' (License Information) and 'バージョン' (Version) 1.03. There are four main buttons: 'データ収集' (Data Collection), 'WDT/WDR設定' (WDT/WDR Settings), '言語設定' (Language Settings), and '閉じる' (Close). A red arrow points to the 'WDT/WDR設定' button. The 'PATLITE.' logo is at the bottom.</p>
<p>2.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [USB で使用する] 項目内の [WDT/WDR 設定] をクリックします。 	 <p>The screenshot shows the 'WDT/WDR設定' dialog box. It has two sections: 'LANで使用する' and 'USBで使用する'. Under 'USBで使用する', there are two buttons: 'WDRのIPアドレス設定' and 'WDT/WDR設定'. A red arrow points to the 'WDT/WDR設定' button. A '戻る' (Back) button is at the bottom right.</p>
<p>3.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [COM ポートリストの更新] をクリックします。 ■ COM ポート番号がプルダウンメニューに表示されます。 <p>メニューから WDR の COM ポートを選択し、[次へ] をクリックします。</p>	 <p>The screenshot shows the 'WDT/WDR設定' dialog box. The 'COMポートの選択' section has a dropdown menu for 'COMポート' with 'COM5' selected. A red arrow points to the dropdown. There is a 'COMポートリストの更新' button. At the bottom, there are '次へ' (Next) and '戻る' (Back) buttons. A red arrow points to the '次へ' button.</p>

4. ■ WDR の設定をおこないます。
- ・ [ExtendedPanID]
 - ・ [周波数チャンネル]
- をそれぞれ設定、選択します。
- ※ [ネットワーク開始方法] は [自動起動 (推奨)] を選択してください。
- すべての設定入力が完了すれば [すべての設定変更を反映] をクリックします。
- ※ 設定内容の詳細は 『7.1.3 WDR 設定項目 (無線設定)』 を参照。



5. ■ 完了

6.1.4 WDR のホスト連携設定をする (WD PRO 受信機のみ)


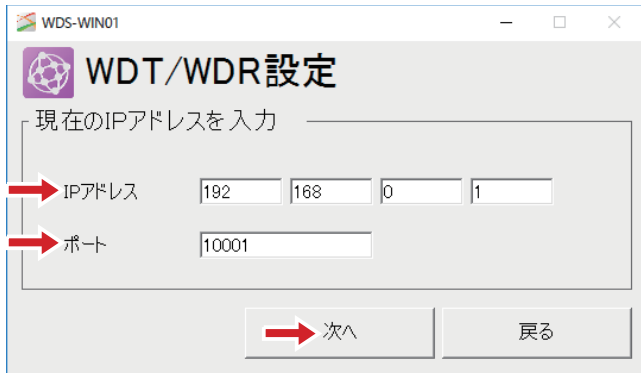
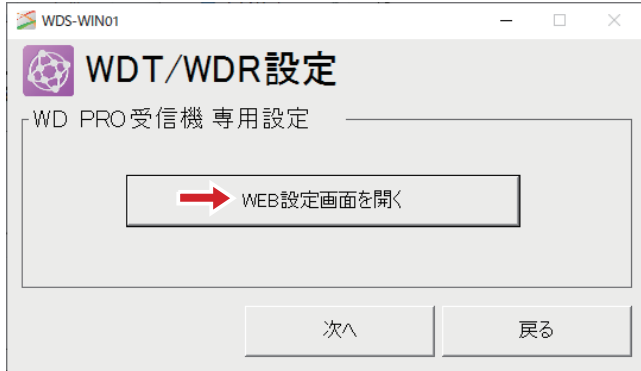
注意

禁止

◆ WD PRO 受信機を LAN で使用する場合のみ、設定することができます。USB では設定できません

1. ■ トップメニューの [WDT/WDR 設定] をクリックします。



<p>2.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [LAN で使用する] 項目内の [WDT/WDR 設定] をクリックします。 	
<p>3.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 接続している WDR の現在の IP アドレスを入力します。 ・ WDR の IP アドレスを初期状態から変更していない場合は初期値「192.168.10.1」を入力してください。 ・ ポートを『6.1.1 (2)』で変更していない場合は「10001」から変更しないでください。 ・ ポートを『6.1.1 (2)』で変更している場合はそのポート番号を入力してください。 ■ 入力後に [次へ] をクリックします。 	
<p>4.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [WEB 設定画面を開く] をクリックします。 	

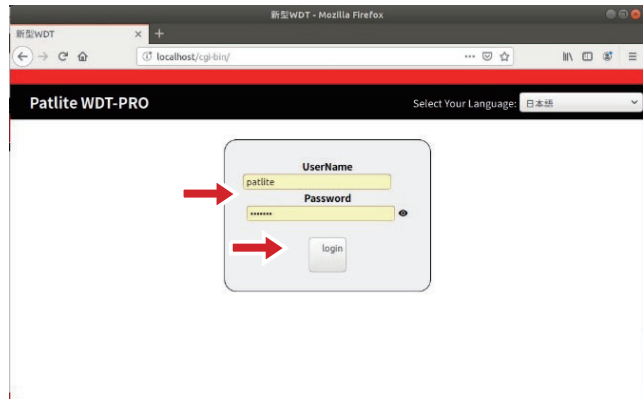
5. ■ ブラウザが起動し、ログイン画面が表示されます。

■ ユーザー名とパスワードを入力します。

始めて WDR の WEB 画面にログイン時、ファームウェアバージョンによって、ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを必ず設定してください。

※ ファームウェアバージョン 1.02 以前の場合、ユーザー名とパスワードの初期値は「patlite」「patlite」となります。

■ [ログイン] をクリックします。



6. ■ 設定可能な項目は以下となります。

- ・ [ソケット連携]
- ・ [データベース連携]
- ・ [Modbus/TCP 連携]

※ 用途に合わせて、設定してください。

■ 設定項目の詳細は
 ➡ 『 [WDT- □ LR-Z2/WDR-L(E)-Z2-PRO(-L) 総合取扱説明書] 7.3.3』を参照。



7. ■ 完了

—

6.2 データ収集

6.2.1 ライセンス認証


⚠ 注意	
⚠	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ライセンスカードは大切に保管してください。 ◆ 本製品をアンインストールして再度インストールする場合もライセンス認証が必要です。

<p>1. ■ トップメニューの [データ収集] をクリックします。</p>	
<p>2. ■ ライセンス認証をおこないます。</p> <p>ご購入された本製品のライセンス番号 17 桁を入力し、[認証] をクリックします。</p>	
<p>3. ■ 完了</p>	—

6.2.2 データ保存先、CSV ファイルフォーマットの設定

(1) データ保存先の設定

⚠ 注意

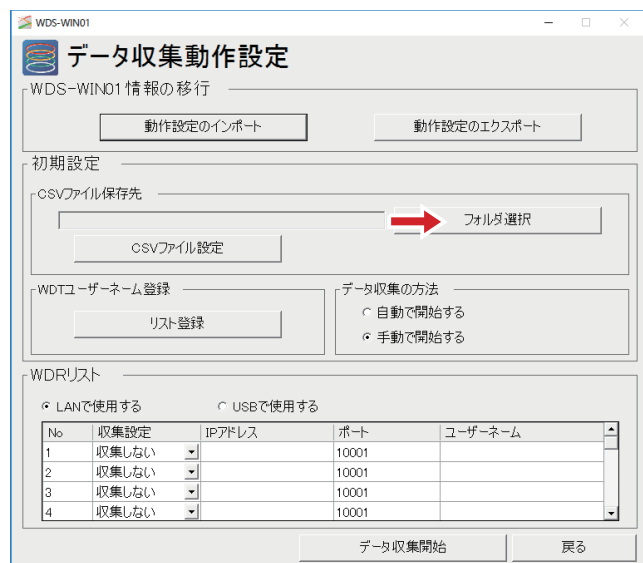


◆ SDカード、USBメモリなどの外部記憶装置やネットワークドライブへの収集データファイルの出力はできません。

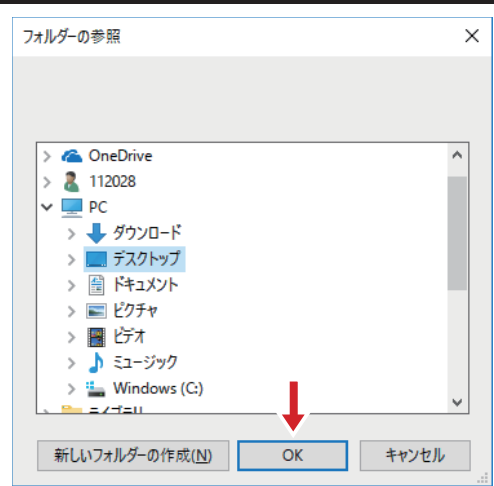
1. ■ トップメニューの [データ収集] をクリックします。



2. ■ CSVデータの保存先を指定します。[初期設定]項目内の[フォルダ選択]をクリックします。



- 3.**
- 保存先フォルダを指定します。
 - 指定が完了すれば [OK] をクリックします。

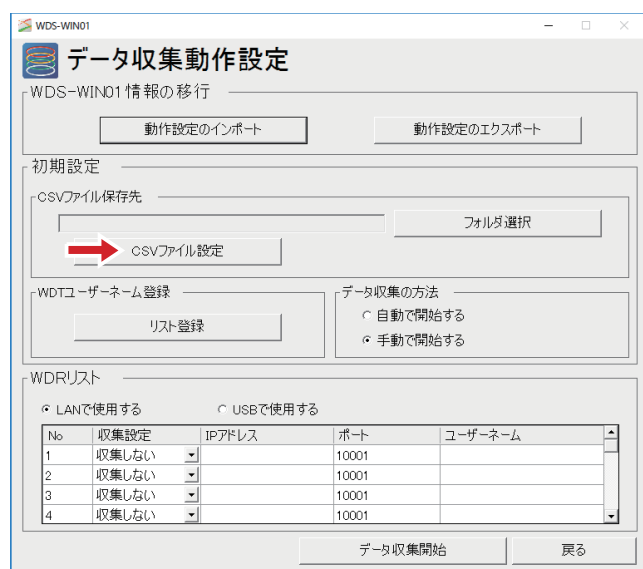


- 4.**
- 完了

—

(2) CSV ファイルフォーマットの設定

1. ■ [データ収集動作設定] 項目内の [CSV ファイル設定] をクリックします。



2. ■ 下記4つの [ファイル生成方法] から1つを選択します。

- ・ [共通]
- ・ [共通 (任意ファイル名)]
- ・ [WDR 毎]
- ・ [WDT 毎]

- 下記4つの [ファイル分割方法] から1つを選択します。

- ・ [日付分割]
- ・ [時間分割]
- ・ [ファイルサイズ分割]
- ・ [分割しない]

- [分割時の信号灯情報を出力する] の有効 / 無効を選択します。

で有効、 で無効です。

※ 設定内容の詳細は
 ➡ 『7.2.1 初期設定 (CSV ファイル保存)』を参照。



3. ■ [CSV ファイルフォーマット] を作成します。

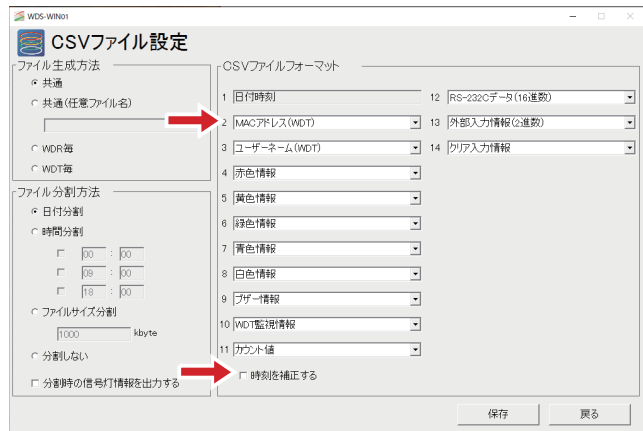
13 箇所のプルダウンメニューから CSV データに反映する項目を選択します。

※ 途中の項目を [設定なし] に設定することはできません。

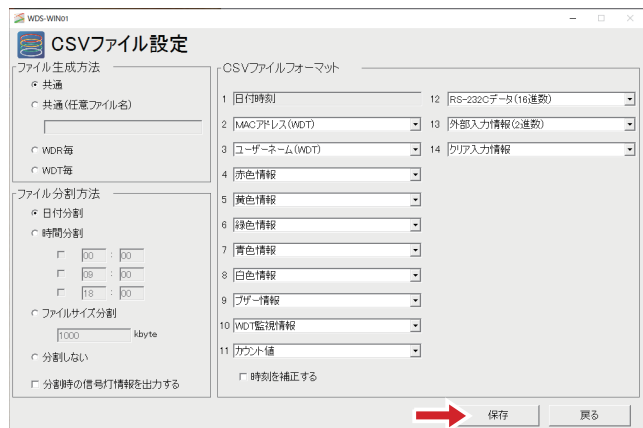
- [時刻補正をする] の有効 / 無効を選択します。

で有効、 で無効です。

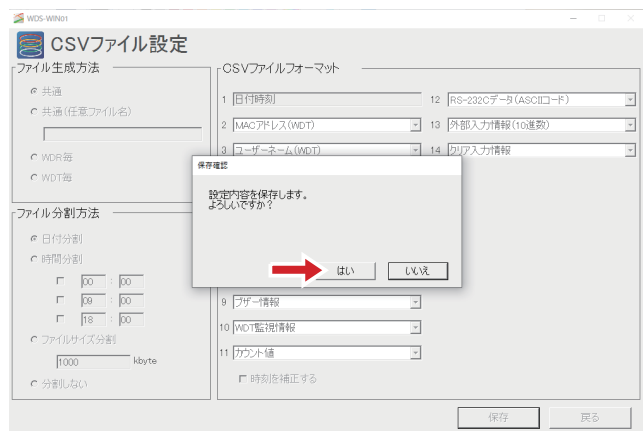
※ 設定内容の詳細は
 ➡ 『7.2.1 初期設定 (CSV ファイル保存)』を参照。



4. ■ 入力が完了すれば [保存] をクリックします。



5. ■ [はい] をクリックします。

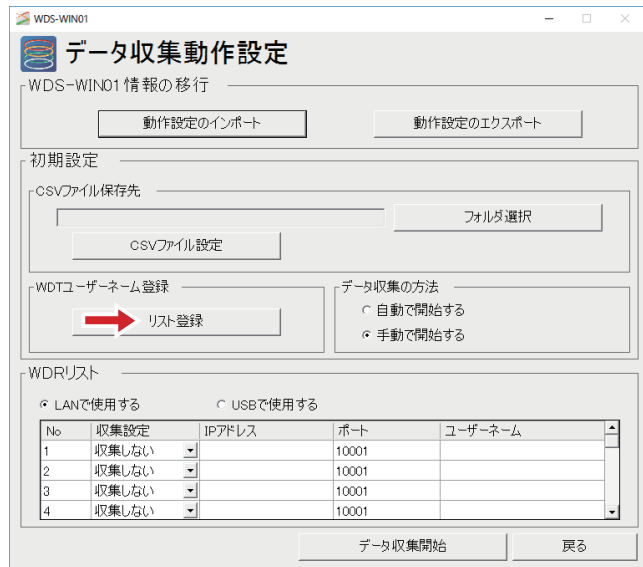


6. ■ 完了

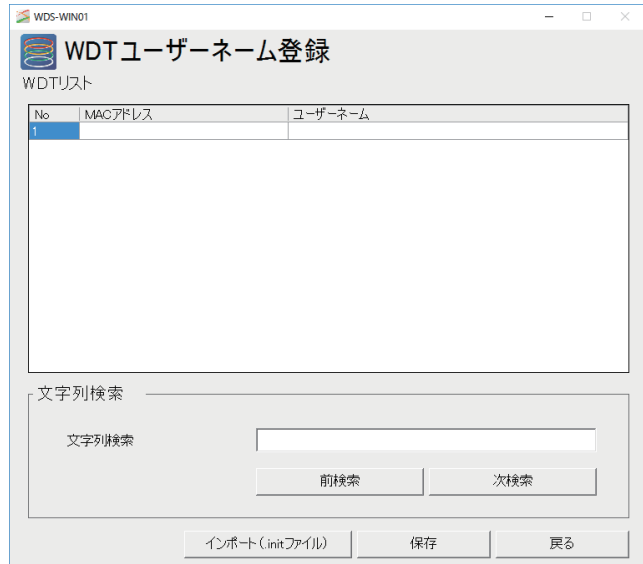
6.2.3 WDT ユーザーネーム登録

1. ■ [WDT ユーザーネーム登録]

項目内の [リスト登録] ボタンをクリックします。

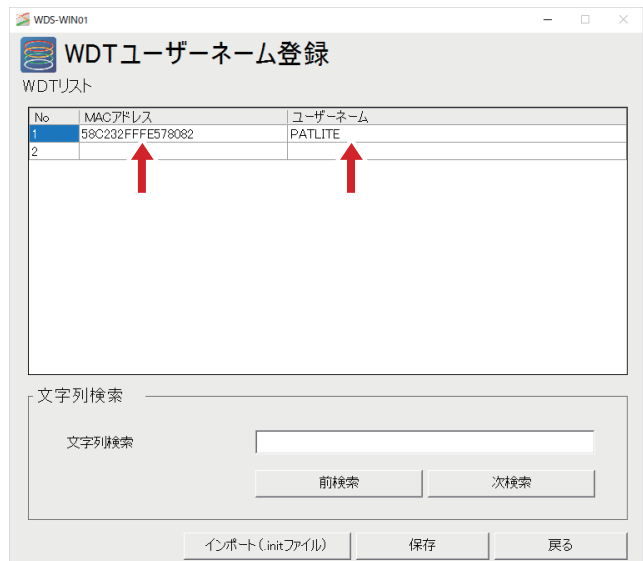


2. ■ [WDT ユーザーネーム登録] 画面が表示します。



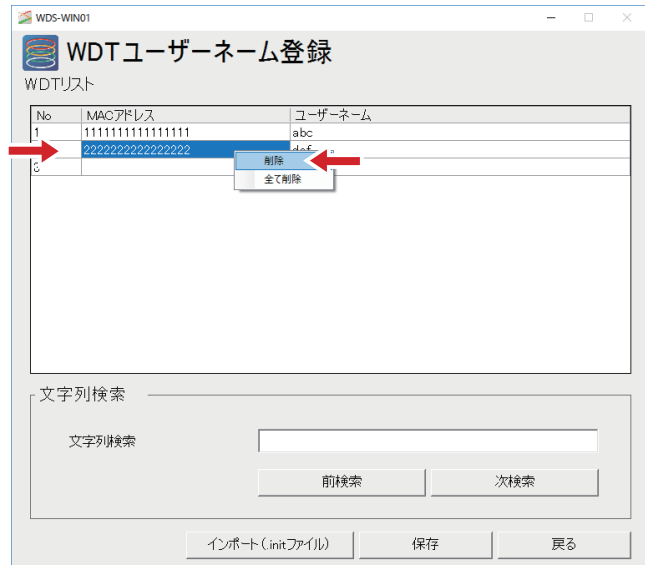
3. ■ 登録したいWDTの

- ・ Mac アドレス
 - ・ ユーザーネーム
- をキーボード入力します。

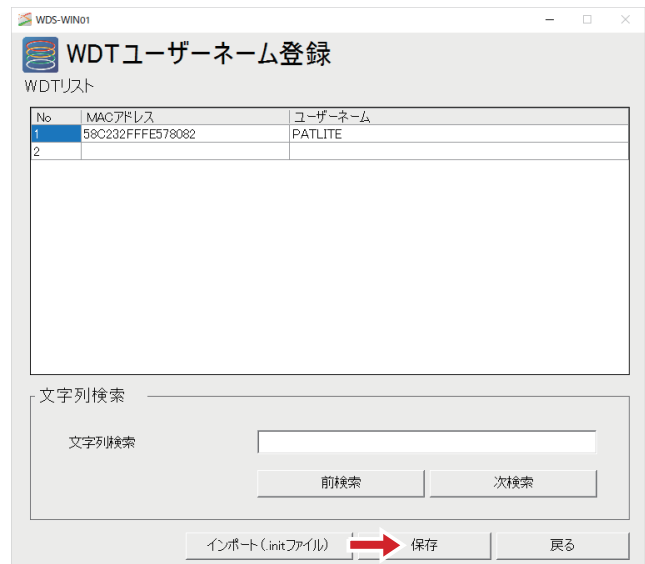


4. ■ 入力した内容を削除する場合は、削除したい行で[右クリック]→[削除]で削除します。

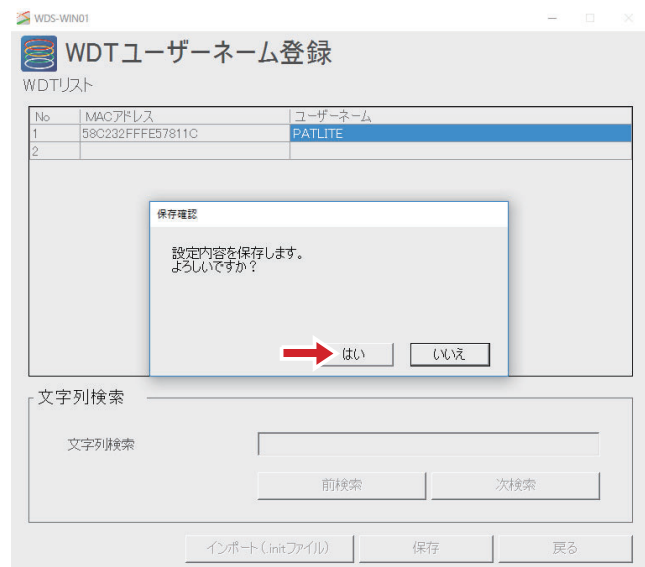
※ [全て削除] を選択した場合は、全ての行が削除されます。




5. ■ 入力が完了すれば [保存] をクリックします。



6. ■ [はい] をクリックします。



7. ■ [データ収集中 -WDT 情報] 画面はユーザーネーム登録した文字に変更されます。

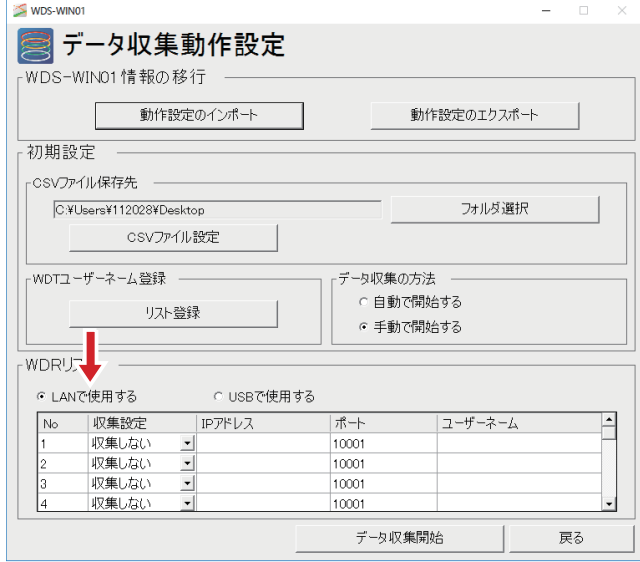


8. ■ [完了]

6.2.4 WDR の登録と収集開始

(1) LAN 接続でおこなう場合

1. ■ [WDR リスト] 項目内の [LAN で使用する] を選択します。



2. ■ [WDR リスト] に

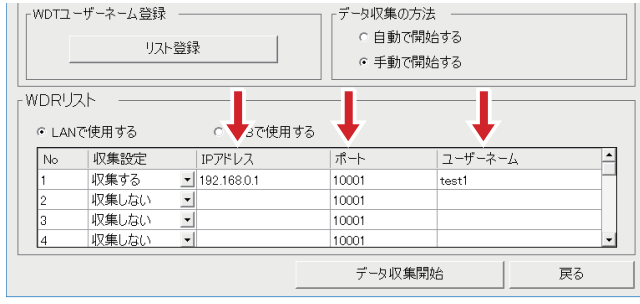
- ・ [IP アドレス]
- ・ [ユーザーネーム]

をキーボード入力します。

- ・ [ポート] は『6.1.1 (2)』で変更していない場合は「10001」から変更しないでください。

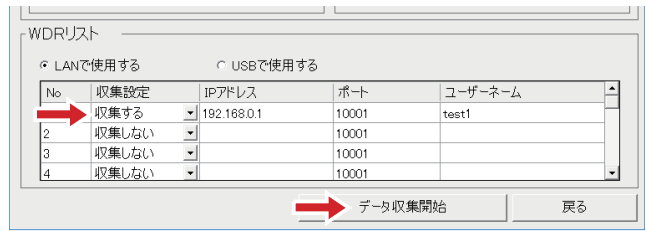
※ IP アドレスは「.」ピリオドを含めて入力してください。

※ 最大 20 台の WDR を登録することができます。



No	収集設定	IPアドレス	ポート	ユーザーネーム
1	収集する	192.168.0.1	10001	test1
2	収集しない		10001	
3	収集しない		10001	
4	収集しない		10001	

- 3.**
- [WDR リスト] より情報収集する WDR を選択します。
 - 収集する WDR を [収集設定] のプルダウンメニューより選択します。 [収集する] を選択してください。
 - [データ収集開始] ボタンをクリックします。



- 4.**
- [WDR 情報]* に [データ収集中] が表示され収集が開始します。

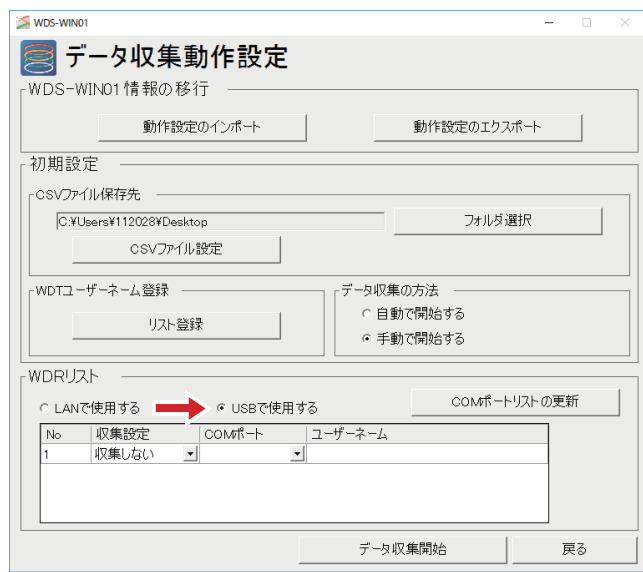
※ → 部



- 5.**
- 完了

(2) USB 接続でおこなう場合

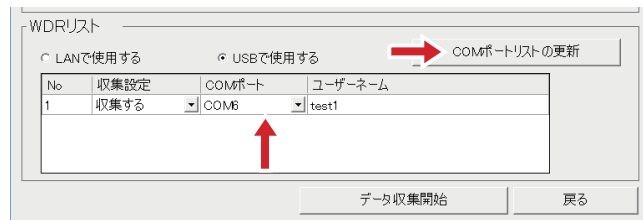
1. ■ [WDR リスト] 項目内の [USB で使用する] を選択します。



2. ■ [COM ポートリストの更新] をクリックします。

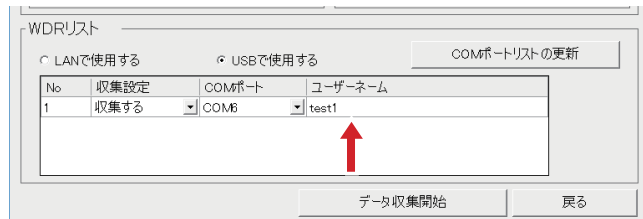
- COM ポート番号がプルダウンメニューに表示されます。

メニューから WDR の COM ポートを選択します。



- [WDR リスト] に [ユーザーネーム] をキーボード入力します。

※ 1 台の WDR を登録することができます。

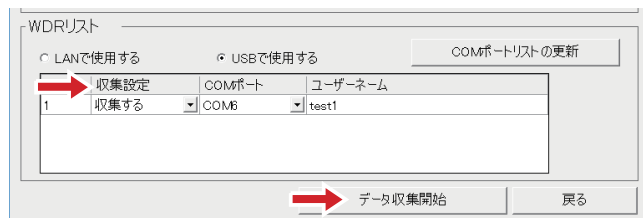


3. ■ [WDR リスト] より情報収集する WDR を選択します。

- 収集する WDR を [収集設定] のプルダウンメニューより選択します。

[収集する] を選択してください。

- [データ収集開始] ボタンをクリックします。



4. ■ [WDR 情報]* に [データ収集中] が表示され収集が開始します。

※ → 部



5. ■ 完了

6.2.5 データ保存先を確認する

1. ■ [データ収集中-WDR 情報] 画面の [CSV ファイル保存先] をクリックします。



2. ■ データ保存先フォルダをエクスプローラーで表示します。

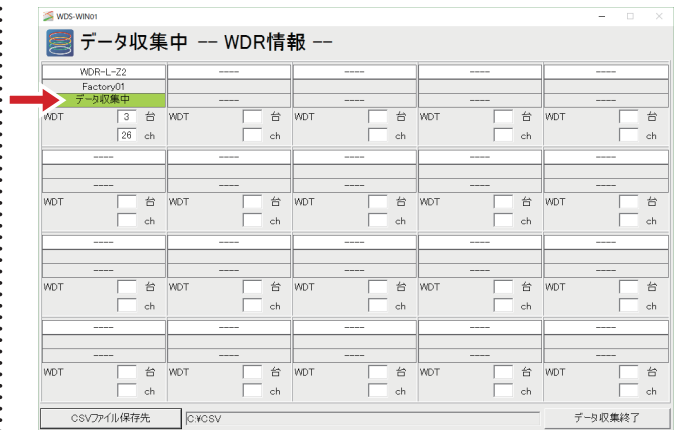
その中に収集データが保存されていることが確認できます。

3. ■ 完了

6.2.6 データ収集中の WDT の通信状態を確認する

1. ■ [データ収集中－WDR 情報] 画面の [WDR 情報]* をクリックします。

※ → 部



2. ■ [データ収集中-WDT 情報] 画面が表示されます。

※ 接続されている送信機が WDT-4LR-Z2 の場合でも、「WDT-5LR/6LR-Z2」と表示されます。



3. ■ 完了

6.2.7 データ収集を停止する

1. ■ [データ収集中-WDR 情報] 画面の「データ収集終了」をクリックします。

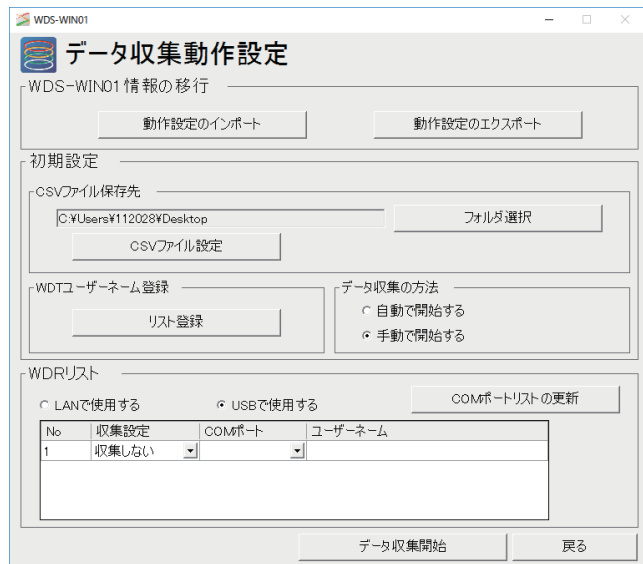


2. ■ [データ収集を終了します。よろしいですか?] という画面が表示されますので、[はい] をクリックします。

※ お客様自身でデータ収集を終了する手順については、次のページの注意をご参照ください。



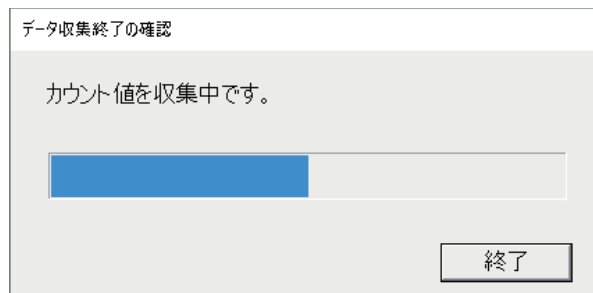
3. ■ [データ収集動作設定] 画面を表示し、データ収集を終了します。



4. ■ [完了]

 注意

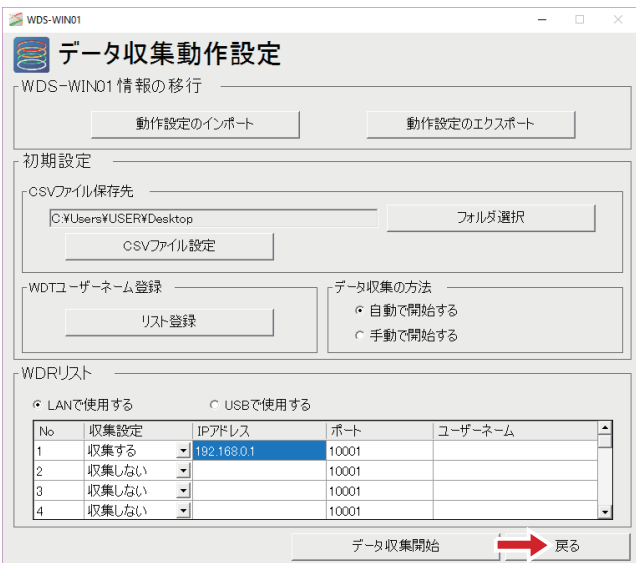
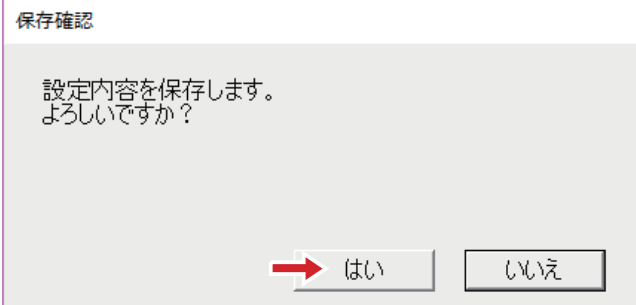
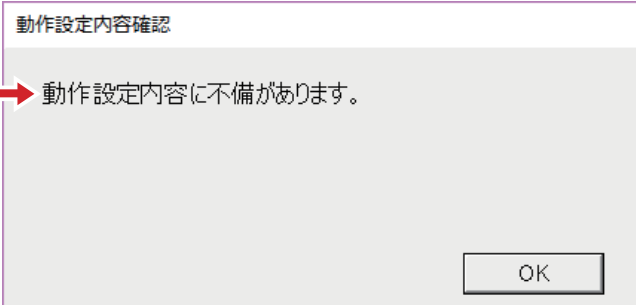
- ◆ [データ収集を終了します。よろしいですか?]という画面が表示された後、[はい]をクリックすると、自動で閉じる仕様となっています。しかし、WDTが複数台接続されているなど、データ収集を取得し終えるのに時間がかかる場合があります。その場合は、下記の画面が出ますので、お客様自身でデータ収集終了をおこなうことも可能です。ただし、この手順を使用すると、[終了]をクリックして以降のカウント値は出力されません。
 - ・ [カウント値を収集中です。] メッセージの [終了] をクリックします。



- ◆ データ収集開始してから、1分程度（無線通信状態により前後します）はデータ収集を停止しないでください。その間に入力されたカウント値がCSVに反映されない場合があります。

6.2.8 設定を保存して戻る

(1) WDR が正常に接続されている場

<p>1. ■ WDR を接続する。</p>	
<p>2. ■ [データ収集動作設定] を表示する。</p> <p>■ 各種設定をおこなう。</p> <p>■ [戻る] をクリックする。</p>	
<p>3. ■ [保存確認] 画面の [はい] をクリックする。</p>	
<p>4. ※ [動作設定内容に不備があります] と表示された場合は以下の①～④のいずれか状態である可能性があります。</p>	
<p>① CSV ファイル保存先が設定されていない。</p> <p>→ファイル保存先を設定してください。</p> <p>☞ 『6.2.2 (1) データ保存先の設定』 参照。</p>	

② WDR が正常に接続されていない。

→ WDR を正常に接続してください。

→ WDR が正常に接続できない場合は、

☞ 『6.2.8 (2) WDR が正常に接続されていない場合』を参照してください。

③ WDR が正常に LAN 接続されているが設定に不備が残っている。

→ 次の操作をおこなってください。

◆ [WDR リスト] の [USB で使用する] を選択する。

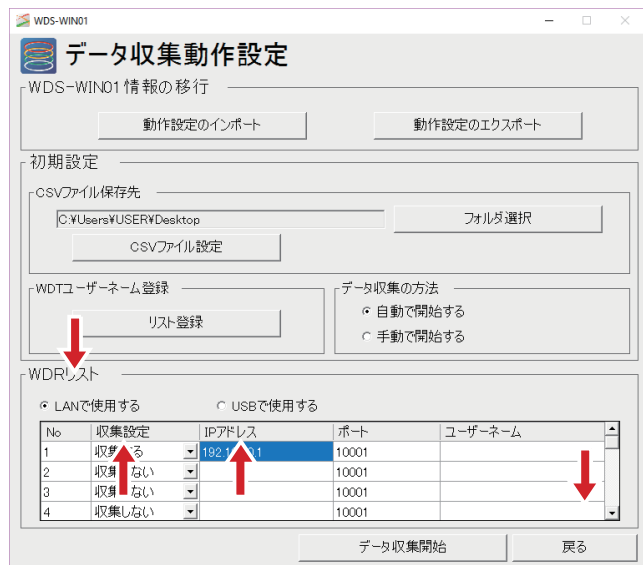
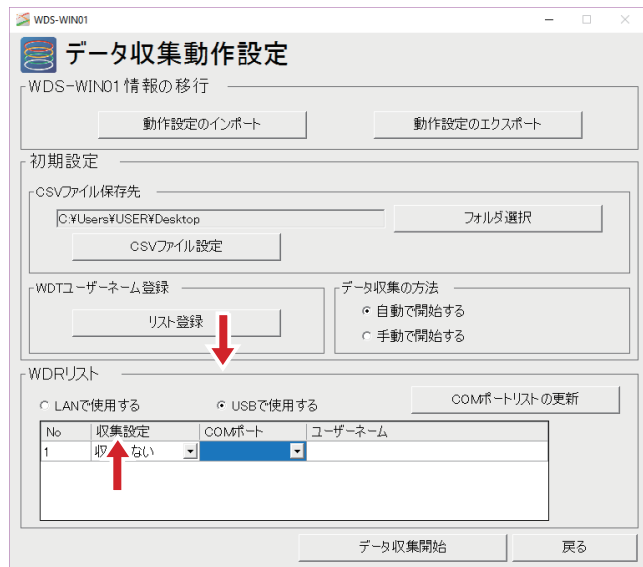
◆ [収集設定] を [収集しない] に切り換える。

◆ [WDR リスト] の [LAN で使用する] を選択する。

◆ リスト内のいずれかの No. に WDR の IP アドレスを入力する。

◆ [収集設定] を [収集する] に切り換える。

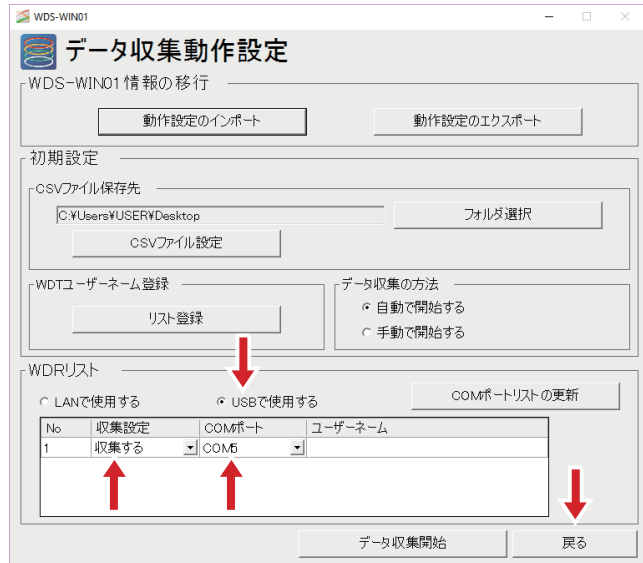
◆ [戻る] をクリックする。



④ WDR が正常に USB 接続されているが設定に不備が残っている。

→次の操作をおこなってください。

- ◆ [WDR リスト] の [USB で使用する] を選択する。
- ◆ [COM ポートリストの更新] をクリックします。
- ◆ [COM ポート] を選択します。
- ◆ [収集設定] を [収集する] に切り換える。
- ◆ [戻る] をクリックする。



5. ■ [完了]

(2) WDR が正常に接続されていない場合

<p>1.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [データ収集動作設定] を表示する。 ■ [WDR リスト] の [USB で使用する] を選択する。 ■ [収集設定] を [収集しない] に切り換える。 	<p>データ収集動作設定</p> <p>WDR リスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>収集設定</th> <th>COMポート</th> <th>ユーザーネーム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>収集しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	収集設定	COMポート	ユーザーネーム	1	収集しない																			
No	収集設定	COMポート	ユーザーネーム																							
1	収集しない																									
<p>2.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [WDR リスト] の [LAN で使用する] を選択する。 ■ リスト内のいずれかの No. に任意の IP アドレスを入力する。 ■ [収集設定] を [収集する] に切り換える。 ■ [戻る] をクリックする。 	<p>データ収集動作設定</p> <p>WDR リスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>収集設定</th> <th>IPアドレス</th> <th>ポート</th> <th>ユーザーネーム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>収集する</td> <td>192.168.0.1</td> <td>10001</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>収集しない</td> <td></td> <td>10001</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>収集しない</td> <td></td> <td>10001</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>収集しない</td> <td></td> <td>10001</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	収集設定	IPアドレス	ポート	ユーザーネーム	1	収集する	192.168.0.1	10001		2	収集しない		10001		3	収集しない		10001		4	収集しない		10001	
No	収集設定	IPアドレス	ポート	ユーザーネーム																						
1	収集する	192.168.0.1	10001																							
2	収集しない		10001																							
3	収集しない		10001																							
4	収集しない		10001																							
<p>3.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [保存確認] 画面の [はい] をクリックする。 	<p>保存確認</p> <p>設定内容を保存します。 よろしいですか?</p> <p>はい いいえ</p>																									
<p>4.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 完了 	<p>—</p>																									

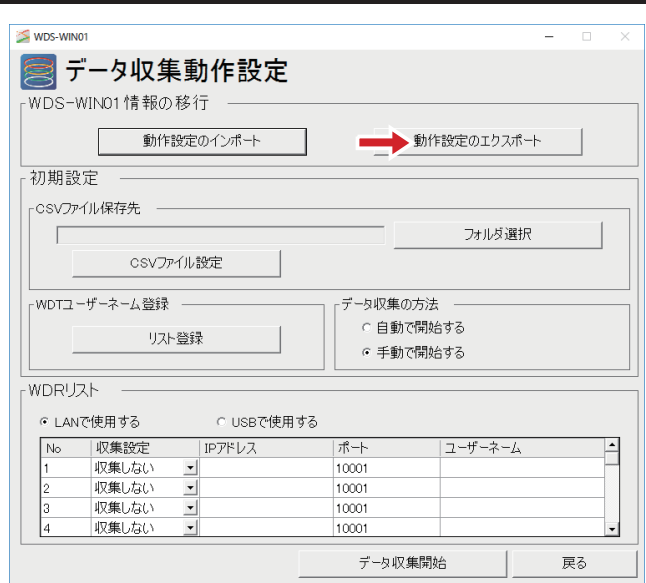
(3) 設定を保存せずに戻る場合

<p>1.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [データ収集動作設定] を表示する。 ■ [戻る] をクリックする。 	<p>WDS-WIN01 データ収集動作設定</p> <p>WDS-WIN01 情報の移行</p> <p>動作設定のインポート 動作設定のエクスポート</p> <p>初期設定</p> <p>CSVファイル保存先 C:\Users\USER\ Desktop フォルダ選択</p> <p>CSVファイル設定</p> <p>WDRユーザー登録 データ収集の方法</p> <p>リスト登録 <input checked="" type="radio"/> 自動で開始する <input type="radio"/> 手動で開始する</p> <p>WDRリスト</p> <p><input checked="" type="radio"/> LANで使用する <input type="radio"/> USBで使用する</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>収集設定</th> <th>IPアドレス</th> <th>ポート</th> <th>ユーザーネーム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>収集する</td> <td>192.168.0.1</td> <td>10001</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>収集しない</td> <td></td> <td>10001</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>収集しない</td> <td></td> <td>10001</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>収集しない</td> <td></td> <td>10001</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>データ収集開始 戻る</p>	No	収集設定	IPアドレス	ポート	ユーザーネーム	1	収集する	192.168.0.1	10001		2	収集しない		10001		3	収集しない		10001		4	収集しない		10001	
No	収集設定	IPアドレス	ポート	ユーザーネーム																						
1	収集する	192.168.0.1	10001																							
2	収集しない		10001																							
3	収集しない		10001																							
4	収集しない		10001																							
<p>2.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [保存確認] 画面の [いいえ] をクリック 	<p>保存確認</p> <p>設定内容を保存します。 よろしいですか？</p> <p>はい いいえ</p>																									
<p>3.</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 完了 	<p>—</p>																									

6.3 設定情報のエクスポートとインポート

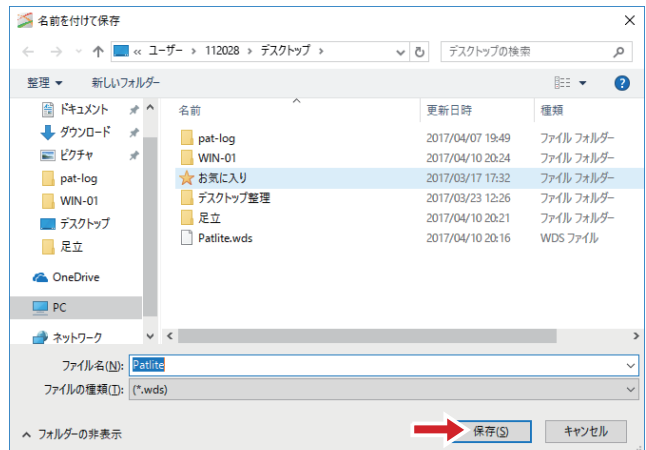
6.3.1 設定情報のエクスポート

- [データ収集動作設定] を表示します。
 - [WDS-WIN01 情報の移行] 項目内の [動作設定のエクスポート] をクリックします。



- [設定情報の保存先フォルダ] を設定します。
 - ファイル保存画面が表示します。

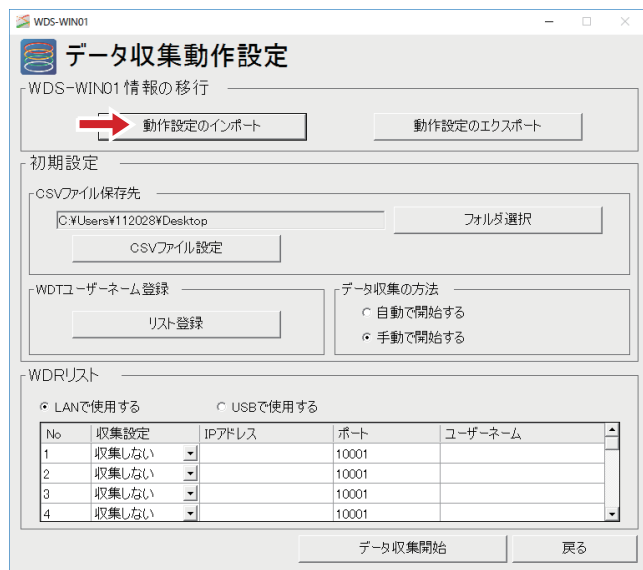
エクスポートする設定情報のファイル名を入力し [保存] をクリックします。



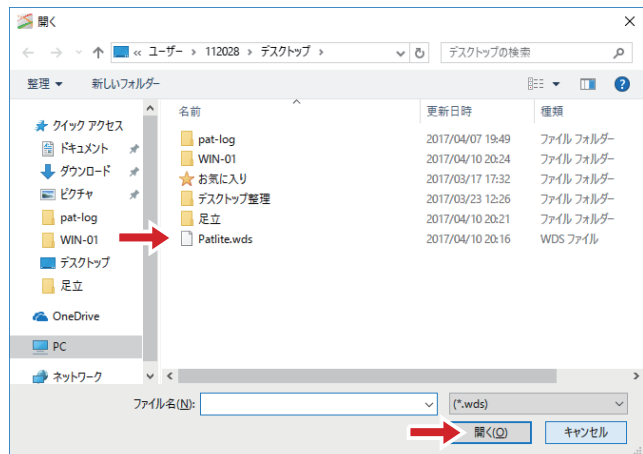
- 完了

6.3.2 設定情報のインポート

1. ■ [データ収集動作設定] を表示します。
- [WDS-WIN01 情報の移行] 項目内の [動作設定のインポート] をクリックします。



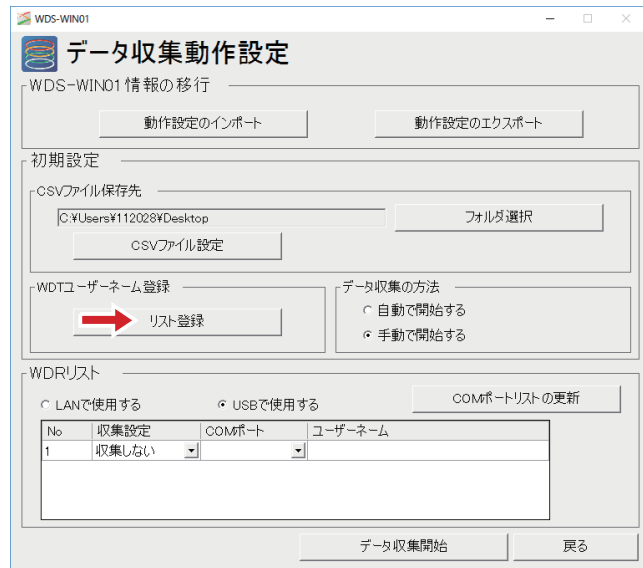
2. ■ ファイル選択画面が表示します。
- インポートする設定情報ファイル (.wds) を選択します。
- [開く] ボタンをクリックします。



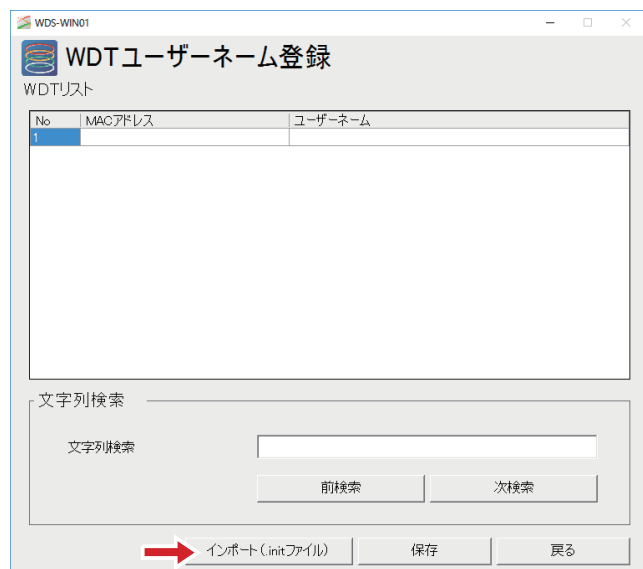
3. ■ 完了

6.4 WDS-AUTO2 用 WDT ユーザー名の取り込み

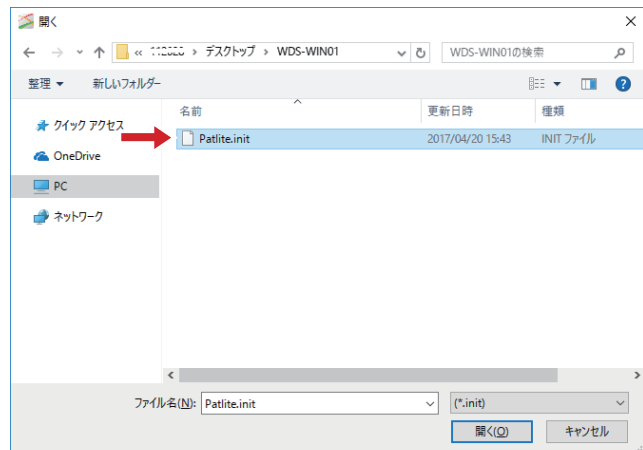
- [データ収集動作設定] を表示します。
 - [WDT ユーザー名登録] 項目内の [リスト登録] をクリックします。



- [WDT ユーザー名登録] 画面の [インポート (.init ファイル)] をクリックします。



- ファイル選択画面が表示します。インポートする WDS-AUTO2 用 WDT ユーザー名ファイル (.init ファイル) を選択して [開く] をクリックします。



- 完了

 注意



- ◆ 既にユーザー名が登録されている場合は追加でインポートされます。
- ◆ 登録最大数を超える場合はエラーメッセージが表示され、インポートできません。
- ◆ .init ファイル内に重複した Mac アドレスが登録されている場合インポートできません。

6.5 WDT、WDR の設定項目確認

(1) WDT の設定項目確認

1. ■ [WDT/WDR 設定] 画面を表示させます。表示方法は以下を参照してください。

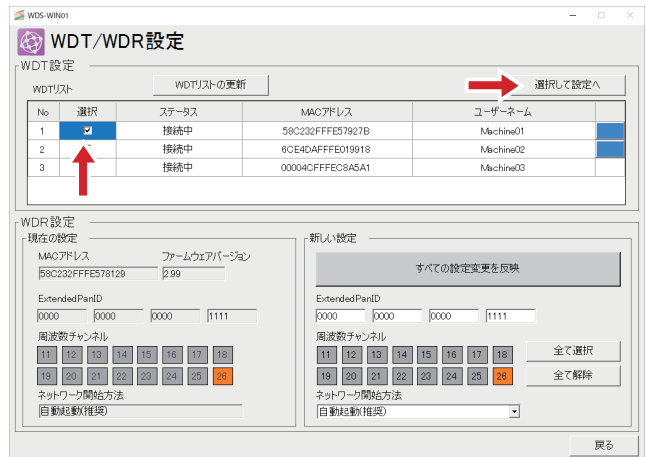
- ・ LAN 接続の場合 ➡ 『6.1.2 (1) 1～3』
- ・ USB 接続の場合 ➡ 『6.1.2 (2) 1～3』



2. ■ [WDT 設定] 項目内の [WDT リスト] に現在接続している WDT が表示されます。

- ※ WDT リストの表示には 10 秒程度時間が掛かる場合があります。

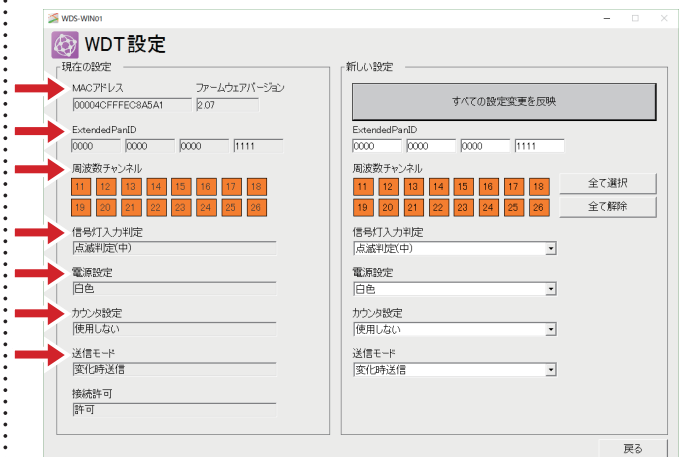
- 設定する WDT のチェックボックスを選択し、[選択して設定へ] をクリックします。



3. 【WDT の場合】

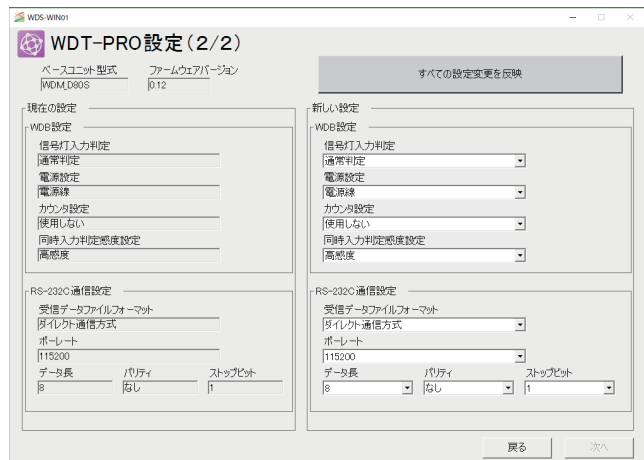
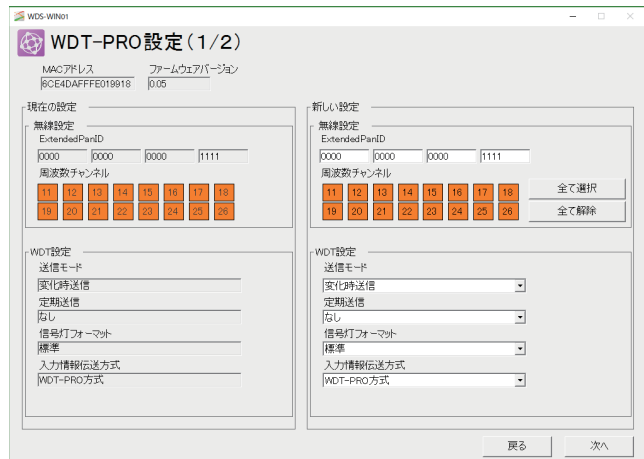
- 選択した WDT の現在の設定状態が表示されます。対象の確認項目は次の通りです。

- ・ [MAC アドレス]
- ・ [ExtendedPanID]
- ・ [周波数チャンネル]
- ・ [信号灯入力判定]
- ・ [電源設定]
- ・ [カウンタ設定]
- ・ [送信モード]



【WDT-PRO の場合】

- 選択した WDT の現在の設定状態が表示されます。対象の確認項目は次の通りです。
 - ・ [ExtendedPanID]
 - ・ [周波数チャンネル]
 - ・ [信号灯入力判定]
 - ・ [電源設定]
 - ・ [カウンタ設定]
 - ・ [送信モード]
 - ・ [入力情報伝達方式]
 - ・ [信号灯フォーマット]
 - ・ [定期送信]
 - ・ [同時入力判定感度設定]
 - ・ [受信データファイルフォーマット]
 - ・ [ボーレート]
 - ・ [データ長]
 - ・ [パリティ]
 - ・ [ストップビット]
- をそれぞれ設定、選択します。



4. ■ 完了

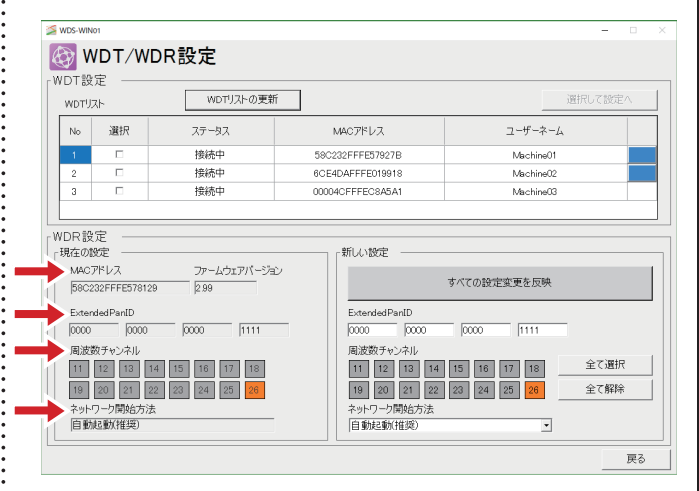
(2) WDR の設定項目確認

1. ■ [WDT/WDR 設定] 画面を表示させます。表示方法は以下を参照してください。

- ・ LAN 接続の場合 ➡ 『6.1.2 (1) 1～3』
- ・ USB 接続の場合 ➡ 『6.1.2 (2) 1～3』



2. ■ WDR の現在の設定状態が表示されます。対象の確認項目は次の通りです。
- ・ [MAC アドレス]
 - ・ [ExtendedPanID]
 - ・ [周波数チャンネル]
 - ・ [ネットワーク開始方法]



3. ■ 完了

6.6 WDT 呼び出し表示の確認

WDT-4LR/5LR/6LR-Z2 型および、WDT-6LR-Z2-PRO のみ

(1) 「WDT/WDR 設定」画面での確認

1. ■ [WDT/WDR 設定] 画面を表示させます。表示方法は以下を参照してください。
 - ・ LAN 接続の場合 ➡『6.1.2 (1) 1～3』
 - ・ USB 接続の場合 ➡『6.1.2 (2) 1～3』
- ※ WDT リストの表示には 10 秒程度時間が掛かる場合があります。



2. ■ [WDT 設定] 項目内の [WDT リスト] の右端欄に WD ごとに [青色ボタン] が表示されています。

(WDT-5E/6M-Z2 型の場合は表示されません。)
- [青色ボタン] をクリックするとこの WDT のインジケータが青色で約 10 秒間点滅表示します。



3. ■ 完了

(2) 「データ収集中」画面での確認

1. ■ 「データ収集中 -WDR 情報」画面を表示させます。表示方法は以下を参照してください。

- ・ LAN 接続の場合 ➡ 『6.2.4 (1) 1～5』
- ・ USB 接続の場合 ➡ 『6.2.4 (2) 1～5』



2. ■ [WDR 情報]* 表示部分をクリックし、「データ収集中 -WDT 情報」画面を表示させます。

※ ➡ 部



3. ■ [データ収集中 -WDT 情報] 画面の [WDT 情報] の右端欄に WD ごとに [青色ボタン] が表示されています。

(WDT-5E/6M-Z2 型の場合は表示されません。)*

■ [青色ボタン] をクリックするとこのWDTのインジケータが青色で約10秒間点滅表示します。

※ 接続されている送信機が WDT-4LR-Z2 の場合でも、「WDT-5LR/6LR-Z2」と表示されます。



4. ■ 完了

6.7 カウント値のクリア

1. ■ 「データ収集中 -WDR 情報」画面を表示させます。表示方法は以下を参照してください。

- ・ LAN 接続の場合 →『6.2.4 (1) 1～5』
- ・ USB 接続の場合 →『6.2.4 (2) 1～5』



2. ■ [WDR 情報]* 表示部分をクリックし、「データ収集中 -WDT 情報」画面を表示させます。

※ → 部



3. ■ [データ収集中 -WDT 情報] 画面の [WDT 情報] の右端欄に WD ごとに黄色の [c ボタン] が表示されています。

※ [c ボタン] が表示されない場合については、次頁おしらせを参照してください。

※ 1 接続されている送信機が WDT-4LR-Z2 の場合でも、「WDT-5LR/6LR-Z2」と表示されます。



4. ■ 黄色の [c ボタン] をクリックすると、[WDT へのカウントアップ] 入力が停止していることを確認してから、「カウントクリア」ボタンを押してください。」との画面が表示されます。



5. ■ [カウントクリア] ボタンをクリックすると、[カウント値のクリア] が完了しました。」との画面が表示されます。
この一連の操作を実行することで、蓄積されたカウント値はリセットされます。



6. ■ 完了

お知らせ

- ◆ [データ収集中 -WDT 情報] 画面の [WDT 情報] の右端欄に WD ごとに黄色の [c ボタン] が表示されない場合は、下記の原因が考えられます。
 - ・ WDT-4LR-Z2 / WDT-5LR-Z2 / WDT-6LR-Z2 が ver3.06 未満である場合。
 - ・ [カウンタ設定] を [使用しない] に選択している場合。

7 設定項目一覧

7.1 WDT/WDR 設定

7.1.1 WDT 設定項目

(1) 設定項目一覧

- 設定項目は次の通りです。

■ WDT シリーズの場合

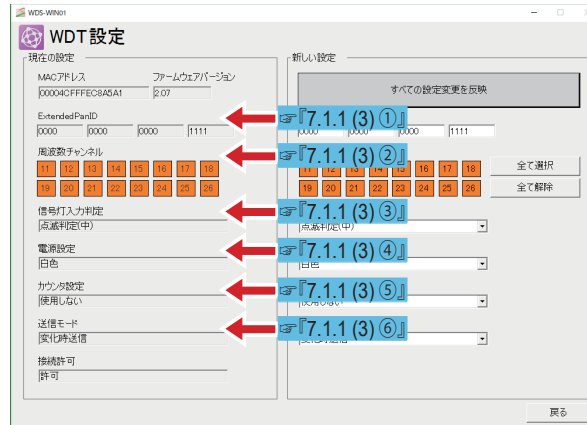
設定項目	設定項目	備考
無線関係	ExtendedPanID	☞ 『7.1.1 (3) ①』
	周波数チャンネル	☞ 『7.1.1 (3) ②』
動作関係	信号灯入力判定	☞ 『7.1.1 (3) ③』
	電源設定	☞ 『7.1.1 (3) ④』
	カウンタ設定	☞ 『7.1.1 (3) ⑤』
	送信モード	☞ 『7.1.1 (3) ⑥』

■ WDT-PRO シリーズの場合

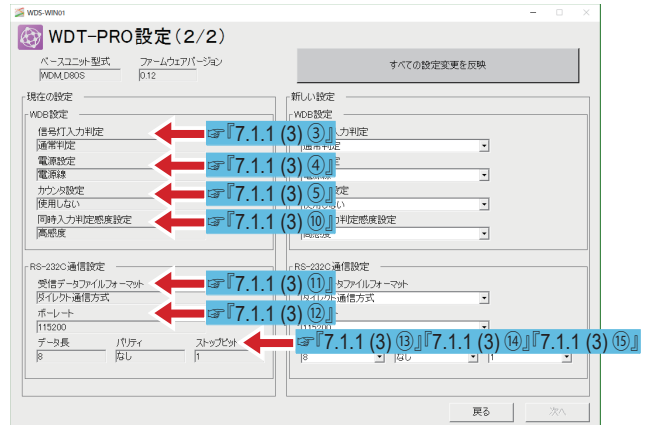
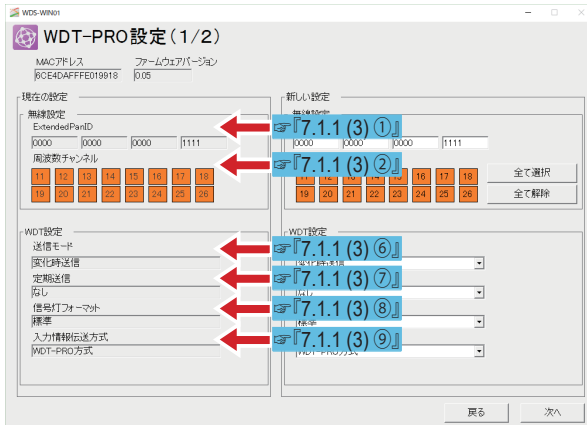
設定項目	設定項目	備考
無線関係	ExtendedPanID	☞ 『7.1.1 (3) ①』
	周波数チャンネル	☞ 『7.1.1 (3) ②』
動作関係	信号灯入力判定	☞ 『7.1.1 (3) ③』
	電源設定	☞ 『7.1.1 (3) ④』
	カウンタ設定	☞ 『7.1.1 (3) ⑤』
	送信モード	☞ 『7.1.1 (3) ⑥』
	定期送信	☞ 『7.1.1 (3) ⑦』
	信号灯フォーマット	☞ 『7.1.1 (3) ⑧』
	入力情報伝送方式	☞ 『7.1.1 (3) ⑨』
	同時入力判定感度設定	☞ 『7.1.1 (3) ⑩』
RS-232C 通信関係	受信データファイルフォーマット	☞ 『7.1.1 (3) ⑪』
	ボーレート	☞ 『7.1.1 (3) ⑫』
	データ長	☞ 『7.1.1 (3) ⑬』
	パリティ	☞ 『7.1.1 (3) ⑭』
	ストップビット	☞ 『7.1.1 (3) ⑮』

(2) 画面レイアウト説明

■ WDT




■ WDT-PRO



(3) 設定項目説明


① ExtendedPanID

説明
WDR とグルーピングするための ID を入力します。
設定方法
半角英数字 (0 ~ F) 入力
設定値
「0000 0000 0000 0000」 ~ 「FFFF FFFF FFFF FFFE」

⚠ 注意	
	◆ 「0000 0000 0000 0000」 に設定した場合は、任意の WDR とグルーピングします。運用時は、必ず「0000 0000 0000 0000」以外を設定してください。

② 周波数チャンネル

説明
WD システムで使用する無線周波数帯域を選択します。
設定方法
チェックボックス選択 (複数選択可能)
設定値
CH11 ・ CH12 ・ CH13 ・ CH14 ・ CH15 ・ CH16 ・ CH17 ・ CH18 ・ CH19 ・ CH20 ・ CH21 ・ CH22 ・ CH23 ・ CH24 ・ CH25 ・ CH26

⚠ 注意	
	◆ 必ず 1 種類選択してください。 ◆ WDR で設定した CH 値を必ず含めて選択してください。

③ 信号灯入力判定

説明
信号灯の入力状態の判定方法を選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
<p>通常判定・点滅判定（短）・点滅判定（中）・点滅判定（長） ※ 点滅判定は一定期間内に状態変化が2回発生した場合に「点滅」と判定します。 この一定期間を「SS秒」と呼びます。 点滅判定（短）：「SS秒」= 0.7秒 点滅判定（中）：「SS秒」= 1.5秒 点滅判定（長）：「SS秒」= 2.5秒 詳細は『[WDT- □ LR-Z2/WDR-L(E)-Z2-PRO(-L) 総合取扱説明書] 9.1.2 信号灯入力に関する機能』を参照。</p>

④ 電源設定

説明
電源供給に利用する信号線を選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
電源線・赤色・黄色・緑色・青色・白色


おしらせ

- ◆ 「電源設定」はWDTの型式に応じて選択方法が異なります。
 - ・ WDT-4LR-Z2 / WDT-5LR-Z2 / WDT-6LR-Z2 の場合：「電源線」を選択。
 - ・ WDT-5E-Z2 / WDT-6M-Z2 の場合：電源を印加している「赤色～白色」のいずれかを選択。

⑤ カウンタ設定

説明
簡易カウンタ機能に利用する信号線を選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
使用しない・赤色・黄色・緑色・青色・白色・ブザー

おしらせ

- ◆ 上記設定値は WDT-4LR-Z2/WDT-5LR-Z2/WDT-6LR-Z2(ver3.06 以上) の場合です。WDT-5E-Z2/WDT-6M-Z2 の場合はブザーは設定できません。
- ◆ WDT-4LR-Z2/WDT-5LR-Z2/WDT-6LR-Z2 の設定スイッチ No.2 を ON にしている場合、設定値は [設定スイッチ (青色)] になります。
詳細は  『[WDT- □ LR-Z2/WDR-L(E)-Z2-PRO(-L) 総合取扱説明書] 9.1.1 無線データ送信に関する機能』を参照。
- ◆ WDT 設定の [カウンタ設定] を [使用しない] に選択しても、WDT 内部に蓄積されたカウント値はクリアされません。この場合、下記のいずれかの方法を実施してください。その後、[カウンタ設定] を [使用しない] に変更してください。
 - ① [データ収集中 -WDT 情報] 画面の [WDT 情報] の右端欄に表示される WD ごとの黄色の [c ボタン] をクリックする。
 - ② WDT 本体の電源を OFF にする。

⑥ 送信モード

説明
信号灯状態の送信動作の種類を選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
変化時送信・応答送信

 注意

- ◆ 本製品でデータ収集をおこなう場合は、WDT の送信モードを「変化時送信モード」でご使用ください。

⑦ 定期送信

説明
一定時間ごとに、出力する情報を選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
なし・ユニット情報・入力情報 / 信号灯情報 詳細は☞『WD PRO シリーズ (WDB-D80S-PRO,WDT-6LR-Z2-PRO) 総合取扱説明書 8.4.2 情報送信機能』を参照。

⑧ 信号灯フォーマット

説明
信号灯情報のフォーマットを選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
標準・拡張

※「WDT-PRO 方式」を選択している場合は、設定は無効です。

⑨ 入力情報伝送方式

説明
入力情報のホストへの伝達方式を選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
WDT-PRO 方式・WDT-LR 方式 詳細は☞『WD PRO シリーズ (WDB-D80S-PRO,WDT-6LR-Z2-PRO) 総合取扱説明書 8.4.2 情報送信機能』を参照。

⑩ 同時入力判定感度設定

説明
入力情報の同時入力時の判定感度を選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
高感度・中感度・低感度 詳細は☞『WD PRO シリーズ (WDB-D80S-PRO,WDT-6LR-Z2-PRO) 総合取扱説明書 8.2.3 信号 灯制御線、外部入力線同時入力判定機能』を参照。

⑪ 受信データファイルフォーマット

説明
受信した RS-232C データのファイルフォーマットを選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
ダイレクト通信方式・バーコードリーダー（デンソーウェーブ用）通信方式・バーコードリーダー （汎用）通信方式 詳細は☞『WD PRO シリーズ (WDB-D80S-PRO,WDT-6LR-Z2-PRO) 総合取扱説明書 8.3.2 デー タ受信機能』を参照。

⑫ ボーレート

説明
RS-232C データ通信のボーレートを選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
4800・9600・19200・38400・57600・115200

⑬ データ長

説明
RS-232C データ通信のデータ長を選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
7・8

⑭ パリティ

説明
RS-232C データ通信のパリティを選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
なし・偶数・奇数

⑮ ストップビット

説明
RS-232C データ通信のストップビットを選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
1・2

7.1.2 WDR 設定項目 (パソコン接続設定)

(1) 設定項目一覧

- 設定項目は次の通りです。

設定項目	設定項目	備考
パソコン接続設定 (LAN 接続設定)	IP アドレス	☞ 『7.1.2 (3) ①』
	サブネットマスク	☞ 『7.1.2 (3) ②』
	デフォルトゲートウェイ	☞ 『7.1.2 (3) ③』
	ポート番号	☞ 『7.1.2 (3) ④』
パソコン接続設定 (USB 接続設定)	COM ポート	☞ 『7.1.2 (3) ⑤』

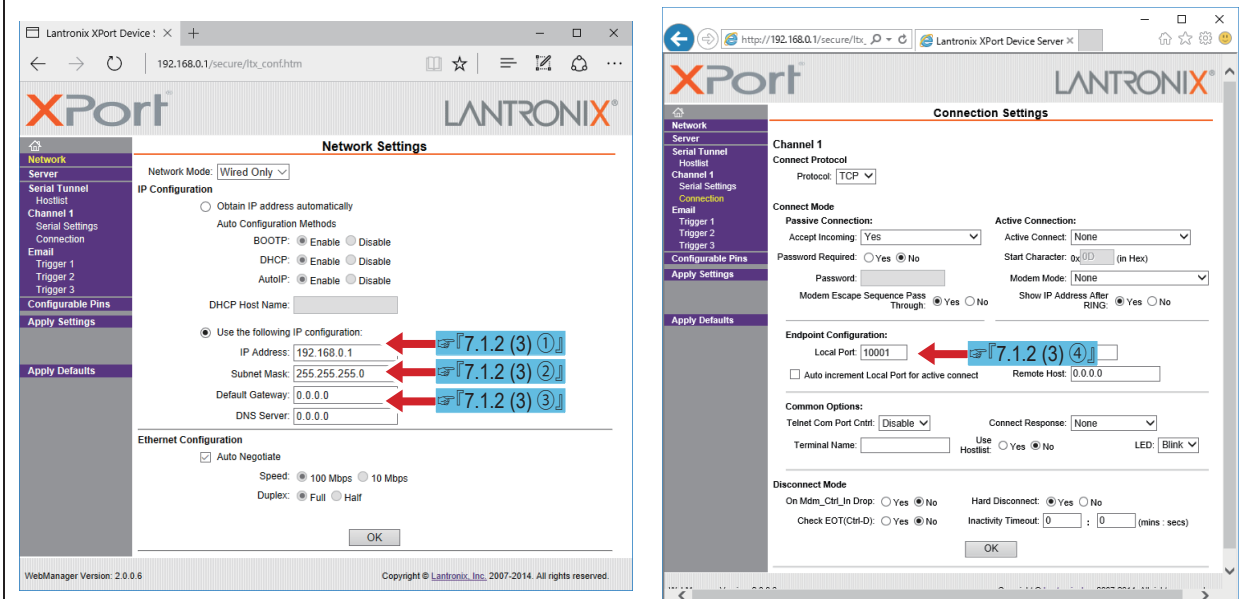
 注意

- ◆ LAN 接続設定関係の操作は、Web ブラウザからログインして、設定をおこなう必要があります。

(2) 画面レイアウト説明

- パソコン接続設定 (LAN 接続設定)

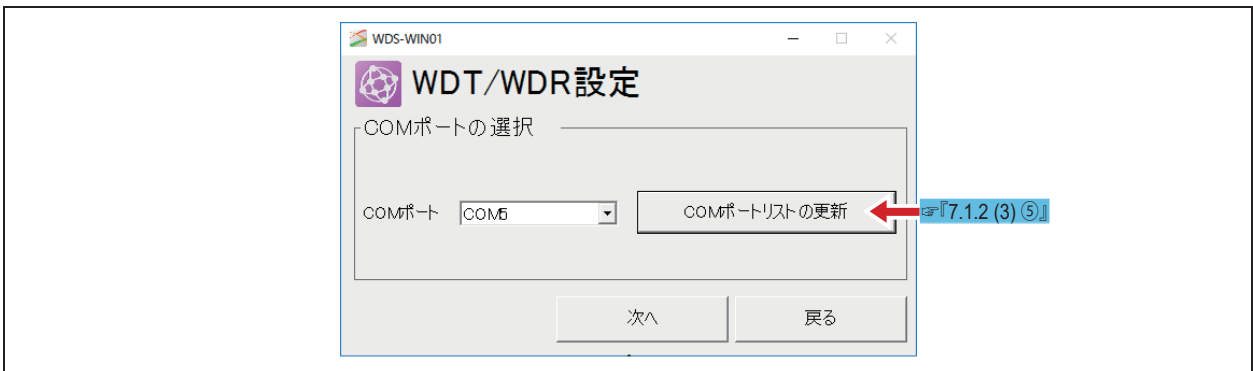
■ WDR-L-Z2/ WDR-LE-Z2



■ WD PRO 受信機



- パソコン接続設定 (USB 接続設定)



(3) 設定項目説明

⚠ 注意	
⚠	◆ システム管理者の指示にしたがって、正しい値を設定を選択してください。誤った値を設定した場合、正常に動作しません。

① IP アドレス

説明
データ収集をする WDR の IP アドレスを入力します (LAN で使用する場合)
設定方法
半角数字 (0 ~ 9)、ドット (.)
設定値
IPv4 の IP アドレス (xxx.xxx.xxx.xxx) xxx : 0 ~ 255

② サブネットマスク

説明
WDR のサブネットマスクを入力します。
設定方法
半角数字 (0 ~ 9)、ドット (.)
設定値
IPv4 のサブネットマスク (xxx.xxx.xxx.xxx) xxx : 0 ~ 255

③ デフォルトゲートウェイ

説明
WDR のデフォルトゲートウェイを入力します。
設定方法
半角数字 (0 ~ 9)、ドット (.)
設定値
デフォルトゲートウェイ (xxx.xxx.xxx.xxx) xxx : 0 ~ 255

④ ポート番号

説明
データ収集をする WDR のポートを入力します (LAN で使用する場合)
設定方法
半角数字 (0 ~ 9)
設定値
0 ~ 65535

⑤ COM ポート

説明
データ収集をする WDR のポートを選択します (USB で使用する場合)
設定方法
リスト選択
設定値
リストに表示された COM ポート番号

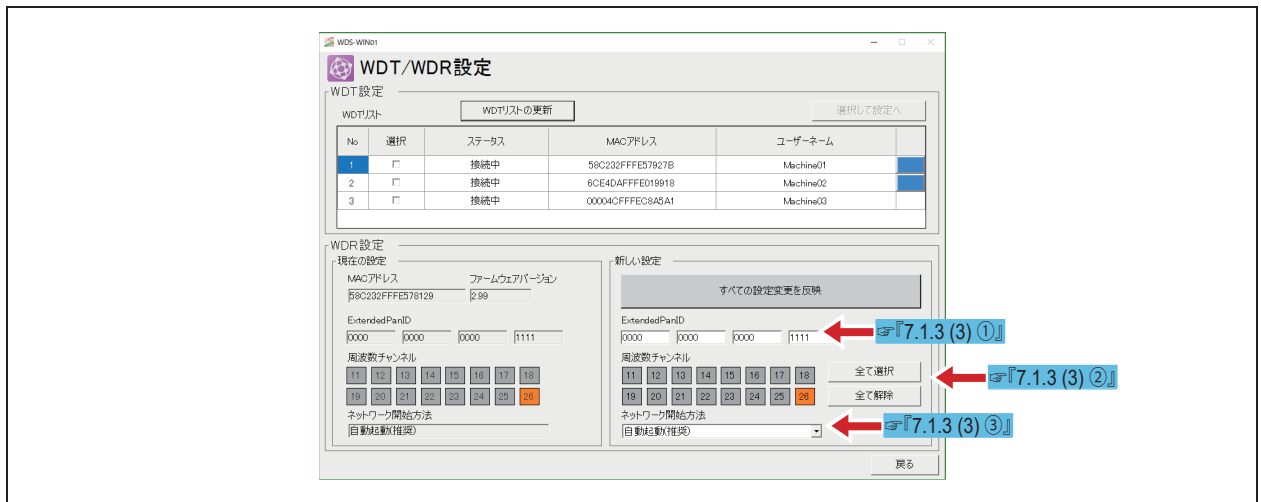
7.1.3 WDR 設定項目（無線設定）

(1) 設定項目一覧

- 設定項目は次の通りです。

設定項目	設定項目	備考
無線設定	ExtendedPanID	『7.1.3 (3) ①』
	周波数チャンネル	『7.1.3 (3) ②』
	ネットワーク開始方法	『7.1.3 (3) ③』

(2) 画面レイアウト説明



(3) 設定項目説明



① ExtendedPanID

説明
WDT とグルーピングするための ID を入力します。 詳細は『[WDT- □ LR-Z2/WDR-L(E)-Z2-PRO(-L) 総合取扱説明書] 6.1.3 グルーピングと ExtendedPanID について』を参照。
設定方法
半角英数字 (0 ~ 9,A ~ F) 入力
設定値
「0000 0000 0000 0000」 ~ 「FFFF FFFF FFFF FFFE」

⚠ 注意	
⚠	◆ 「0000 0000 0000 0000」 に設定した場合は、WDR の MAC アドレスと同値扱いになります。



② 周波数チャンネル

説明
WD システムで使用する無線周波数帯域を選択します。 詳細は『 [WDT- □ LR-Z2/WDR-L(E)-Z2-PRO(-L) 総合取扱説明書] 6.1.1WD 無線ネットワークについての説明』を参照。
設定方法
チェックボックス選択（複数選択可能）
設定値
CH11・CH12・CH13・CH14・CH15・CH16・CH17・CH18・CH19・CH20・CH21・CH22・CH23・CH24・CH25・CH26

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 必ず 1 種類選択してください。 ◆ WDT で設定した CH 値を必ず含めて選択してください。

③ ネットワーク開始方法

説明
WDR の電源投入時のネットワーク開始方法を選択します。
設定方法
リスト選択
設定値
自動起動（推奨）・手動起動

 注意	
	◆ 本製品でご使用する際は、「自動起動（推奨）」を選択してください。

7.2 データ収集

7.2.1 初期設定（CSV ファイル保存）

(1) 設定項目一覧

- 設定項目は次の通りです。

設定項目	備考
CSV ファイル保存先	☞ 『7.2.1 (3) ①』
ファイル生成方法	☞ 『7.2.1 (3) ②』
ファイル分割方法	☞ 『7.2.1 (3) ③』
CSV ファイルフォーマット	☞ 『7.2.1 (3) ④』
時刻を補正する	☞ 『7.2.1 (3) ⑤』
分割時の信号灯情報を入力する	☞ 『7.2.1 (3) ⑥』



(2) 画面レイアウト説明

The image displays two screenshots of the software's configuration interface. The top screenshot is the 'データ収集動作設定' (Data Collection Action Settings) window. It features a '初期設定' (Initial Settings) section with a text field for 'CSVファイル保存先' (CSV File Save Location) set to 'C:\Users\Y112028\Desktop', a 'フォルダ選択' (Folder Selection) button, and a 'CSVファイル設定' (CSV File Settings) button. A red arrow points from the label '『7.2.1 (3) ①』' to the save location field. The bottom screenshot is the 'CSVファイル設定' (CSV File Settings) dialog box. It is divided into 'ファイル生成方法' (File Generation Method) and 'CSVファイルフォーマット' (CSV File Format). The 'ファイル生成方法' section has radio buttons for '共通' (Common), '共通(任意ファイル名)' (Common (Arbitrary File Name)), 'WDR毎' (Per WDR), and 'WDT毎' (Per WDT). The 'ファイル分割方法' (File Division Method) section has radio buttons for '日付分割' (Date Division), '時間分割' (Time Division), and 'ファイルサイズ分割' (File Size Division). The '時間分割' section includes time interval options (00:00, 09:00, 18:00). The 'ファイルサイズ分割' section includes a size input field (1000 kbyte) and a checkbox for '分割しない' (Do not divide). The 'CSVファイルフォーマット' section contains a list of 11 items to be included in the CSV file, with checkboxes for each. A red arrow points from the label '『7.2.1 (3) ②』' to the '共通' radio button. Another red arrow points from '『7.2.1 (3) ③』' to the '時間分割' radio button. A third red arrow points from '『7.2.1 (3) ⑤』' to the '時刻を補正する' (Correct time) checkbox. A fourth red arrow points from '『7.2.1 (3) ⑥』' to the '分割時の信号灯情報を入力する' (Input signal light information at the time of division) checkbox. Both screenshots have '戻る' (Back) and 'データ収集開始' (Start Data Collection) buttons at the bottom.

(3) 設定項目説明

① CSV ファイル保存先

説明
データ収集データ結果（CSV ファイル）の保存先を指定します。
設定方法
フォルダの指定選択
設定値
ローカルドライブ内のフォルダ

 注意	
	◆ 保存先を SD カードなどの外部記憶装置やネットワークドライブは指定できません。

② ファイル生成方法

説明
CSV ファイルの生成方法を選択します。 ※ 選択した方法に従ったファイル名で生成されます。 詳細は、📖 『8.2.1 CSV ファイルフォーマット』を参照してください。
設定方法
トグル選択
設定値
共通・共通（任意ファイル名）*1・WDR 毎・WDT 毎

※ 1：共通（任意ファイル名）は、任意のファイル名を入力できます。

ファイル名	設定方法
	半角英数字 (0 ~ 9,A ~ Z)、全角文字入力
	設定値
	1 ~ 20 文字
	初期値
	(空白)

 注意	
	◆ WDR 毎・WDT 毎を選択した場合、MAC アドレス毎のサブフォルダが、CSV ファイル保存先フォルダ下に自動生成されます。

③ ファイル分割方法

説明
<p>CSV ファイルの分割方法を選択します。 ※ 選択した方法に従った条件で、ファイルが分割されます。 分割時のファイル名の詳細は、☞ 『8.2.2 CSV ファイル名』を参照してください。</p>
設定方法
トグル選択
設定値
日付分割・時間分割 ^{※1} ・ファイルサイズ分割 ^{※2} ・分割しない

※1：時間分割時は、ファイルを分割する条件となる時間を3箇所設定することができます。



有効・無効	設定方法		
	チェックボックス選択		
	設定値		
	<input checked="" type="checkbox"/> (有効)・ <input type="checkbox"/> (無効)		
	初期値 1	初期値 2	初期値 3
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時	設定方法		
	半角数字 (0 ~ 9) 入力		
	設定値		
	0 ~ 23		
	初期値 1	初期値 2	初期値 3
	00	09	18
分	設定方法		
	半角数字 (0 ~ 9) 入力		
	設定値		
	0 ~ 59		
	初期値 1	初期値 2	初期値 3
	00	00	00

※ 2：ファイル分割時は、分割するサイズを設定することができます。


サイズ (KB)	設定方法
	半角数字 (0 ~ 9) 入力
	設定値
	100 ~ 1000
	初期値
	1000

④ CSV ファイルフォーマット


説明
CSV ファイルのフォーマットを指定します ※最大 14 列 (1 列目は日付時刻固定) ※ 出力ファイル例は、📄『8.2.4 CSV ファイル出力例』を参照ください。
設定方法
リスト選択
設定値
設定なし・MAC アドレス (WDT)・ユーザーネーム (WDT)・赤色情報・黄色情報・緑色情報・青色情報・白色情報・ブザー情報・WDT 監視情報・カウント値・RS-232C データ (16 進数)・RS-232C データ (ASCII コード)・外部入力情報 (2 進数)・外部入力情報 (10 進数)・外部入力情報 (16 進数)・クリア入力情報

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 同じ情報を複数の列で選択することはできません。 ◆ 途中で [設定なし] を設定することはできません。

⑤ 時刻を補正する

説明
<p>CSV ファイルに保存する日付時刻の値に、時刻補正をおこなうか、おこなわないかを選択します。</p> <p>※ ご使用の無線環境によって、信号灯状態が実際に変化した時刻と CSV データに記録される時刻を比べて時間差異が発生することがあります。その場合に、「補正する」を選択することで改善できることがあります。</p> <p>※ この機能は、WDT-4LR/5LR/6LR-Z2 型・WDT-PRO シリーズ (WDT-LR 方式) の標準フォーマット設定時は、補正がおこなわれません。</p> <p>詳細は  『 [WDT- □ LR-Z2/WDR-L(E)-Z2-PRO(-L) 総合取扱説明書] 9.1.1.2 信号灯情報フォーマット選択』を参照。</p>
設定方法
チェックボックス選択
設定値
<input checked="" type="checkbox"/> (補正する) ・ <input type="checkbox"/> (補正しない)

⑥ 分割時の信号灯情報を出力する

説明
<p>CSV ファイル分割条件によって、CSV ファイルを分割する際に、クローズするファイルと生成するファイルにすべての送信機の信号灯情報を出力するか、しないかを選択します。</p> <p>※ 詳細は、 『8.2.7 ファイル分割時の信号灯情報出力に関して』を参照ください。</p>
設定方法
チェックボックス選択
設定値
<input checked="" type="checkbox"/> (出力する) ・ <input type="checkbox"/> (出力しない)

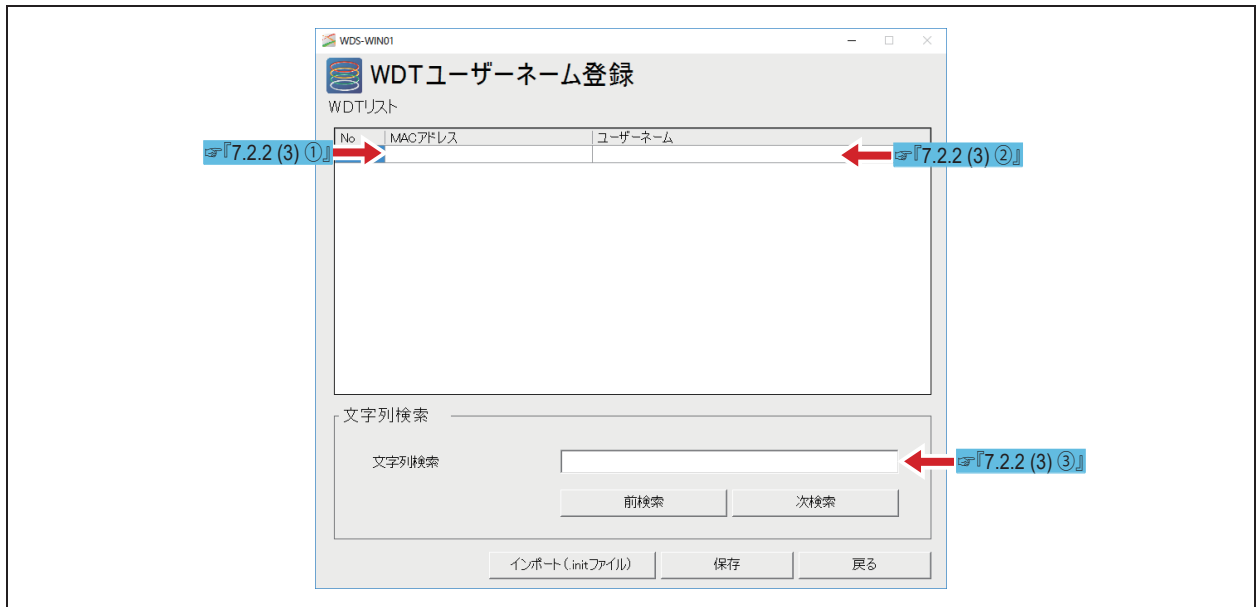
7.2.2 初期設定（WDT ユーザーネーム登録）

(1) 設定項目一覧

- 設定項目は次の通りです。

設定項目	備考
MAC アドレス入力	『7.2.2 (3) ①』
ユーザーネーム入力	『7.2.2 (3) ②』
ユーザーネーム検索	『7.2.2 (3) ③』

(2) 画面レイアウト説明



(3) 設定項目説明

① MAC アドレス入力

説明
MAC アドレスを登録します。
設定方法
半角英数字 (0 ~ 9,A ~ F) 入力
設定値
半角英数字 16 桁

② ユーザーネーム入力

説明
登録されたユーザーネームを検索表示します。
設定方法
半角英数字、全角英数字、ひらがな、漢字入力
設定値
1～20文字

③ ユーザーネーム検索

説明
登録されたユーザーネームを検索表示します。
設定方法
半角英数字、全角英数字、ひらがな、漢字入力
設定値
—

7.2.3 初期設定（データ収集の方法）

(1) 設定項目一覧

- 設定項目は次の通りです。

設定項目	備考
データ収集の方法	『7.2.3 (3) ①』



(2) 画面レイアウト説明



(3) 設定項目説明

① データ収集の方法

説明
本製品起動時のデータ収集開始方法を選択します。 ※ [自動で開始する] を選択した場合は、次回からは、本製品が起動すると自動的にデータ収集が開始されます。
設定方法
トグル選択
設定値
自動で開始する・手動で開始する

 注意	
	◆ [自動で開始する] に設定されている場合、ランチャー画面から自動的にデータ収集が開始します。自動開始をやめたい場合は、[手動で開始する] に変更してください。

7.2.4 データ収集

(1) 設定項目一覧

- 設定項目は次の通りです。

設定項目	備考
収集設定	『7.2.4 (3) ①』
ユーザーネーム	『7.2.4 (3) ②』

(2) 画面レイアウト説明

初期設定

CSVファイル保存先
 フォルダ選択

WDTユーザーネーム登録

データ収集の方法
 自動で開始する
 手動で開始する

WDRリスト
 LANで使用する USBで使用する

No	収集設定	IPアドレス	ポート	ユーザーネーム
1	収集しない		10001	
2	収集しない		10001	
3	収集しない		10001	
4	収集しない		10001	

データ収集開始 戻る

データ収集中 -- WDR情報 --

WDR-L-22	---	---	---	---
Factory01				
データ収集中				
WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台
<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch
---	---	---	---	---
---	---	---	---	---
WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台
<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch
---	---	---	---	---
---	---	---	---	---
WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台
<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch
---	---	---	---	---
---	---	---	---	---
WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台	WDT <input type="checkbox"/> 台
<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch	<input type="checkbox"/> ch
---	---	---	---	---
---	---	---	---	---

CSVファイル保存先 データ収集終了

(3) 設定項目説明

① 収集設定

説明
データ収集をする WDR を選択します (LAN を使用する：最大 20 台、USB を使用する：1 台)
設定方法
リスト選択
設定値
収集する・収集しない

② ユーザーネーム

説明
WDR に任意の名称 (ユーザーネーム) を登録します
設定方法
半角英数字、全角英数字、ひらがな、漢字入力
設定値
1 ～ 20 文字

7.2.5 WDS-WIN01 情報の移行

(1) 設定項目一覧

- 設定項目は次の通りです。

設定項目	設定項目	備考
動作設定のインポート	特になし	—
動作設定のエクスポート	特になし	—

(2) 画面レイアウト説明



7.3 初期設定値一覧

7.3.1 WDT/WDR 設定

(1) WDT 設定

■ WDT シリーズの場合

カテゴリ	設定項目	初期設定値
無線関係	ExtendedPanID	「0000 0000 0000 0000」
	周波数チャンネル	「CH11 ~ CH26」 すべて ON
動作関係	信号灯入力判定	「点滅判定 (中)」
	電源設定	「電源線」
	カウンタ設定	「使用しない」
	送信モード	「変化時送信」

※ WDT-4LR-Z2 / WDT-5LR-Z2 / WDT-6LR-Z2 の初期設定値です。

お知らせ

- ◆ WDT-5E-Z2/WDT-6M-Z2 の電源設定の初期値は「白色」です。
- ◆ WDT-4LR-Z2/WDT-5LR-Z2/WDT-6LR-Z2 の設定スイッチ No.2 を ON にすると、カウンタ設定は「青色」に固定されます。

■ WDT-PRO シリーズの場合

カテゴリ	設定項目	初期設定値
無線関係	ExtendedPanID	「0000 0000 0000 0000」
	周波数チャンネル	「CH11 ~ CH26」 すべて ON
動作関係	信号灯入力判定	「点滅判定 (中)」
	電源設定	「電源線」
	カウンタ設定	「使用しない」
	送信モード	「変化時送信」
	定期送信	「なし」
	入力情報伝送方式	「WDT-LR 方式」
	信号灯フォーマット	「標準」
	同時入力判定感度設定	「高感度」
RS-232C 通信関係	受信データファイルフォーマット	「ダイレクト通信方式」
	ボーレート	「9600」
	データ長	「8」
	パリティ	「なし」
	ストップビット	「1」

※ WDT-6LR-Z2-PRO と WDB-D80S-PRO の組み合わせでの初期設定値です。

(2) WDR 設定

■ WDR-L-Z2/WDR-LE-Z2 の場合

カテゴリ	設定項目	初期設定値
無線関係	ExtendedPanID	「0000 0000 0000 0000」
	周波数チャンネル	「CH11 ~ CH26」 すべて ON
	ネットワーク開始方法	「自動起動 (推奨)」
LAN 通信関係	IP アドレス	「192.168.0.1」
	サブネットマスク	「255. 255. 255.0」
	デフォルトゲートウェイ	「0.0.0.0」

■ WD PRO 受信機の場合

カテゴリ	設定項目	初期設定値
無線関係	ExtendedPanID	「0000 0000 0000 0000」
	周波数チャンネル	「CH11 ~ CH26」 すべて ON
	ネットワーク開始方法	「自動起動 (推奨)」
LAN 通信関係	IP アドレス	「192.168.10.1」
	サブネットマスク	「255. 255. 255.0」
	デフォルトゲートウェイ	「0.0.0.0」

7.3.2 データ収集

カテゴリ	設定項目	初期設定値
初期設定	データ収集の方法	手動で開始する
	CSV ファイル保存先	(空白)
CSV ファイル設定	ファイル生成方法	共通
	ファイル分割方法	日付分割
	分割時の信号灯情報を出力する	<input type="checkbox"/> (出力しない)
	CSV ファイルフォーマット	1. 日付時刻 2. MAC アドレス (WDT) 3. ユーザーネーム (WDT) 4. 赤色情報 5. 黄色情報 6. 緑色情報 7. 青色情報 8. 白色情報 9. プザー情報 10. WDT 監視情報 11. 設定なし 12. 設定なし 13. 設定なし 14. 設定なし
	時刻を補正する	<input type="checkbox"/> (補正しない)
WDT ユーザーネーム登録	WDT ユーザーネーム	(未定義)
WDR リスト	WDR 使用方法	LAN で使用する
	IP アドレス	(空白)
	ポート	10001
	COM ポート	(空白)
	収集設定	収集しない
	WDR ユーザーネーム	(空白)

8 仕様

8.1 ソフトウェア仕様

型式	WDS-WIN01	
製品名	システム運用ソフトウェア	
対応製品	WDR：WDR-L-Z2,WDR-LE-Z2 WDR-L-Z2-PRO,WDR-L-Z2-PRO-L, WDR-LE-Z2-PRO,WDR-LE-Z2-PRO-L WDT：WDT-6M-Z2,WDT-5E-Z2, WDT-4LR-Z2,WDT-5LR-Z2,WDT-6LR-Z2 WDT-6LR-Z2-PRO WDB：WDB-D80S-PRO	
WDR 接続最大数	20 台 (USB シリアル接続は最大 1 台)	
WDR 接続方法	LAN ソケット接続・USB シリアル接続	
WDT 最大管理台数	600 台	
動作環境	対応 OS	Windows® 7 (32 ビット / 64 ビット) Windows® 8.1 (32 ビット / 64 ビット) Windows® 10 (32 ビット / 64 ビット) Windows® 11 (64 ビット) Windows® Server 2012 R2 (64 ビット) Windows® Server 2016 (64 ビット) Windows® Server 2019 (64 ビット) Windows® Server 2022 (64 ビット)
	対応言語	日本語・英語・中国語・台湾語・韓国語・タイ語・インドネシア語・スペイン語 (手動選択)
	実行権限	管理者ユーザー・標準ユーザー※ ¹
	必須条件	Windows® が正常に動作するパーソナルコンピュータソフトウェア (タブレット PC などは対象外) .Net Framework4.5 がインストールされていること
基本機能	<input type="radio"/> データ収集※ ² <ul style="list-style-type: none"> ・ 入力状態情報 (信号灯・外部入力) の変化、RS-232C データおよび、クリア入力情報の収集 ・ 入力状態情報 (信号灯・外部入力) の変化を CSV データへ出力 ・ RS-232C データを CSV データへ出力 ・ クリア入力情報を CSV データへ出力 ・ カウント値情報を CSV データへ出力 <input type="radio"/> WDT/WDR 設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ WDT (WDB を含む) の設定および、変更 ・ WDR の設定および、変更 	

※¹：インストールには、管理者権限が必要です。※²：ご使用にはライセンス認証が必要です

8.2 CSV ファイル仕様

生成する CSV ファイルの概要を説明します。

8.2.1 CSV ファイルフォーマット

フォーマット	CSV ファイルフォーマット形式（カンマ区切り）
拡張子	csv
文字コード	Unicode(UTF-8)
改行コード	CR+LF
表示言語	言語設定で指定した言語

8.2.2 CSV ファイル名

(1) ファイル生成方法：共通

ファイル分割方法	ファイル名			
	固定		日付情報	
日付分割	patlog	_auto	yyyy_mm_dd	
時間分割				_nnnn
ファイルサイズ分割				
分割しない				

_nnnn : 0001 ~ 9999

(2) ファイル生成方法：共通（任意ファイル名）

ファイル分割方法	ファイル名		
	固定	文字情報	連番
日付分割	patlog	任意文字	_nnnn
時間分割			
ファイルサイズ分割			
分割しない			

_nnnn : 0001 ~ 9999

(3) ファイル生成方法：WDR 毎

ファイル分割方法	ファイル名				
	固定		日付情報	WDR の MAC アドレス	連番
日付分割	patlog	_auto	yyyy_mm_dd	_Rxxxxxxxxxxxxxxxxxx	_nnnn
時間分割					
ファイルサイズ分割					
分割しない					

_nnnn : 0001 ~ 9999

自動的に WDR 毎のフォルダが生成され、CSV ファイルはその中に保存されます。

フォルダ名
WDR の MAC アドレス
Rxxxxxxxxxxxxxxxxxx

(4) ファイル生成方法：WDT 毎

ファイル分割方法	ファイル名				
	固定		日付情報	WDT の MAC アドレス	連番
日付分割	patlog	_auto	yyyy_mm_dd	_Txxxxxxxxxxxxxxxxxx	_nnnn
時間分割					
ファイルサイズ分割					
分割しない					

_nnnn : 0001 ~ 9999

自動的に WDT 毎のフォルダが生成され、CSV ファイルはその中に保存されます。

フォルダ名
WDR の MAC アドレス
Txxxxxxxxxxxxxxxxxx

8.2.3 CSV ファイル出力情報の定義

(1) CSV ファイルフォーマット説明

CSV ファイルフォーマット		説明
日付時刻		yyyy/mm/dd hh:mm:ss
MAC アドレス		WDT の MAC アドレス情報
ユーザーネーム		WDT のユーザーネーム情報 (未登録時は、MAC アドレス)
信号灯情報	赤色情報	出力情報 ⇨ 『8.2.3 (2) 信号灯情報、ブザー情報、WDT 監視情報、カウント値の出力情報』を参照してください
	黄色情報	
	緑色情報	
	青色情報	
	白色情報	
ブザー情報		
WDT 監視情報		
カウント値		
外部入力情報	2 進数	出力情報 ⇨ 『8.2.3 (3) 外部入力情報の出力情報』を参照してください
	10 進数	
	16 進数	
RS-232C データ	ASCII 文字	出力情報 ⇨ 『8.2.3 (4) RS-232C データの出力情報』を参照してください
	16 進数	
クリア入力情報		出力情報 ⇨ 『8.2.3 (5) クリア入力情報の出力情報』を参照してください

(2) 信号灯情報、ブザー情報、WDT 監視情報、カウント値の出力情報

フォーマット	出力情報	説明
信号灯情報	0	・ 信号灯情報が “ 消灯 ” であることを表します。
	1	・ 信号灯情報が “ 点灯 ” であることを表します。
	2	・ 信号灯情報が “ 点滅 ” であることを表します。
	9	・ 信号灯情報が、“電源線設定”に指定されていることを表します。
ブザー情報	0	・ ブザー情報が “ 非吹鳴 ” であることを表します。
	1	・ ブザー情報が “ 吹鳴 ” であることを表します。
WDT 監視情報	0	・ “WDT 未接続状態” と判断されたことを表します。
	9	・ “WDT 接続状態” であることを表します。
カウント値	0 ~ 4,294,967,295	・ 任意の 1 本の信号線にパルス入力をおこなうことで、そのパルス入力をカウントアップ (1 ずつ加算) し、その積算値 (カウント値) を表します。

(3) 外部入力情報の出力情報

フォーマット		出力情報	説明																																																								
外部入力情報	2進数	0000000 ~ 11111111	外部入力情報 8 点の状態を以下のように扱い表示します。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="8">外部入力</th> </tr> <tr> <th>8</th><th>7</th><th>6</th><th>5</th><th>4</th><th>3</th><th>2</th><th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="8">バイト</td> </tr> <tr> <td colspan="8" style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td colspan="8">ビット</td> </tr> <tr> <td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">MSB</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">LSB</td> </tr> </tbody> </table> 外部入力が ON の場合はビット 1、OFF の場合はビット 0 と表示されます。 例) 外部入力 8 と 4 が ON、それ以外が OFF の場合は、 10001000 (2進数) 136 (10進数) 88 (16進数) と表示されます。	外部入力								8	7	6	5	4	3	2	1	バイト								1								ビット								7	6	5	4	3	2	1	0	MSB				LSB			
	外部入力																																																										
	8	7		6	5	4	3	2	1																																																		
バイト																																																											
1																																																											
ビット																																																											
7	6	5	4	3	2	1	0																																																				
MSB				LSB																																																							
10進数	0 ~ 255																																																										
16進数	00 ~ FF																																																										

(4) RS-232C データの出力情報

フォーマット	出力情報	出力情報	説明
RS-232C データ	ASCII 文字	1 ~ 60 文字	RS-232C に入力されたデータを表します。
	16進数	1 ~ 60 バイト	

(5) クリア入力情報の出力情報

フォーマット	出力情報	説明
クリア入力情報	0	・ クリア入力が行われていないことを表します。
	1	・ クリア入力が行われたことを表します。

8.2.4 CSV ファイル出力例

(1) エクセル表示

- 信号灯情報、ブザー情報、WDT 監視情報、カウント値の場合

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	日付時刻	MACアドレス	ユーザーネーム	赤色情報	黄色情報	緑色情報	青色情報	白色情報	ブザー情報	WDT監視情報	カウント値
2	2019/1/17 13:58:20	xxxxxxxxxxxxx01	Machine1	1	0	0	0	0	0	9	0
3	2019/1/17 13:58:54	xxxxxxxxxxxxx01	Machine1	0	0	0	0	0	0	9	0
4	2019/1/17 19:04:09	xxxxxxxxxxxxx01	Machine1	2	0	1	0	0	0	9	16
5	2019/1/17 19:05:30	xxxxxxxxxxxxx01	Machine1	0	2	1	0	0	0	9	30

- 外部入力情報（16進数）、RS-232C データ（ACSCII 文字）、クリア入力情報の場合

	A	B	C	D	E	F
1	日付時刻	MACアドレス	ユーザーネーム	RS-232Cデータ(ASCIIコード)	外部入力情報(16進数)	クリア入力情報
2	2019/1/17 13:58:20	xxxxxxxxxxxxx01	Machine1		0	0
3	2019/1/17 13:59:54	xxxxxxxxxxxxx01	Machine1	2019TESTDATA	0	0
4	2019/1/17 14:06:01	xxxxxxxxxxxxx01	Machine1		8	0
5	2019/1/17 14:22:01	xxxxxxxxxxxxx01	Machine1		8	1

(2) テキスト表示

- 信号灯情報、ブザー情報、WDT 監視情報、カウント値の場合

日付時刻,MACアドレス,ユーザーネーム,赤色情報,黄色情報,緑色情報,青色情報,白色情報,ブザー情報,WDT監視情報,カウント値
 2019/1/17 13:58:20,xxxxxxxxxxxxx01,Machine1,1,0,0,0,0,0,9,0
 2019/1/17 13:58:54,xxxxxxxxxxxxx01,Machine1,0,0,0,0,0,0,9,0
 2019/1/17 19:04:09,xxxxxxxxxxxxx01,Machine1,2,0,1,0,0,0,9,16
 2019/1/17 19:05:30,xxxxxxxxxxxxx01,Machine1,0,2,1,0,0,0,9,30

- 外部入力情報（16進数）、RS-232C データ（ACSCII 文字）、クリア入力情報の場合

日付時刻,MACアドレス,ユーザーネーム,RS-232Cデータ(ASCIIコード),外部入力情報(16進数),クリア入力情報
 2019/1/17 13:58:20,xxxxxxxxxxxxx01,Machine1,,00,0
 2019/1/17 13:59:54,xxxxxxxxxxxxx01,Machine1,"2019TESTDATA",00,0
 2019/1/17 14:06:01,xxxxxxxxxxxxx01,Machine1,,08,0
 2019/1/17 14:22:01,xxxxxxxxxxxxx01,Machine1,,08,1

⚠ 注意	
⚠	<ul style="list-style-type: none"> ◆ CSV ファイルに出力される情報の日付時刻は、本製品を起動しているパソコンの日付時刻が参照されます。 ◆ カウント値の CSV ファイル更新は、1 分程度（無線通信状態により前後します）の間隔でおこなわれ、信号灯情報の変化時には更新されません。 ◆ RS-232C データ(ASCII 文字)の場合は、制御コード(0x00 ~ 0x1F, 0x7F)をスペース(0x20)に置換して出力します。 ◆ RS-232C データ(ASCII 文字)の場合、出力データは" (ダブルクォーテーション)で囲んで出力します。 ◆ RS-232C データ列は、出力データがなければ、(空)となります。

8.2.5 CSV ファイルの生成・分割について

ファイル生成のタイミング	[データ収集開始] ボタンで、データ収集を開始したとき WDT の信号灯状態情報に変化があったとき
ファイル分割のタイミング	ファイル分割情報の条件が満たされ、かつ WDT の信号灯状態情報に変化があったとき

生成・分割されるファイル名の詳細は☞『8.2.2 CSV ファイル名』を参照してください

⚠ 注意	
⚠	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 信号灯状態に変化が発生していない場合は、ファイル分割方法の条件が満たされていても CSV ファイルは生成されません。 ◆ ファイル分割の条件によりファイルが生成される際、クローズするファイルの最後と生成するファイルの先頭に直前の信号灯情報（日付時刻、信号灯状態情報）が記録されます。 ◆ データ収集中、CSV ファイルは直接開いたり、削除したりしないでください。必ずファイルコピーをしてご利用するか、データ収集を終了したうえでご利用ください。

8.2.6 ファイル分割の CSV ファイル生成例

ファイル生成方法毎のファイル生成例を記載します。

(1) ファイル生成方法：共通

ファイル分割方法	分割条件によるファイル生成方法	ファイル生成例
日付分割	日付情報部が更新されます	patlog_auto2017_01_01.csv patlog_auto2017_01_02.csv
時間分割	同じ日付の場合は、連番部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_0001.csv patlog_auto2017_01_01_0002.csv
	日付が変わった場合は、日付情報部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_0001.csv patlog_auto2017_01_02_0001.csv
ファイルサイズ分割	同じ日付の場合は、連番部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_0001.csv patlog_auto2017_01_01_0002.csv
	日付が変わった場合は、日付情報部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_0001.csv patlog_auto2017_01_02_0001.csv
分割しない	同ファイルに記録されます	patlog_auto2017_01_01.csv

(2) ファイル生成方法：共通（任意ファイル名）

ファイル分割方法	分割条件によるファイル生成方法	ファイル生成例
日付分割	連番部が更新されます	patlog 任意名_0001.csv patlog 任意名_0002.csv
時間分割		
ファイルサイズ分割		
分割しない	同ファイルに記録されます	patlog 任意名.csv

(3) ファイル生成方法：WDR 毎

ファイル分割方法	分割条件によるファイル生成方法	ファイル生成例
日付分割	日付情報部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001.csv patlog_auto2017_01_02_R0000000000000001.csv
時間分割	同じ日付の場合は、連番部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001_0001.csv patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001_0002.csv
	日付が変わった場合は、日付情報部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001_0001.csv patlog_auto2017_01_02_R0000000000000001_0001.csv
ファイルサイズ分割	同じ日付の場合は、連番部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001_0001.csv patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001_0002.csv
	日付が変わった場合は、日付情報部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001_0001.csv patlog_auto2017_01_02_R0000000000000001_0001.csv
分割しない	同ファイルに記録されます	patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001.csv

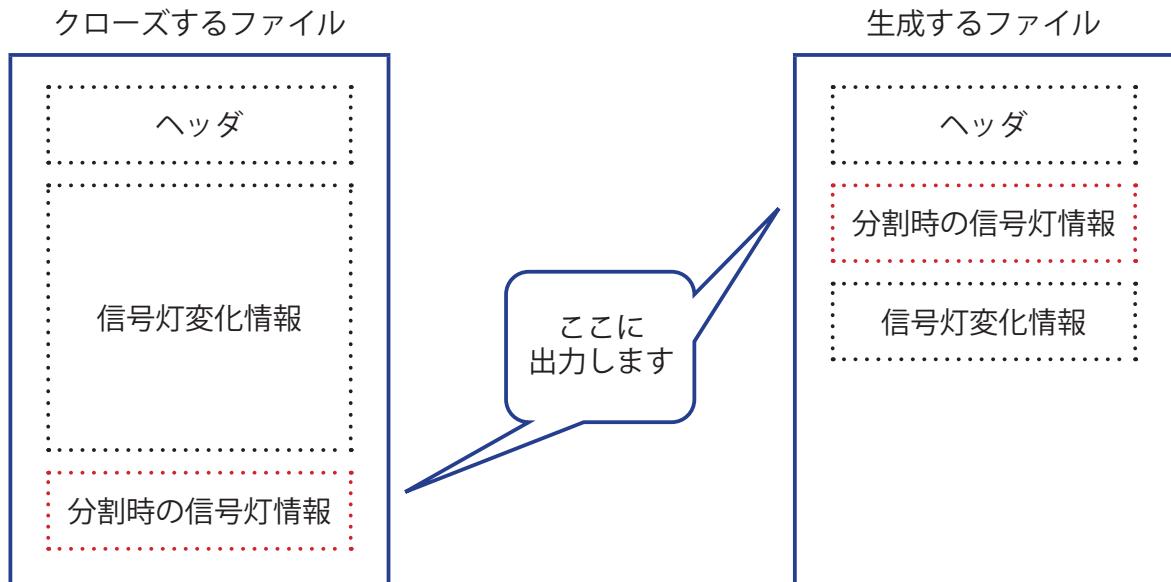
(4) ファイル生成方法：WDT 毎

ファイル分割方法	分割条件によるファイル生成方法	ファイル生成例
日付分割	日付情報部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001.csv patlog_auto2017_01_02_R0000000000000001.csv
時間分割	同じ日付の場合は、連番部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001_0001.csv patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001_0002.csv
	日付が変わった場合は、日付情報部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001_0001.csv patlog_auto2017_01_02_R0000000000000001_0001.csv
ファイルサイズ分割	同じ日付の場合は、連番部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001_0001.csv patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001_0002.csv
	日付が変わった場合は、日付情報部が更新されます	patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001_0001.csv patlog_auto2017_01_02_R0000000000000001_0001.csv
分割しない	同ファイルに記録されます	patlog_auto2017_01_01_R0000000000000001.csv

8.2.7 ファイル分割時の信号灯情報出力に関して

「分割時の信号灯情報を出力する」を“☑（出力する）”にした場合の出力例について記載します。

- ファイル分割の実行時に、クローズするファイル側の最終と生成するファイル側のヘッダが付加された先頭部分にすべての WDT の分割時の信号灯情報を出力します。この情報は、データ収集開始から終了するまでに接続されたすべての WDT（変化が発生していない、未接続状態を含む）が対象となります。



⚠ 注意	
⚠	◆ 分割時の信号灯情報には、変化が発生していない、または未接続状態の WDT の情報も出力するため、日付時刻が異なる WDT の信号灯情報が含まれる場合があります。

9 困ったときは

9.1 トラブルシューティング

以下のことをご確認ください。

なお、ご不明な点は、技術・修理相談窓口へお問い合わせください。

No.	トラブル内容	確認事項																		
01	インストールができない。	<ul style="list-style-type: none"> インストールをおこなう場合は、OSの管理者ユーザーでログインしておこなってください。 アクセス権限のないフォルダを指定している場合は、アプリケーションが立ち上がりません。 																		
02	アプリケーションが立ち上がらない。	<ul style="list-style-type: none"> インストールされたパソコンのセキュリティ設定・ファイアウォール設定をご確認ください。 アンインストールをおこなったうえで、再度インストールをして確認してください。 																		
03	言語設定で、表示言語を変更しても、英語で表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 言語ファイルが破損している可能性があります。本製品を終了していただき、再起動をお願いします。エラーが消えない場合は、本製品の再インストールをしてください。 フォントがインストールされていない可能性があります。下記に記載のフォントをインストールしてください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示言語</th> <th>フォント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本語</td> <td>MS UI Gothic</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>Arial</td> </tr> <tr> <td>中国語（簡体字）</td> <td>SimSun</td> </tr> <tr> <td>台湾語</td> <td>MingLiU</td> </tr> <tr> <td>韓国語</td> <td>BatangChe</td> </tr> <tr> <td>タイ語</td> <td>Tahoma</td> </tr> <tr> <td>インドネシア語</td> <td>Arial</td> </tr> <tr> <td>スペイン語</td> <td>Arial</td> </tr> </tbody> </table>	表示言語	フォント	日本語	MS UI Gothic	英語	Arial	中国語（簡体字）	SimSun	台湾語	MingLiU	韓国語	BatangChe	タイ語	Tahoma	インドネシア語	Arial	スペイン語	Arial
表示言語	フォント																			
日本語	MS UI Gothic																			
英語	Arial																			
中国語（簡体字）	SimSun																			
台湾語	MingLiU																			
韓国語	BatangChe																			
タイ語	Tahoma																			
インドネシア語	Arial																			
スペイン語	Arial																			
04	WDRが認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> 正しくケーブルが接続されているか、電源が供給されているかご確認ください。 WDRを接続しているパソコンのセキュリティ設定・ファイアウォール設定をご確認ください。 																		
05	WDRのIPアドレスの設定画面上的設定が“undefined”と表示され、設定が反映できない。	<ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer®のバージョンによって、画面が正常に表示されない場合があります。Internet Explorer®の互換表示を有効にして、設定変更を実施してください。 																		

No.	トラブル内容	確認事項
06	WDR 設定で、WDR の情報が取得できない、設定できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しくケーブルが接続されているか、電源が供給されているかご確認ください。 ・ WDR を接続しているパソコンのセキュリティ設定・ファイアウォール設定をご確認ください。
07	データ収集を起動すると、ライセンス認証画面が表示され、データ収集を開始できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ データ収集機能は、有償機能となります。別途ライセンスキーをご購入ください。
08	WDT/WDR 設定画面の WDT リストに WDT が出てこない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ WDT リスト更新ボタンを押して、WDT リストを更新して確認してください。 ・ WDT が正常に接続されているかどうか確認してください。
09	WDT 設定で、WDT の情報が取得できない、設定できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ WDT が正しく接続されているか、電源供給されているかを確認してください。
10	CSV データが生成されず、データ収集できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ WDR と WDT が正しく接続されているかを確認してください。 ・ データ収集をおこないたい WDR が正しく選択されているかを確認してください。 ・ CSV ファイル保存先のフォルダが削除されていないか、フォルダ名が変更されていないかを確認してください。
11	WDT の情報が CSV データに記録されない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ WDR と WDT が正しく接続されているかを確認してください。 ・ WDT の電源が落ちていないか、WDT のインジケータが赤色点灯した状態ではないかを確認してください。
12	CSV データを他のソフトで読み込んだときに文字化け表示する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ CSV データの文字コード仕様は Unicode(UTF-8) です。読み込む際は UTF-8 で CSV データを読み込んでください。
13	カウンタ設定が青色しか選択できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ WDT-4LR-Z2/WDT-5LR-Z2/WDT-6LR-Z2 の設定スイッチ No.2 を ON にしていると青色固定となります。青色以外を使用する場合は設定スイッチをすべて OFF にしてください。なお、WDT-4LR-Z2/WDT-5LR-Z2/WDT-6LR-Z2 は ver3.06 以上でないと簡易カウンタ機能は搭載されていません。
14	[データ収集中 -WDT 情報] 画面の [WDT 情報] の右端欄に WDT ごとに黄色の [c ボタン] が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ カウンタ設定を「使用しない」に選択していると [c ボタン] は表示されません。 ・ カウンタ機能が搭載されていないものについては、黄色の [c ボタン] は表示されません。

No.	トラブル内容	確認事項
15	カウント値が CSV に出力されない。	<ul style="list-style-type: none"> • CSV ファイル設定の CSV ファイルフォーマットの カウント値の設定がされていないと CSV に出力され ません。 • 終了をクリックすると、それ以降のカウントは収集 されません。 • カウント値の CSV ファイル更新は、1 分程度（無線 通信状態により前後します）の間隔でおこなわれ、 信号灯情報の変化時には更新されません。
16	CSV ファイルの出力データが CSV ファイルフォーマットと一 致しない。	<ul style="list-style-type: none"> • CSV ファイルの出力後に CSV ファイルフォーマ ットの設定を変更すると、CSV ファイルの出力内容に ズレが発生します。
17	「データ収集開始」時に、CSV ファ イルのカウント値が 0 で出力さ れる。	<ul style="list-style-type: none"> • 「データ収集開始」時は、必ずカウント値が 0 になり ます。次回カウント値の更新時に反映されます。
18	WDT 監視情報の値が 0 になっ ているが、0 以外のカウント値が 出力される。	<ul style="list-style-type: none"> • WDT-4LR-Z2/WDT-5LR-Z2/WDT-6LR-Z2 の電源が ON の場合、電波が届いていない可能性があります。 電波環境をご確認ください。 • WDT-4LR-Z2/WDT-5LR-Z2/WDT-6LR-Z2 の電源が OFF の場合、次に電源が ON になるまで、本体内部 の情報が保持されるため、0 以外のカウント値が出 力されます。
19	CSV ファイルの信号灯情報が 0 固定になる。	<ul style="list-style-type: none"> • カウンタ設定に指定した信号灯情報は、消灯または 非吹鳴として扱われます。 • 詳細は、☞『[WDT- □ LR-Z2/WDR-L(E)-Z2- PRO(-L) 総合取扱説明書] 9.1.1.5』を参照

9.2 エラーメッセージ一覧

No.	メッセージ	確認事項
01	It is already running.	<ul style="list-style-type: none"> 本製品は、複数起動することはできません。必ずアプリケーションを閉じたうえで、起動してください。
02	アプリケーションエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> 原因不明のエラーが発生した恐れがあります。本製品を終了していただき、再起動をお願いします。
03	Initialization failure occurred.	<ul style="list-style-type: none"> 本製品の内部処理でエラーが発生した恐れがあります。本製品を再起動いただき、エラーが消えない場合は、本製品の再インストールをしてください。
04	終了処理に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> 本製品が正常に終了できなかった恐れがあります。頻繁にでるようであれば、再インストールをしてください。
05	言語設定に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> 言語ファイルが破損している可能性があります。本製品を終了していただき、再起動をお願いします。エラーが消えない場合は、本製品の再インストールをしてください。
06	WDR との接続に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> WDR が正しく接続されているかご確認ください。
07	COM ポートが見つかりませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> WDR が正しく PC で認識されているかご確認ください。
08	WDT 問い合わせに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> WDT との通信が正常に完了できなかった恐れがあります。再度実行してください。
09	WDR の設定に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> WDR との通信が正常に完了できなかった恐れがあります。再度実行してください。
10	WDT 情報の取得に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> WDT との通信が正常に完了できなかった恐れがあります。再度実行してください。
11	WDT の設定に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> WDT との通信が正常に完了できなかった恐れがあります。再度実行してください。
12	動作設定データの取得に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> 内部データが破損している可能性があります。本製品を再起動していただき、エラーが消えないようであれば、再インストールをしてください。
13	動作設定データのインポートに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> 指定したファイルが破損している恐れがあります。正しいファイル (.WDS) を選択してください。
14	動作設定データのエクスポートに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> エクスポート先が正しく選択できてない恐れがあります。外部メディアやシステム管理フォルダなどを指定していないかご確認ください。
15	動作設定内容に不備があります。	<ul style="list-style-type: none"> 動作設定が正しく設定されていません。再度、設定をし直してください。☞『6.2.8』参照

No.	メッセージ	確認事項
16	動作設定データの保存に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none">内部データが破損している可能性があります。本製品を再起動していただき、エラーが消えないようであれば、再インストールをしてください。
17	.init ファイルのインポートに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none">指定したファイルが破損している恐れがあります。正しいファイル (.init) を選択してください。.init ファイル内に重複した Mac アドレスが登録されている可能性があります。重複した Mac アドレスを修正、削除してください。
18	出力データの保存に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none">CSV ファイル保存先が正しく選択されていないか、存在しないフォルダが指定されている恐れがあります。CSV ファイル保存先を確認してください。また、外部メディアやシステム管理フォルダなどを指定していないかご確認ください。

